

## 令和6年度第4回県政モニターアンケート

(回答者構成)

項目		計		北九州	福岡	筑後	筑豊
		人数(人)	構成比				
総数	人数	365		91	190	57	27
	構成比		100.0%	24.9%	52.1%	15.6%	7.4%
性別	女性	191	52.3%	50	97	30	14
	男性	171	46.8%	39	92	27	13
	その他	3	0.8%	2	1	0	0
年代別	20代以下	50	13.7%	11	27	8	4
	30代	61	16.7%	17	30	10	4
	40代	76	20.8%	20	39	12	5
	50代	64	17.5%	15	34	12	3
	60代	74	20.3%	21	39	5	9
	70代以上	40	11.0%	7	21	10	2

モニター数 398人

回答数 365人

回収率 91.71%

実施期間 R6.10.10～R6.11.7

### 【回答結果の注意点】

- ・ 集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は、必ずしも100%にならない場合がある。
- ・ 2以上の回答（複数回答）を要する設問の場合、その回答比率の合計は、100%を超える場合がある。

# 令和6年度 県民モニターアンケート調査結果

テーマ：スポーツフェスタ・ふくおか「福岡県民スポーツ大会」について

福岡県 人づくり・県民生活部 スポーツ局 スポーツ振興課

## 1. 調査目的

県では、スポーツの振興とスポーツ精神の高揚を図ることを目的に、昭和33年（1958年）から「福岡県民スポーツ大会」を毎年開催しており、令和5年度は約1万3千人もの方々に御参加いただきました。

大会では、県内40郡市から競技ごとに選抜された選手が出場する「郡市対抗競技」として水泳・陸上競技など14競技を、そのほか「公開競技」として27競技を実施しております。また、大会は県内を4地区に分けて順番に開催しております。

本アンケートにおいて、県民の皆さまのニーズを把握し、今後、「福岡県民スポーツ大会」をより良い大会としていくために調査を行いました。

## 2. 活用状況

福岡県民スポーツ大会をはじめとする「スポーツフェスタ・ふくおか」の見直しのための基礎資料として活用します。

## 3. 調査時期

令和6年10月10日～11月7日（第4回）

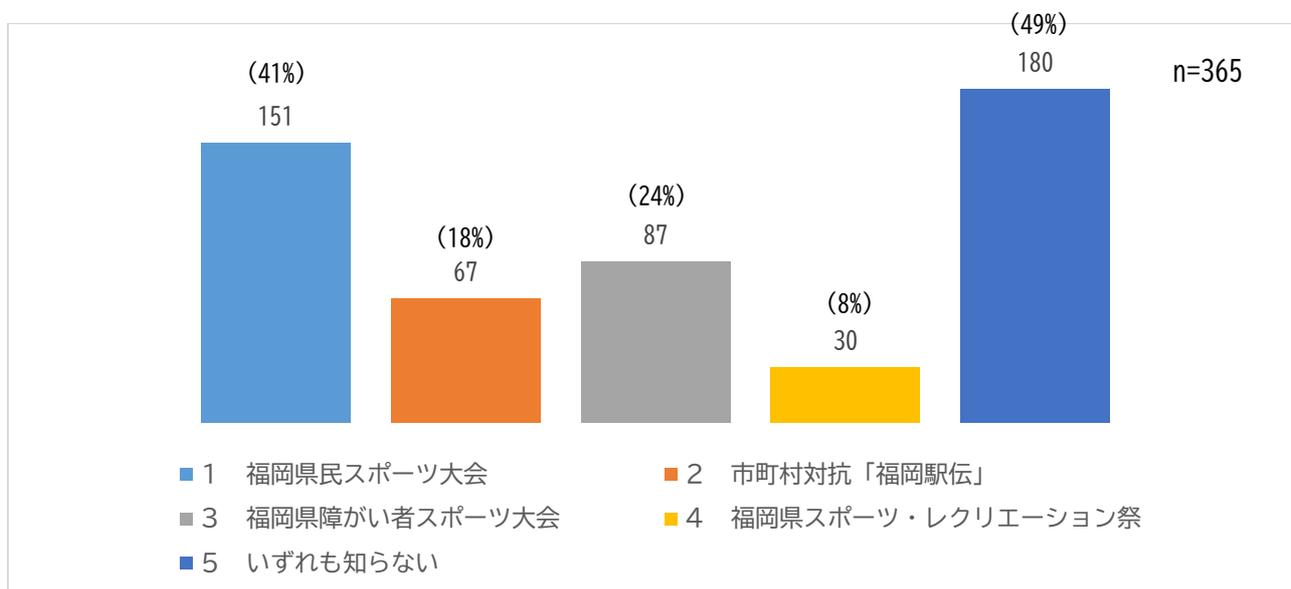
## 4. 回答数及びその構成

回答数：365名

項目	計		北九州	福岡	筑後	筑豊
	人数(名)	構成比				
総数	人数	365	91	190	57	27
	構成比	—	24.9%	52.1%	15.6%	7.4%
性別	女性	191	50	97	30	14
	男性	171	39	92	27	13
	その他	3	2	1	0	0
年代別	20代以下	50	11	27	8	4
	30代	61	17	30	10	4
	40代	76	20	39	12	5
	50代	64	15	34	12	3
	60代	74	21	39	5	9
	70代以上	40	7	21	10	2

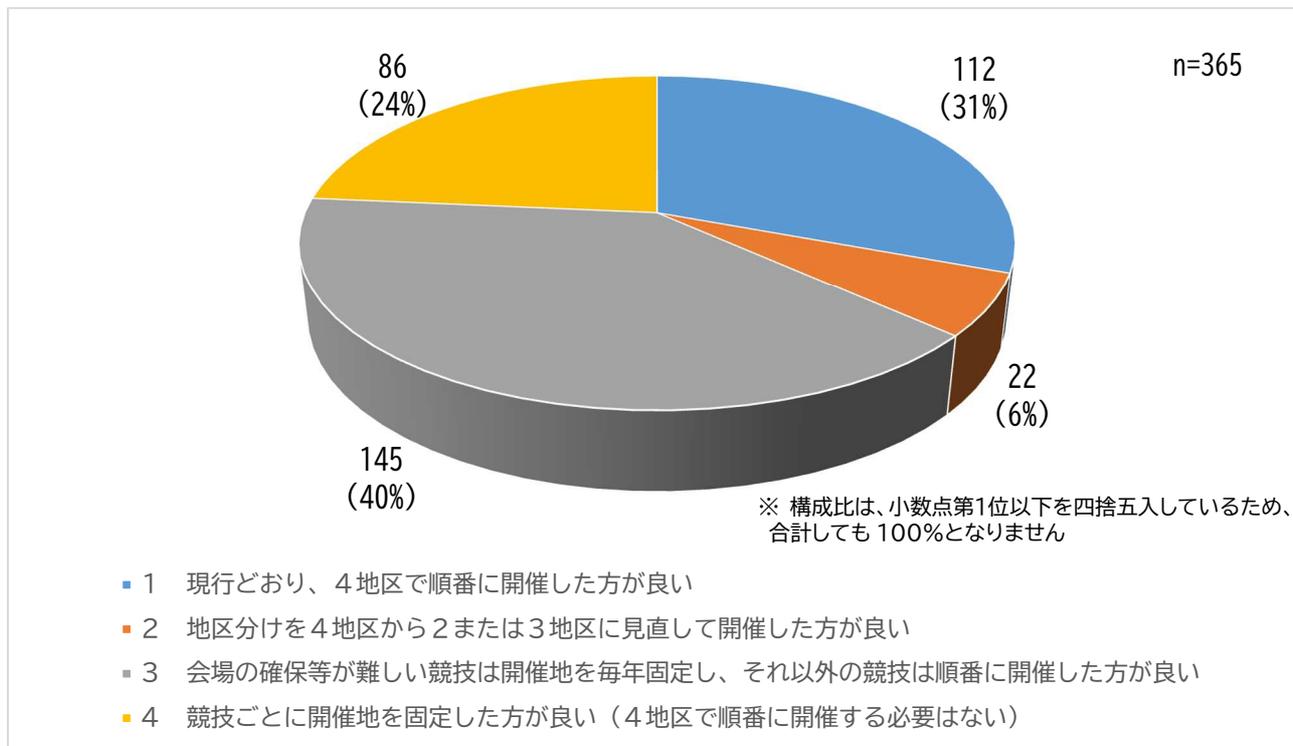
## 5. 回答結果

問1 福岡県が開催しているスポーツ大会について、知っているものはありますか。(複数回答)



- 「5 いずれも知らない」とする意見が49%と最も多く、県政への関心度が高い県政モニターにおいても、半数の方が当課が開催するスポーツ大会を認知していない。
- 特に、「福岡県スポーツ・レクリエーション祭」の認知度が低い。

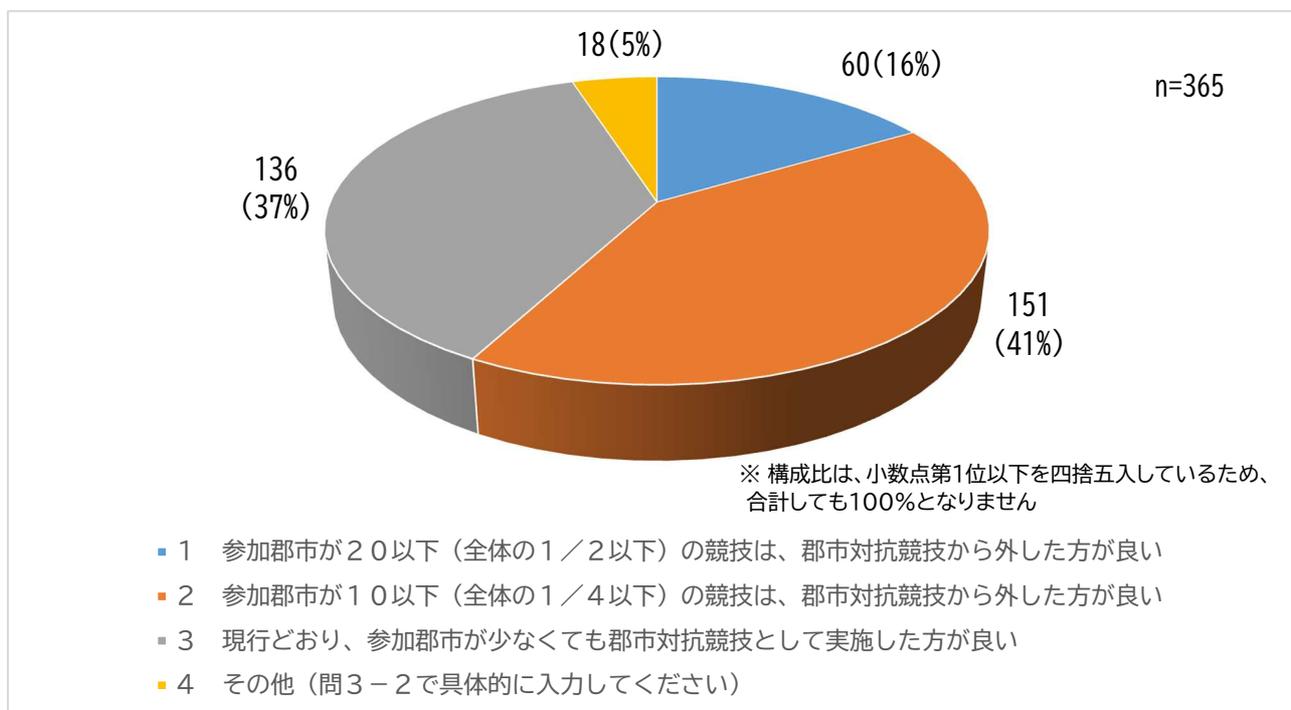
問2 福岡県民スポーツ大会は、スポーツを身近に感じていただけるよう県内4地区で順番に開催していますが、地区によっては会場の確保や運営面での負担などの課題も出ています。  
上記大会を県内4地区で順番に開催することについて、どう思いますか。



- 「1 現行どおり、4地区で順番に開催した方が良い」とする意見は、31%と一定数あるものの、課題に対して何らかの形で見直しをした方が良いとの意見が多い。
- 「4 競技ごとに開催地を固定した方が良い（4地区で順番に開催する必要はない）」とする意見は24%であり、何らかの形で順番に開催した方が良いとの意見の方が多。
- その中でも、「3 会場の確保等が難しい競技は開催地を毎年固定し、それ以外の競技は順番に開催した方が良い」とする意見は、40%と最も多。

問3 福岡県民スポーツ大会では郡市対抗競技として14競技を実施しておりますが、中には参加郡市が少ない競技もあります。

参加郡市が少ない競技について、その取扱いをどうすべきだと思いますか。



### 問3-2 その他【抜粋・まとめ】

- 参加者が少ない郡市は、近隣の郡市と合同等の方法により出場できるようにする（4名）
- 人口比により実力差があるため、郡市対抗競技としない（4名）
- 参加郡市が少ない競技は、他の競技に変更する。若い世代に人気のBMX、ダンス、障がい者も参加できるボッチャ等（2名）
- 参加したい人は参加すればよい（3 現行どおりに近い意見）（2名）
- 参加郡市が少ない競技は、隔年開催とする（1名）
- 競技者に尋ねる（1名）
- 県民スポーツ大会の在り方を検討する（1名）

- 「1 参加郡市が20以下（全体の1/2以下）の競技は、郡市対抗競技から外した方が良い」とする意見が16%、「2 参加郡市が10以下（全体の1/4以下）の競技は、郡市対抗競技から外した方が良い」とする意見が41%と、競技を見直した方が良いとの意見が多数となった。
- 一方で、「3 現行どおり、参加郡市が少なくても郡市対抗競技として実施した方が良い」とする意見が37%と、競技人口に関わらず競技を継続する意見も一定数寄せられた。
- その他の意見として、近隣の郡市と合同での出場を認める案や、郡市対抗としないやり方、競技の見直しに言及する意見が寄せられた。

問4 福岡県民スポーツ大会を始め、県民がスポーツに触れる機会を増やすために必要だと思う取り組み・アイデアはありますか。(自由記述)

【抜粋・まとめ】

- 広報活動(54名)  
様々な媒体を活用する(テレビ、ラジオ、新聞広告、SNS、ホームページ、ケーブルテレビ、交通機関、福岡県だより、地域の回覧版)、広報活動の協力を仰ぐ(市町村の広報誌、学校、スポーツクラブ、地域の指導者、県内企業、自治体のスポーツ施設、高齢者・障がい者向けの広報)、スポーツの魅力・メリットを発信、県民スポーツの日を制定
- 気軽に参加できるイベント・体験会の開催(19名)  
初心者が無料で参加できる体験会、普段スポーツをしない方でも参加できるイベント、駅などの人が行き交う場所でのイベント、市・町・地域単位の小さなイベント、地域のレクリエーション、小中学校でのイベント
- 施設・設備整備(17名)  
スポーツを気軽に楽しめる設備・場所が必要、公園・グラウンド・体育館の整備、ボール遊び禁止などの公園での制限をなくす、ウォーキングコースの設置、公民館の活用、学校体育館の無料開放
- 市町村、他団体との連携(17名)  
市町村との連携、各市町村でのスポーツ大会、中学・高校・大学・社会人のクラブ活動との連携、スポーツが盛んな学校との連携、公民館単位でのスポーツクラブ設置、各地区にスポーツ推進委員を配置、区長さんへ参加協力を要請、企業・団体と連携してイベント開催、企業でのスポーツイベント開催を促進、企業での啓蒙活動、地域のコミュニティセンターでの取り組み
- 子ども向けのイベント・教育(16名)  
親子で参加できるイベント・教室、楽しさを伝える指導者・選手の学校派遣、子どもの部の創設、保育園・幼稚園・小中学校への周知、マイナースポーツを体育に取り入れる、若者メインのイベント
- スポーツをするきっかけとなるインセンティブの付与(15名)  
ポイント付与、お店の割引、参加賞・賞品、公の施設の割引・無料クーポン
- オリンピアン、プロスポーツチームなどとの連携(13名)  
オリンピックの凄さを体感することがスポーツを始めるきっかけ、プロスポーツチームとの交流、福岡県出身のスポーツ選手とのふれあい
- 福岡県民スポーツ大会の見直し(13名)  
競技の見直し(ニーズに合わせる、誰でも参加できる、オリンピックや世界大会など話題のスポーツ)、合同チームでの参加、市と町村の分を区別、参加料を無料とする、参加者の交通の便を考える
- 補助・支援制度(9名)  
ジムやスポーツ教室の利用料補助、スポーツ施設運営者への補助、地域のスポーツクラブへの支援
- 高齢者向けのスポーツ(6名)  
高齢者のスポーツ大会の実施、グラウンドゴルフの追加、後期高齢者など年代別の大会
- 他イベントとの共催(5名)  
話題性があるグルメイベント、競技者以外も楽しめるバザー、マルシェなどと一緒に開催すると応援者も参加しやすい
- eスポーツの追加、ふくおか健康ポイントアプリでのバーチャルウォーキング(4名)
- 日々のウォーキングで参加できる仕組み、ウォーキング大会の開催(3名)
- ラジオ体操(3名)
- 現行のとおりで良い(3名)
- スポーツ観戦のキャンペーン(2名)
- 障がい者スポーツの実施(2名)

問5 スポーツフェスタ・ふくおか「福岡県民スポーツ大会」について、これまでの設問以外に意見はありますか。ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

【抜粋・まとめ】

○ 広報不足・周知徹底（38名）

実施していることを知らない、参加方法・条件がわからない、関係団体にしか知られていない、市町村広報誌で結果を見るが参加者募集は見えていない、テレビ・新聞での広報、YouTubeでライブ配信、プロスポーツの開催日にチラシ配布、地域のスポーツイベント・スポーツ施設情報を発信、競技者の声をシリーズで紹介、県外からの転入者への周知

○ 大会運営へのご意見（17名）

継続して実施してほしい、競技の見直し（新しい競技の追加、マイナースポーツの採用、参加者が少なくても競技継続）、都市対抗から個人で参加できるよう変更する、都市部に住んでいてもゆかりがある地域からの出場を認める、開催地域への他地域からの応援、ボランティアへの謝礼が必要、パブリックビューイングでの観戦・応援、旧国体と同様に見直しの時期が来ている、名称の変更、開催時期の見直し

○ きっかけづくり（6名）

普段スポーツをしない方向けのイベント、子どもから高齢者まで参加できる緩い市民マラソン、ポケモンGOの人気など違う角度からアプローチ、簡単なスポーツならできる、運動を継続することは大変なので県に導いてほしい

○ 健康づくり（2名）

スポーツ・食事といった普段の生活が重要なことを啓発、競技に出ない方も参加できるウォーキング・健康チェックコーナーの設置

○ インターネットやアプリの活用、バーチャルでの参加（2名）

○ 家族と一緒に参加できる企画の実施（2名）

○ アイデア募集、県全体から意見を聴く（2名）

○ 地域・行政区単位でのスポーツをする雰囲気づくり、地域おこしにつながる取組の実施（2名）

○ 自治体の負担が増える大会を無理に行う必要はない、他の政策を優先すべき（2名）

○ スポーツに関心がない（2名）

○ 競技力の向上（2名）

○ 県や市町村が行うのではなく、競技団体等へ補助金を出した方が活性化するのは（1名）

○ 国の方針に従い、各都道府県が競い合うシステムを構築する（1名）

○ スポーツの日の式典を行う（1名）

○ 学生も参加できる取組を行う（1名）

○ タレント発掘事業の活用する（1名）

# 令和6年度 県政モニターアンケート調査

テーマ：福岡県内の世界遺産について

福岡県 人づくり・県民生活部 文化振興課

九州国立博物館・世界遺産室

# 1 調査の目的

世界遺産とは、「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約(世界遺産条約)」に基づき、顕著な普遍的価値を有するものとして、世界遺産リストに記載された遺産である。「文化遺産」、「自然遺産」、両方を兼ね備えた「複合遺産」の3種類からなり、国や民族をこえて人類が共有するべき遺産とされている。

福岡県内には、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」(平成27年7月登録)と『『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』(平成29年7月登録)の2つの世界文化遺産がある。

本アンケートは、福岡県内に所在する世界遺産の認知度を把握するとともに、世界遺産としての価値発信の在り方等について今後の事業の参考とする。

# 2 調査期間

令和6年10月10日(木)～11月7日(木)(第4回)

# 3 回答者の構成

項目		計		北九州	福岡	筑後	筑豊
		人数(人)	構成比				
総数	人数	365		91	190	57	27
	構成比		100.0%	24.9%	52.1%	15.6%	7.4%
性別	女性	191	52.3%	50	97	30	14
	男性	171	46.8%	39	92	27	13
	その他	3	0.8%	2	1	0	0
年代別	20代以下	50	13.7%	11	27	8	4
	30代	61	16.7%	17	30	10	4
	40代	76	20.8%	20	39	12	5
	50代	64	17.5%	15	34	12	3
	60代	74	20.3%	21	39	5	9
	70代以上	40	11.0%	7	21	10	2

モニター数 398人

回答数 365人

回収率 91.71%

実施期間 R6.10.10～R6.11.7

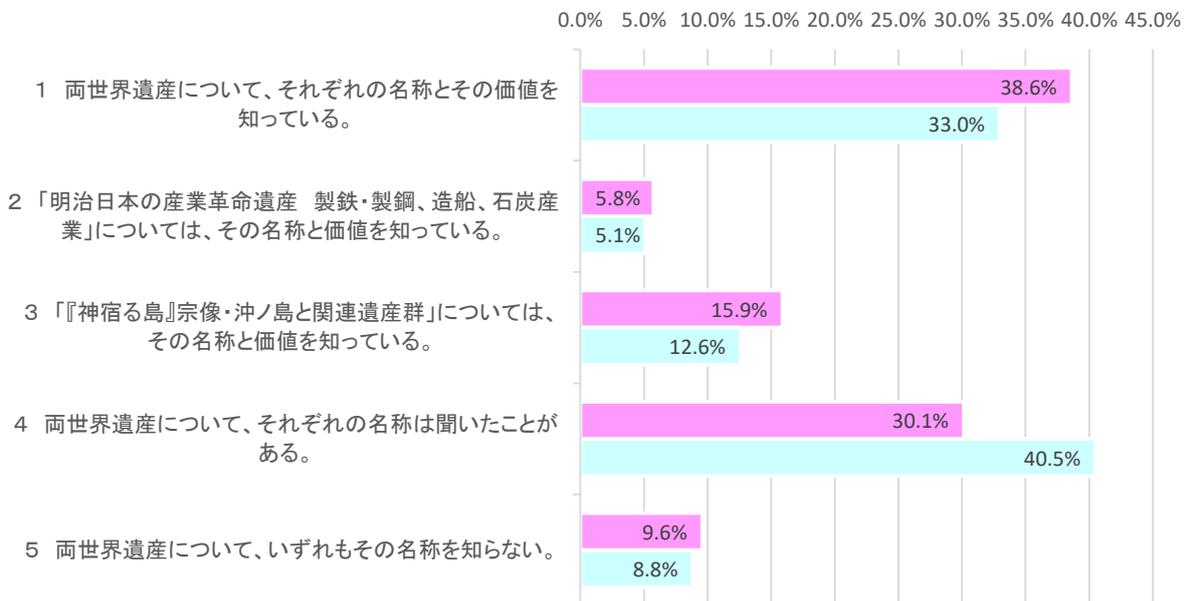
### 【回答結果の注意点】

- 集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は、必ずしも100%にならない場合がある。
- 2以上の回答(複数回答)を要する設問の場合、その回答比率の合計は、100%を超える場合がある。

## 4 回答結果

問1「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」及び「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」についてそれぞれの名称とその価値について知っていますか。  
次の中から当てはまるものを【ひとつ】選んでください。

	R6年度 (回答者数365人)		R5年度 (回答者数373人)	
	人数	割合	人数	割合
1 両世界遺産について、それぞれの名称とその価値を知っている。	141人	38.6%	123人	33.0%
2 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」については、その名称と価値を知っている。	21人	5.8%	19人	5.1%
3 「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」については、その名称と価値を知っている。	58人	15.9%	47人	12.6%
4 両世界遺産について、それぞれの名称は聞いたことがある。	110人	30.1%	151人	40.5%
5 両世界遺産について、いずれもその名称を知らない。	35人	9.6%	33人	8.8%



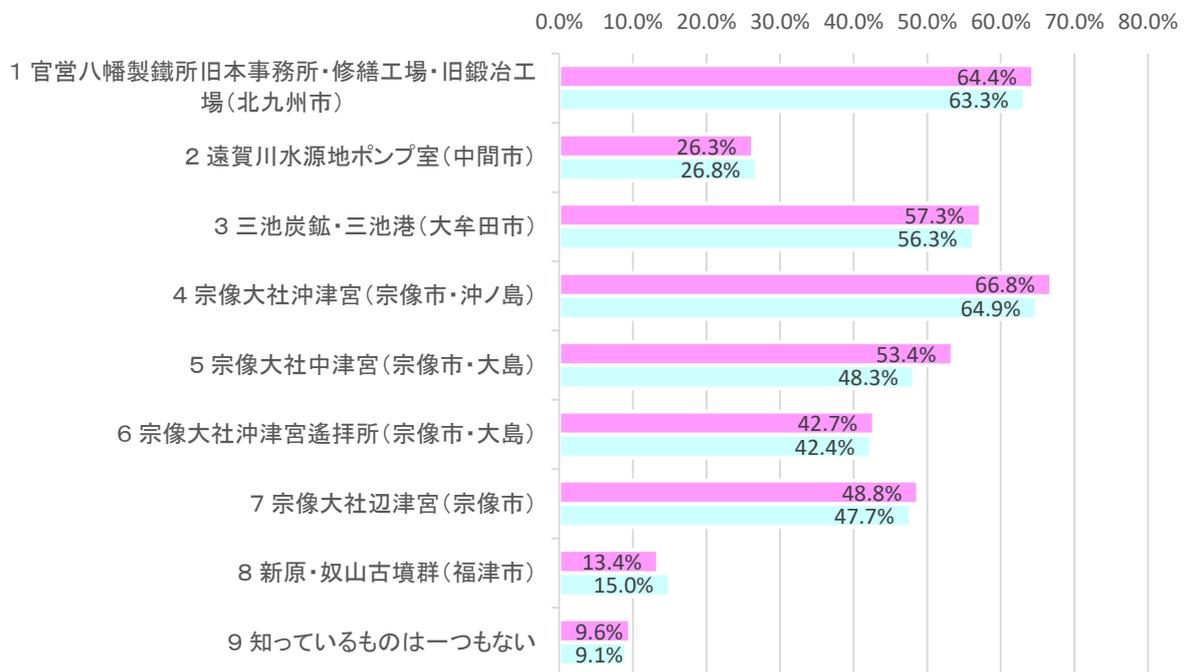
### 【問1の調査結果より】

・本県にある世界遺産について、それぞれの名称とその価値を知っている人の割合は、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」(1及び2の合計)で44.4%(前年比+6.3ポイント)、「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」(1及び3の合計)では54.5%(前年比+8.9ポイント)と認知度が増加している。

・また、「両世界遺産について、いずれもその名称を知らない」と回答した方の割合は9.0%(前年比▲0.4ポイント)と改善しているが、地域別で見ると、筑豊地域では18.5%となっており、他の地域に比べ認知度が低いことから、筑豊地域での情報発信に取り組んでいく必要がある。

問2 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」及び「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」について知っている構成資産はありますか。  
次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

	R6年度 (回答者数365人)		R5年度 (回答者数373人)	
	人数	割合	人数	割合
1 官営八幡製鐵所旧本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場(北九州市)	235 人	64.4%	236 人	63.3%
2 遠賀川水源地ポンプ室(中間市)	96 人	26.3%	100 人	26.8%
3 三池炭鉱・三池港(大牟田市)	209 人	57.3%	210 人	56.3%
4 宗像大社沖津宮(宗像市・沖ノ島)	244 人	66.8%	242 人	64.9%
5 宗像大社中津宮(宗像市・大島)	195 人	53.4%	180 人	48.3%
6 宗像大社沖津宮遙拝所(宗像市・大島)	156 人	42.7%	158 人	42.4%
7 宗像大社辺津宮(宗像市)	178 人	48.8%	178 人	47.7%
8 新原・奴山古墳群(福津市)	49 人	13.4%	56 人	15.0%
9 知っているものは一つもない	35 人	9.6%	34 人	9.1%



【問2の調査結果より】

遠賀川水源地ポンプ室及び新原・奴山古墳群は認知度が低く、その他の場所が対前年度比で認知度が増加しているのに対し、微減となっている。

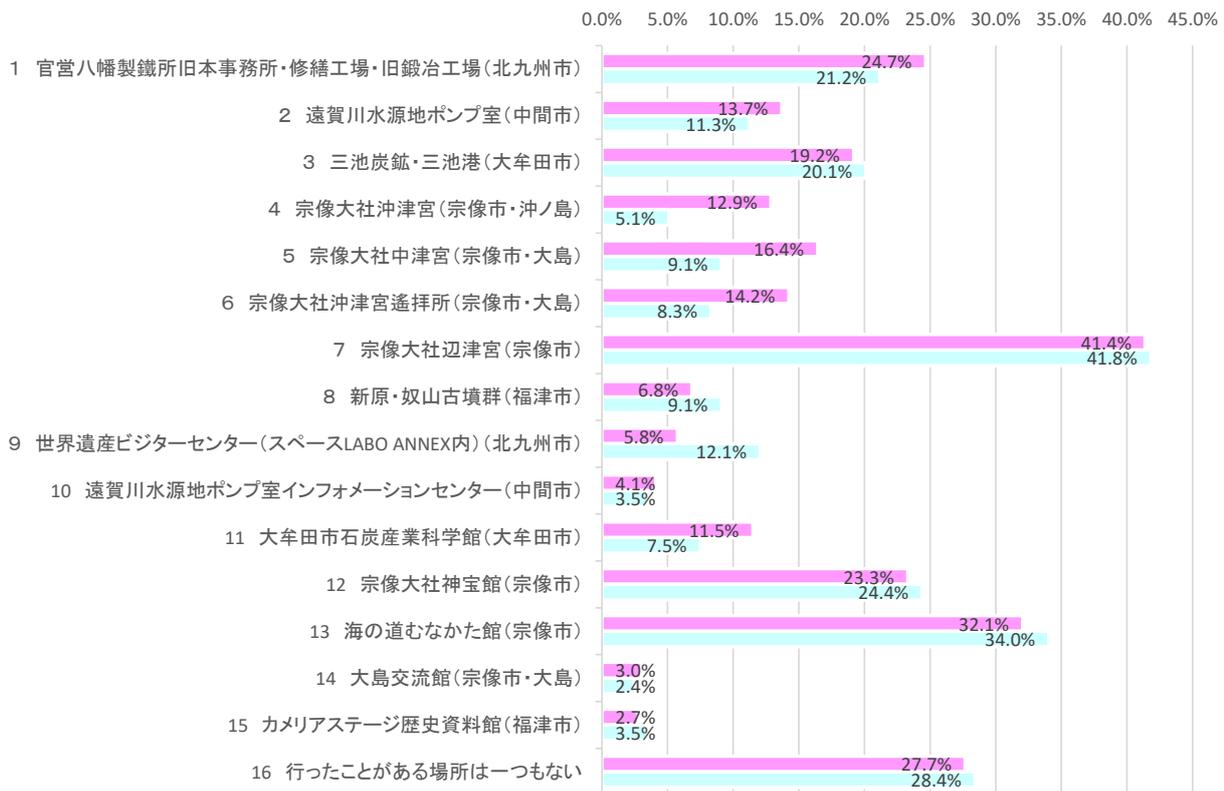
なお、認知度を年代別で分析した結果、遠賀川水源地ポンプ室は10代で12.5%、30代で19.7%、40代で21.0%となっているほか、新原・奴山古墳群は30代以下で4.0%と非常に低くなっていることから、こうした年代をターゲットとする認知度向上の取組を行う必要がある。

問3 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」及び『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の構成資産や関連する展示施設のうち、行ったことがある場所はどこですか。

次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

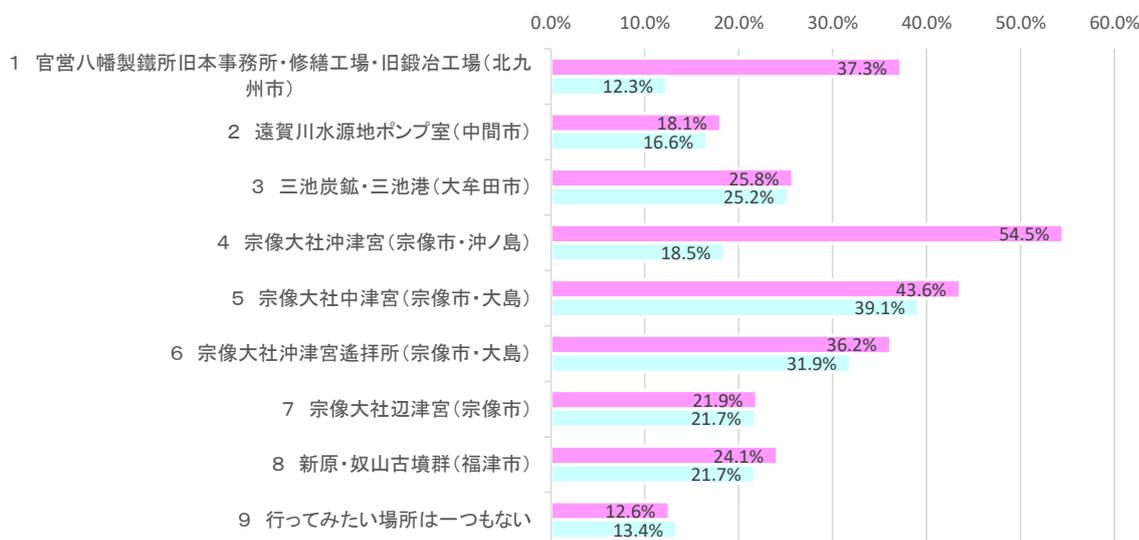
※選択肢1～8は構成資産、9～15は関連する展示施設です。

	R6年度 (回答者数365人)		R5年度 (回答者数373人)	
	人数	割合	人数	割合
1 官営八幡製鐵所旧本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場(北九州市)	90人	24.7%	79人	21.2%
2 遠賀川水源地ポンプ室(中間市)	50人	13.7%	42人	11.3%
3 三池炭鉱・三池港(大牟田市)	70人	19.2%	75人	20.1%
4 宗像大社沖津宮(宗像市・沖ノ島)	47人	12.9%	19人	5.1%
5 宗像大社中津宮(宗像市・大島)	60人	16.4%	34人	9.1%
6 宗像大社沖津宮遙拝所(宗像市・大島)	52人	14.2%	31人	8.3%
7 宗像大社辺津宮(宗像市)	151人	41.4%	156人	41.8%
8 新原・奴山古墳群(福津市)	25人	6.8%	34人	9.1%
9 世界遺産ビジターセンター(スペースLABO ANNEX内)(北九州市)	21人	5.8%	45人	12.1%
10 遠賀川水源地ポンプ室インフォメーションセンター(中間市)	15人	4.1%	13人	3.5%
11 大牟田市石炭産業科学館(大牟田市)	42人	11.5%	28人	7.5%
12 宗像大社神宝館(宗像市)	85人	23.3%	91人	24.4%
13 海の道むなかた館(宗像市)	117人	32.1%	127人	34.0%
14 大島交流館(宗像市・大島)	11人	3.0%	9人	2.4%
15 カメラステージ歴史資料館(福津市)	10人	2.7%	13人	3.5%
16 行ったことがある場所はありません	101人	27.7%	106人	28.4%



問4「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」及び「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の構成資産のうち、今後行ってみたい場所はありますか。  
次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

	R6年度 (回答者数365人)		R5年度 (回答者数373人)	
	人数	割合	人数	割合
1 官営八幡製鐵所旧本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場(北九州市)	136人	37.3%	46人	12.3%
2 遠賀川水源地ポンプ室(中間市)	66人	18.1%	62人	16.6%
3 三池炭鉱・三池港(大牟田市)	94人	25.8%	94人	25.2%
4 宗像大社沖津宮(宗像市・沖ノ島)	199人	54.5%	69人	18.5%
5 宗像大社中津宮(宗像市・大島)	159人	43.6%	146人	39.1%
6 宗像大社沖津宮遙拝所(宗像市・大島)	132人	36.2%	119人	31.9%
7 宗像大社辺津宮(宗像市)	80人	21.9%	81人	21.7%
8 新原・奴山古墳群(福津市)	88人	24.1%	81人	21.7%
9 行ってみたい場所はありません	46人	12.6%	50人	13.4%

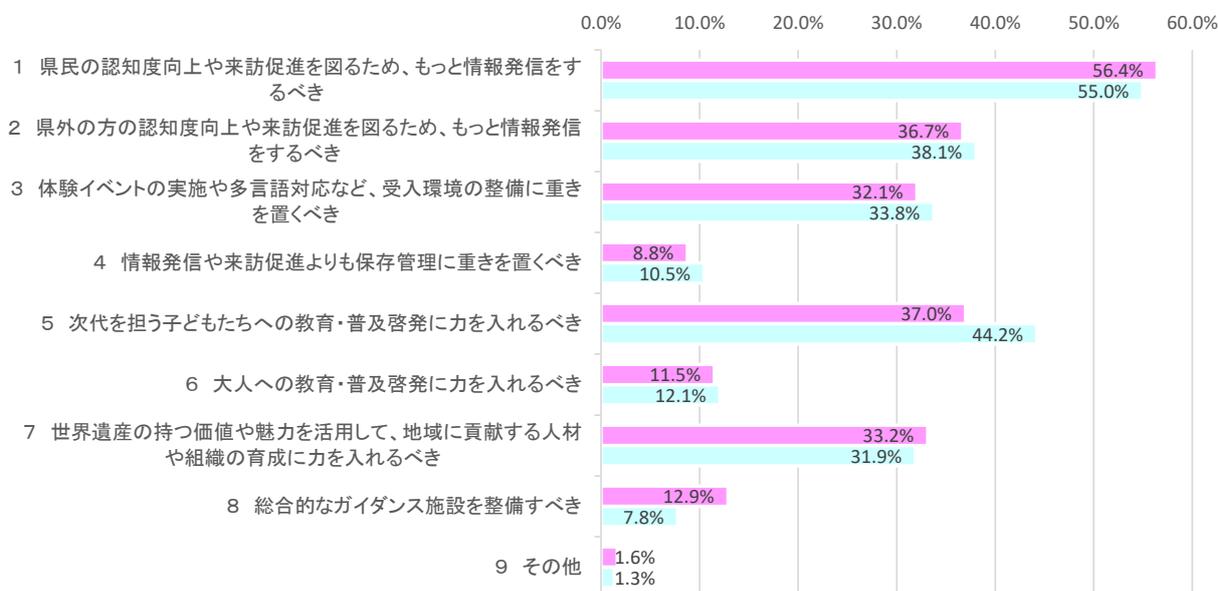


【問3、4の調査結果より】

- ・両世界遺産の構成資産や関連する展示施設に「行ったことがある場所は1つもない」という回答が前年度に引き続き約3割に上ることから、来訪促進を図る取組を継続していく必要がある。
- ・宗像市・大島の構成資産である宗像大社中津宮や沖津宮遙拝所について、「行ったことがある」方は2割に満たないのに対し、「行ってみたい」と回答した方は約4割となっており、潜在的な来訪ニーズが高いことが確認できる。特に、筑豊地域の方の来訪ニーズが高くなっている(それぞれ55.6%、44.4%)。また、上陸禁止である宗像大社沖津宮へ行ってみたいという回答は5割を超えており、関心の高さが明確となった。
- ・官営八幡製鐵所旧本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場及び三池炭鉱・三池港について、20代未満の62.7%が「行ってみたい」と回答していることから、ツアーやイベントの企画が有効と考えられる。
- ・構成資産や関連する展示施設によって、来訪の有無の差が大きいことから、両世界遺産の構成資産や関連施設が連携する周遊促進イベントが有効であると考えられる。

問5 福岡県内の世界遺産について、優先的に取り組んで欲しいことは何ですか。  
次の中から最も当てはまるものを【3つまで】選んでください。

	R6年度 (回答者数365人)		R5年度 (回答者数373人)	
	人数	割合	人数	割合
1 県民の認知度向上や来訪促進を図るため、もっと情報発信をするべき	206人	56.4%	205人	55.0%
2 県外の方の認知度向上や来訪促進を図るため、もっと情報発信をするべき	134人	36.7%	142人	38.1%
3 体験イベントの実施や多言語対応など、受入環境の整備に重きを置くべき	117人	32.1%	126人	33.8%
4 情報発信や来訪促進よりも保存管理に重きを置くべき	32人	8.8%	39人	10.5%
5 次代を担う子どもたちへの教育・普及啓発に力を入れるべき	135人	37.0%	165人	44.2%
6 大人への教育・普及啓発に力を入れるべき	42人	11.5%	45人	12.1%
7 世界遺産の持つ価値や魅力を活用して、地域に貢献する人材や組織の育成に力を入れるべき	121人	33.2%	119人	31.9%
8 総合的なガイダンス施設を整備すべき	47人	12.9%	29人	7.8%
9 その他	6人	1.6%	5人	1.3%

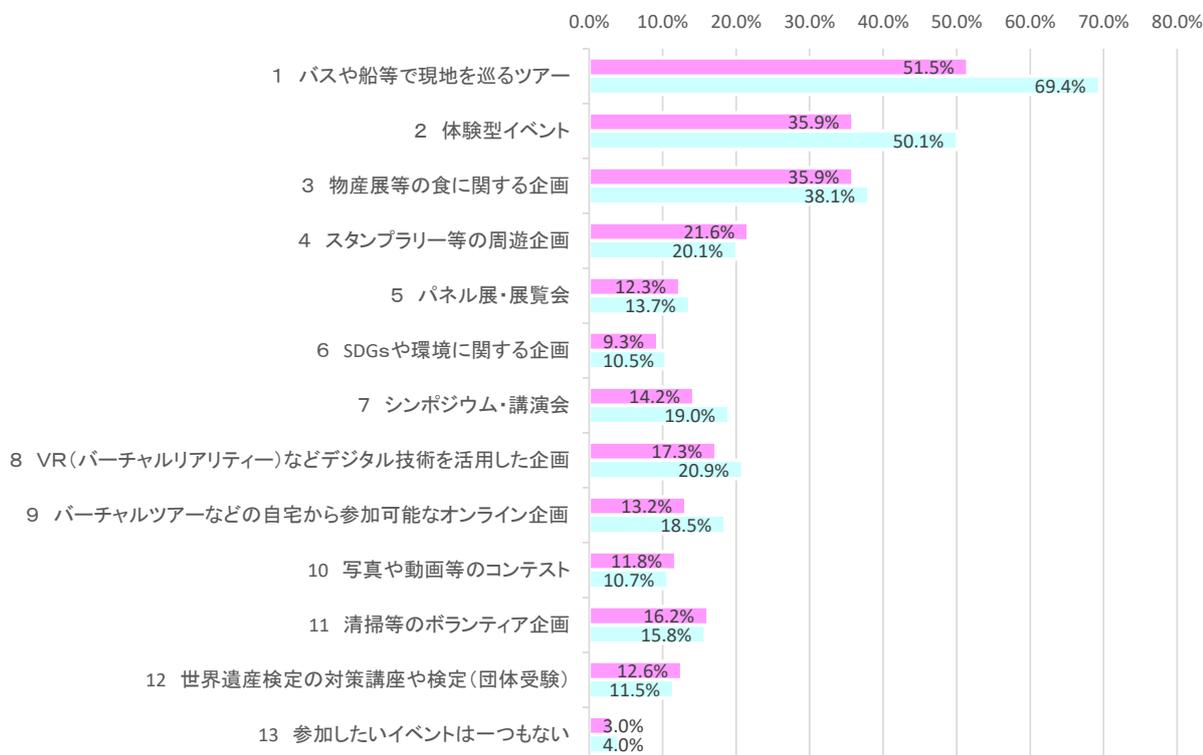


【問5の調査結果より】

- ・「認知度向上や来訪促進を図るため、もっと情報発信をするべき」との回答が多いことから、引き続き県内外に向けた情報発信が求められている。
- ・「次代を担う子どもたちへの教育・普及啓発に力を入れるべき」との回答が昨年に引き続き割合が高く、子どもが楽しみながら世界遺産について学ぶための取組を今後も継続していく必要がある。
- ・受入環境の整備や、地域に貢献する人材や組織の育成が必要という回答が3割を超えていることから、今後も地元と世界遺産の価値を共有しつつ、連携した取組が求められている。

問6 今後世界遺産に関するイベント等が開催されたら参加したいものはありますか。  
次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

	R6年度 (回答者数365人)		R5年度 (回答者数373人)	
	人数	割合	人数	割合
1 バスや船等で現地を巡るツアー	188人	51.5%	259人	69.4%
2 体験型イベント	131人	35.9%	187人	50.1%
3 物産展等の食に関する企画	131人	35.9%	142人	38.1%
4 スタンプラリー等の周遊企画	79人	21.6%	75人	20.1%
5 パネル展・展覧会	45人	12.3%	51人	13.7%
6 SDGsや環境に関する企画	34人	9.3%	39人	10.5%
7 シンポジウム・講演会	52人	14.2%	71人	19.0%
8 VR(バーチャルリアリティ)などデジタル技術を活用した企画	63人	17.3%	78人	20.9%
9 バーチャルツアーなどの自宅から参加可能なオンライン企画	48人	13.2%	69人	18.5%
10 写真や動画等のコンテスト	43人	11.8%	40人	10.7%
11 清掃等のボランティア企画	59人	16.2%	59人	15.8%
12 世界遺産検定の対策講座や検定(団体受験)	46人	12.6%	43人	11.5%
13 参加したいイベントは一つもない	11人	3.0%	15人	4.0%



【問6の調査結果より】

- ・ツアーや体験型イベント、物産展等の食に関する企画など、世界遺産を身近に感じられるイベントや企画への需要が大きい。
- ・VRなどのデジタル技術を活用した企画やオンライン企画に参加したいとの回答が2割程度あった。
- ・パネル展・展覧会、シンポジウム・講演会、検定など、世界遺産について学ぶ機会を提供する取組みの継続が求められている。

問7 福岡県の世界遺産について、これまでの設問以外に意見がありますか。  
ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

【一部抜粋(回答者数105人)】

<b>教育の推進</b>
幼い頃から時間をかけて知識を醸成させることが重要である。 小学生から社会科の授業などで福岡県に世界遺産があることを学んだり校外学習で実際に行ったりする機会が増えたらよい。
<b>広報・啓発</b>
世界遺産に認定された時にニュースで知ることもあると思うが、施設の詳細は実際に見学すると伝わりやすいので、バスツアーや子供達の社会見学、福岡県をPRする機会に取り入れると認知度も上がると思う。 身近にありながらあまり知らない事も多く福岡県民として不甲斐ない気持ちもあるが、もっと世界遺産としての魅力を情報発信してその価値観や魅力を沢山の人に伝えてほしいと思う。 SNS、テレビ・新聞等による特集などの情報発信を行ってほしい。 市政だよりなどの広報誌で簡単な紹介をしてほしい。興味がある人はQRコードで誘導しサイトで詳しくわかるようにしてほしい。 次代の子どもたちにも知って欲しい。そのためにはまず親世代への情報をもっと提供して欲しい。 世界遺産は、福岡県民が観光する名所ではなく、県外の人やインバウンドの外国人が観光するイメージが強い。なので、世界遺産の観光客に向けて、観光アプリを作ってそれを利用してもらい、クーポン等をつける代わりに観光場所ごとにアンケートを書いてもらうようにしたほうが一番参考になると思う。インバウンドの外国人と日本人とは感覚が違うので、どう感じているかを知ることとはとても大事だと思う。
<b>イベント・ツアーの企画・開催</b>
バスツアーや親子イベントなどを実施してほしい。 VRやAIを活用した疑似体験コンテンツや体験イベントを提供してほしい。 大体の場所は、行った事があり、概要は知っているが、その存在意義、歴史的功績を詳しくは知らない。イベント、展示会等開催でのさらなる周知を計ってほしい。 また、場所がバラバラすぎる事もあり、ツアーで廻るのはいいアイデアだと思う。 福岡県の世界遺産について、ほとんどの県民は何となく知っているだけで、それ以上ではないように思う。せっかくだから、県民にもう少し、マスコミに取り上げてもらうように、抽選による無料バスツアーの開催とか、該当地でのイベントを実施する等集客を努力するべきである。 自治体主催のバスツアーなどを行い、そのためのマイクロバスを貸し出す、補助金を出すなどしてほしい。 アーティストグループなどとコラボしたイベント、そこでしかできない、手に入らないなどのものがあればファンの方を中心に来訪者が増えると思う。 日常的に目に触れることが大事だと思う。知名度がないと、興味を持ちにくいと思う。有名人を呼んでイベントを行う等が必要。 文化遺産についてはその存在をなぜ遺産として保護継承していくべきなのかについて解説のストーリー性を構築し、物語として心象に残るような伝え方が工夫されると関心が高まると感じる。宗像のケースは壮大なフィクションになってしまう弊害もあるが、九州国立博物館の展示方法などは見学した当時、大きく関心を持った覚えがあり、近々の古墳や古代遺構などに関心を持つようになった。両遺産ともにより広く人口に膾炙されるようにするには多くの人に訪問してもらい且つ遺産の価値を認知してもらう必要があると思うが、両遺産への交通のアクセスは便利がいいとは言えない。自家用車だと問題ないが、福岡市、久留米市、北九州市の中心部からの直行交通をイベント期間などを設けて運行してみるのはいかがでしょうか。(ツアーまで仕組む前の段階として) イルミネーションや、シャボン玉師とのコラボイベントをしたら更に興味を持つ方が多くなると思う。 世界遺産とお祭り、フェス、マルシェ等を組み合わせるなど、世界遺産に興味ない方など誰でも気軽に参加できるよう敷居の低い取り組みをすべき。 遺産単独推しは認知、顧客層の開拓に繋がらない。 ダラダラするのではなく、キャンペーン期間を設け、露出を高くすることが有効。 観光で行くより、教育的側面のほうが需要は高いと思われる。観光として行くには、世界遺産周辺地域自体の魅力が少ない。 世界遺産に関するガイドツアーや一般来訪者では入れないような場所に入れるなど、希少性をアピールしたほうが来訪意欲は高まるのではないかと思う。 語り手さんによるイベントがあったら、是非参加したい。

## インフラ整備

行き方や駐車場、飲食店情報等がわからないので、シャトルバス運行(昼食付き)等にすると、土地勘のない人には、参加しやすい。

周辺整備をして、来やすい環境整備を行ってほしい。

世界遺産周辺の駐車場、公共乗り物等の整備を行ってほしい。

来訪者が増えた時に、自然や地域の方に迷惑に、ならないようにする取り組みも大切だと思う。

世界遺産を観光資源と考えるならアピールが足りないかも。むつかしい説明だけでは興味がわかない。アクセス、駐車場情報とかが十分といえない。また、遠くから眺めるだけの施設もあり、物足りない。

世界遺産の場所までのお得な切符などがあると気軽に行きやすくなると思う。

## 管理・保全

福岡県内の世界遺産について、もっと他の人々に知ってもらいたいが、世界遺産の保全にも力を入れてほしい。

後世に残る遺産として保存活動に注力をお願いしたい。

認定された場合は保全費用が非常に自治体の負担になると思う。

福岡の世界遺産見に行きたい場所が少ない。あまり魅力を感じない。世界遺産増やすと維持管理費がかかるので増やさないで欲しい。

福岡にはそんな事なくても人々を惹きつける魅力が沢山ある。他の事に予算を使って欲しい。

県内の世界遺産に認定されているものは、県外のものと比較すると観光地的な要素は薄いと感じている。下手に観光地化するよりも世界遺産に認定された背景と価値を維持することが重要だと思う。

世界遺産の維持や管理が保有する企業や地方公共団体、ボランティア等に支えられている感が強い。

もっと、行政が人的・物的・金銭的なバックアップを強化すべきだと思う。

観光などで人が集まるのはよいが、地元の方々には迷惑に感じている方もいるかと思われる。また、マナーの悪い人たちへの対処は厳格に行うべきだと思う。

インバウンド優先にならないよう管理を徹底して末永く保存してほしい。

## 世界遺産認定に関する意見

海外の歴代認定世界遺産はとてつもなく壮大なものがある。それらに比べて最近の国内の候補は規模が小さすぎではないかと思う。世界に誇れるもの以外は今後候補にしないほうが良いと思う。国内で国宝認定のような形がいいと思う。

国内遺産ではダメなのか。世界に認められて何かメリットがあるのか?外国人観光客の誘致のためか?国内でチンマリまとまっても将来の展望がないってことなのだろうか。

個人的には新しく世界遺産に立候補するの必要性を感じない。今、あるものを知り、大切に守る知識を得たい。

世界的に見て世界遺産件数は増えすぎており、希少価値は失われてきている。

これからはやみくもに新規登録を目指すのではなく、既存登録遺産のPR強化が必要と感じる。

もっと過疎地の文化遺産に光を当ててほしい。

## その他

鹿児島県の屋久島は『洋上アルプス』として有名。福岡県の世界遺産名も誰でも覚えやすいネーミングにしたら如何か。

インバウンドねらったり、観光客増やしたりということを目的とするのはいいけれど、それによって負の側面もあるので、なんともいえない。インバウンドより地場産業とかに力を入れたほうが良いと思う。

世界遺産を観光地化してどれくらいの他県からの収入が得られるのか。

関心がないわけではないが、県内の世界遺産に行ったことがないので、何らかの形で行きつけがある自分も含めて認識できるのではないだろうかと思う。

福岡の世界遺産をまとめた写真集や雑誌があると、見てみたいと思う。なぜ世界遺産になったのか、特殊性などの解説があると、より興味をもてると思う。

つい最近、世界遺産を紹介するテレビ番組で福岡県内の世界遺産について詳細を知り、興味を感じていた。近いうちに家族で巡ってみたい。

世界遺産のことについて聞いたことがあるくらいで行ったことがなかった。まず行ってみて自分から周りに宣伝していきたい。

県民の宝なのでもっと勉強して大切に守りたいです。また貴重な観光資源なのでうまく活用して宣伝して欲しい。

PRが大々的だと、渋滞や面倒を感じて気が引ける。

ショッピングモールのように観光地として人がはげないと、メディアで見るだけで充分だと思ってしまう。

## 【「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」について】

### 教育の推進

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産は九州5県、山口県、岩手県、静岡県、全国の8県11市にも点在しているため、どの資産も今ひとつインパクトに欠ける。観光資源ではなく、児童生徒の社会科見学に使うなど活用方法を一考したほうが良いと思う。

### 広報・啓発

中間市に在住なので、世界遺産に関する取り組みは身近に感じている。イベントに参加すると市外の方も参加されていることが多いので市外、県外の方への認知をもっと増やせるようになれば良いと感じている。

製鐵所の旧本事務所は特に、間近で観れないため、中の様子を別場所にパネル等展示したりと工夫する必要があると思う。

官営八幡製鐵所は現在の居住地のすぐそばなので容易に行くことができるが、場所によってはなかなか訪問や見学がしにくい場合もあろう。訪問や見学は無論大事だが、単純に現地に行く以外にも理解を広めるためのさまざまな取り組みが進められるべき。

「産業革命遺産」の存在は知っているものの、それが具体的にどこにあるかまでは知らないし、広く知られていない。この世界遺産を今後も維持し、何かの形で後世に伝えていくのであれば、もっと広報をすべき。

沖ノ島や製鉄、三池炭鉱は少しは知っているけれど詳しくは知らない。せつかくの身近な世界遺産なので今後は勉強したい。三池炭鉱は小説などで知り興味があるが世界遺産というだけで興味がわくことはないかもしれない。後世に継承していくにはやはり宣伝活動が必要。

大牟田市はかつての賑わいがなくなり、さびれてしまっている。世界遺産を上手に活用し、人々が訪れてくれるよう、活性化に期待したい。

### 管理・保全

以前大牟田の世界遺産炭鉱に西鉄電車で行きましたが、世界遺産謎のものだけで周りは閑散として草が沢山生えた状態だった。

### その他

近いといつでも行けるので、逆に行かない。中間とか最初は目立っていたが、最近では全然盛り上がってないような気がする。

## 【『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群について】

### 広報・啓発

沖ノ島などは非常に行きにくい場所なので、ぜひバーチャルツアーなどを企画してアピールしてほしい。

宗像大社を訪れた際、特に特別な祭りなどやっていた時期でもなかったため、閑散としていた。資料館は充実していると思ったが、ちょっと人が少なすぎると感じた。その原因の一つは、アピール不足であり、観光地としての魅力の発信が圧倒的に足りないと思う。例えば、現在宗像周辺地区で「筑前玄海イカフェア」が開催されているが、そうしたイベントと相乗効果を狙った連携をとっていくべきだと思う。さらに、今はインバウンド需要の高まりで外国からの観光客がとて増えているので、その外国人にアピールできるようにSNSを積極的に利用することが大切と思う。

図書館で宗像の世界遺産のDVDを借りて見たが正味10分くらいでびっくりした。最低30分位で制作して欲しい。そして各地の図書館に配布して欲しい。

### インフラ整備

宗像大社へのアクセスが悪い。公共交通機関で行きにくいので、休日やゴールデンウィークなどはシャトルバスを設けるなどして、観光客増加を目指してほしい。

### 世界遺産認定に関する意見

福津市の古墳群が世界遺産になっているが、もっと広域的に考えて、宮若市の竹原古墳を含めてはどうか。

竹原古墳は美術的価値も高く、整備されているので、世界遺産の価値を高める事ができるのではないかと。

### その他

沖ノ島だけは聖域として開発しないでほしい。

### 【問7の調査結果より】

- ・世界遺産に関する取り組みについて様々な意見が得られた。
- ・特に、世界遺産としての広報・啓発やイベント・ツアーの企画・開催に関する意見が多く、より広く世界遺産についての情報発信を行っていくことや、魅力的なイベントやツアーの開催を求める要望が多く寄せられた。
- ・そのほか、子どもたちへの教育の推進、インフラ整備や管理・保全を求める意見もあった。
- ・これらの意見を踏まえ、世界遺産の保存・活用の取り組みを今後も継続・発信していく必要がある。

# 令和6年度県政モニターアンケート 調査結果報告書

## 「こども施策について」

福岡県福祉労働部  
こども未来課

## 1. 調査目的

国において令和5年4月から「こども家庭庁」が発足し、こどもの最善の利益を第一に考え、こども政策を強力に進めていくため、こども基本法（※）が施行されました。

福岡県においても、こどもを取り巻く課題が多様化・複雑化する中、令和5年4月から新たに「こども未来課」を新設し、こども施策を総合的に推進しています。

県として、全てのこどもが健やかに成長できる社会の実現に向けて取り組んでいくことは、県政における最優先の課題の一つであると考えております。

そのために、県民の皆様のごども施策等に関する御意見をお聞かせいただき、今後のこども施策の推進の参考にさせていただきます。

※ こども基本法とは

こども基本法は、こども施策を社会全体で総合的かつ強力に推進していくための包括的な基本法として、令和4年6月に成立し、令和5年4月に施行されました。

こども基本法は、日本国憲法および児童の権利に関する条約の精神にのっとり、全てのこどもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し、こども政策を総合的に推進することを目的としています。

同法は、こども施策の基本理念のほか、こども大綱の策定やこども等の意見の反映などについて定めています。

## 2. 調査時期

令和6年10月10日～令和6年11月7日（第4回）

## 3. 回答者の構成

項目	総数	性別			年代別					
		女性	男性	その他	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
人数	365	191	171	3	50	61	76	64	74	40
構成比	100.0%	52.3%	46.8%	0.8%	13.7%	16.7%	20.8%	17.5%	20.3%	11.0%

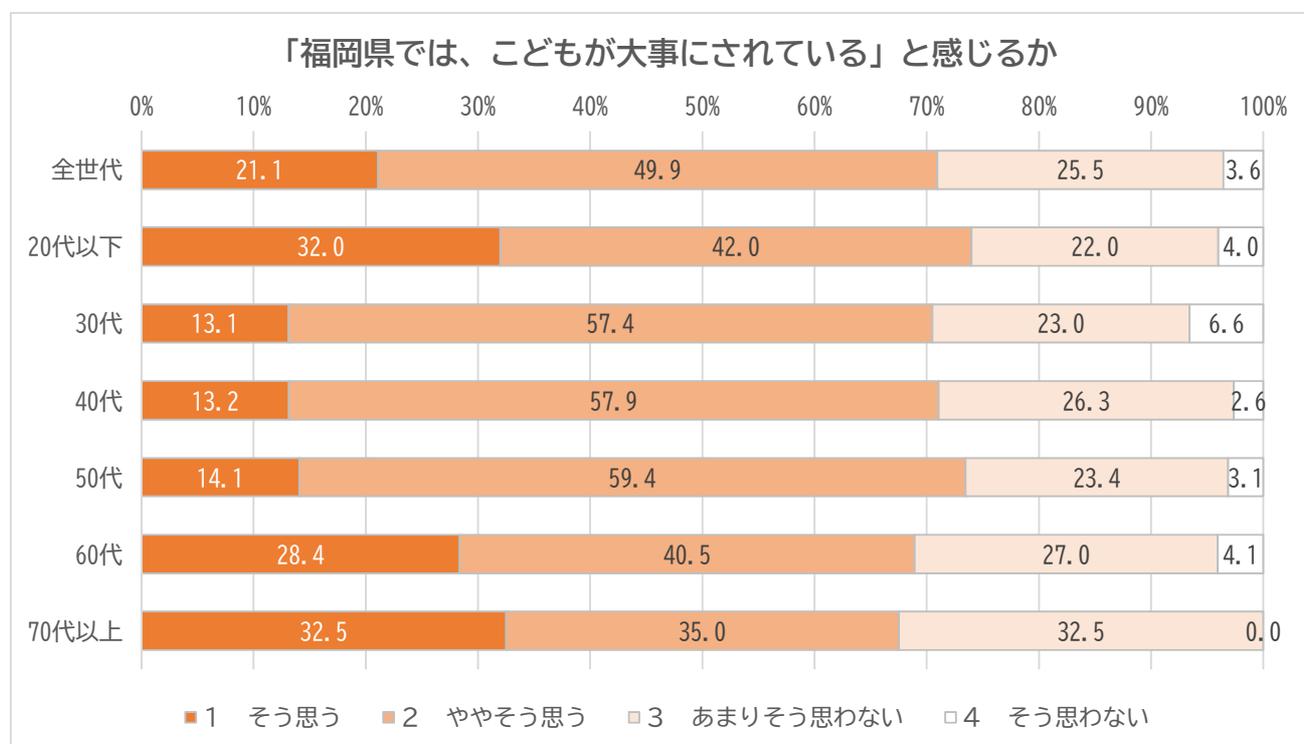
※各選択肢の構成比は四捨五入しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

## 4. 回答結果

問1 あなたは「福岡県では、こどもが大事にされている」と感じますか。  
次の中から最も当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

	回答数	割合
1 そう思う	77	21.1%
2 ややそう思う	182	49.9%
3 あまりそう思わない	93	25.5%
4 そう思わない	13	3.6%
	365	100.0%

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 そう思う	77	16	8	10	9	21	13
2 ややそう思う	182	21	35	44	38	30	14
3 あまりそう思わない	93	11	14	20	15	20	13
4 そう思わない	13	2	4	2	2	3	0
計	365	50	61	76	64	74	40



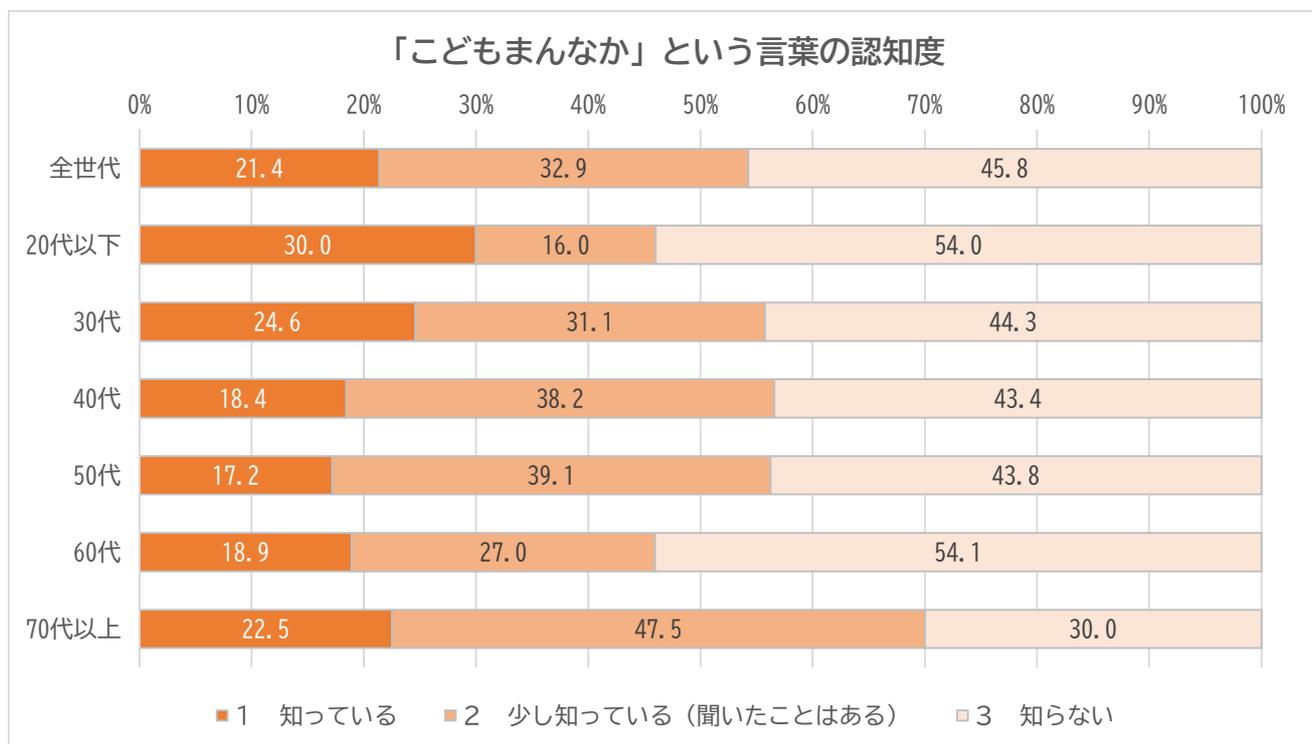
※各選択肢の割合は四捨五入しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

問2 国（こども家庭庁）は、常にこどもの最善の利益を第一に考え、こどもに関する取組・政策を社会の真ん中に据える「こどもまんなか社会」の実現を目指して、こども施策を推進していくこととしています。

あなたは、この「こどもまんなか」という言葉を知っていますか。  
 次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

	回答数	割合	(参考) R5県政モニター
1 知っている	78	21.4%	16.7%
2 少し知っている（聞いたことはある）	120	32.9%	33.6%
3 知らない	167	45.8%	49.7%
	365	100.0%	100.0%

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 知っている	78	15	15	14	11	14	9
2 少し知っている（聞いたことはある）	120	8	19	29	25	20	19
3 知らない	167	27	27	33	28	40	12
計	365	50	61	76	64	74	40



※各選択肢の割合は四捨五入しているため、合計が必ずしも 100%にならない場合があります。

問3 「こどもまんなか社会」の実現には、わが国も1994年に批准している「児童の権利条約（こどもの権利条約）」の考え方がとても大切です。

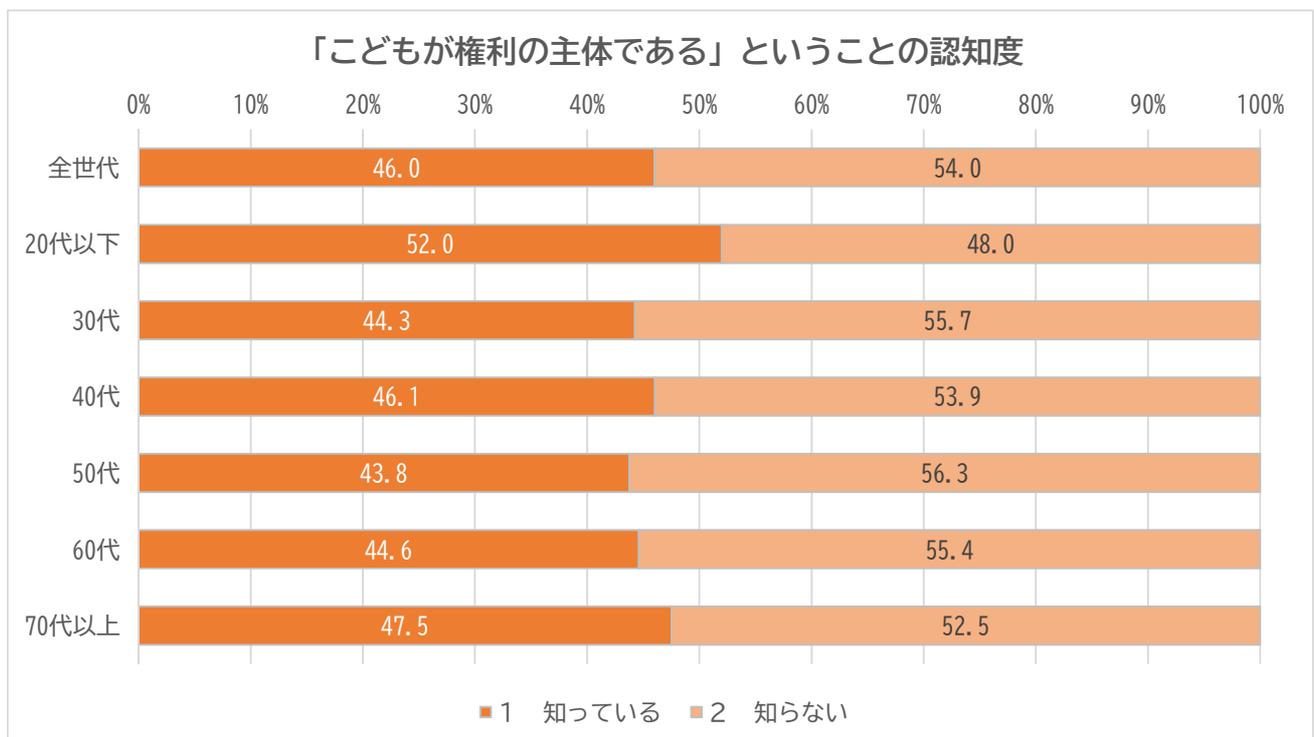
この条約では、18歳未満の児童（こども）を権利を持つ主体と位置づけ、大人と同様、ひとりの人間としての人権を認めるとともに、成長の過程で特別な保護や配慮が必要なこどもならではの権利も定めています。

あなたは「こどもが権利の主体である」ということを知っていますか。

次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

	回答数	割合
1 知っている	168	46.0%
2 知らない	197	54.0%
	365	100.0%

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 知っている	168	26	27	35	28	33	19
2 知らない	197	24	34	41	36	41	21
計	365	50	61	76	64	74	40



※各選択肢の割合は四捨五入しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

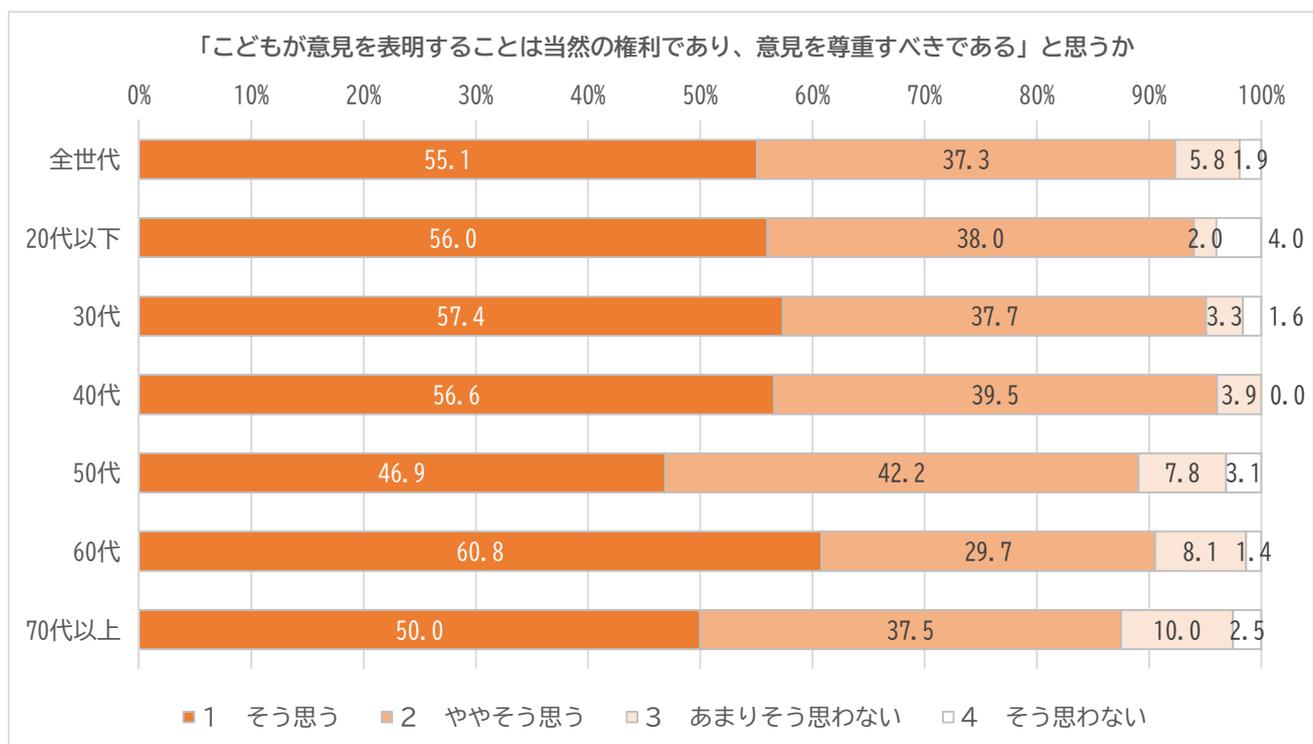
問4 こども基本法の制定により、「こどもまんなか社会」の実現を目指して、こどもの意見を聴きながらこども施策を進めていくことになりました。

あなたは「こどもが意見を表明することは当然の権利であり、意見を尊重すべきである」と思いますか。

次の中から最も当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

	回答数	割合
1 そう思う	201	55.1%
2 ややそう思う	136	37.3%
3 あまりそう思わない	21	5.8%
4 そう思わない	7	1.9%
	365	100.0%

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 そう思う	201	28	35	43	30	45	20
2 ややそう思う	136	19	23	30	27	22	15
3 あまりそう思わない	21	1	2	3	5	6	4
4 そう思わない	7	2	1	0	2	1	1
計	365	50	61	76	64	74	40



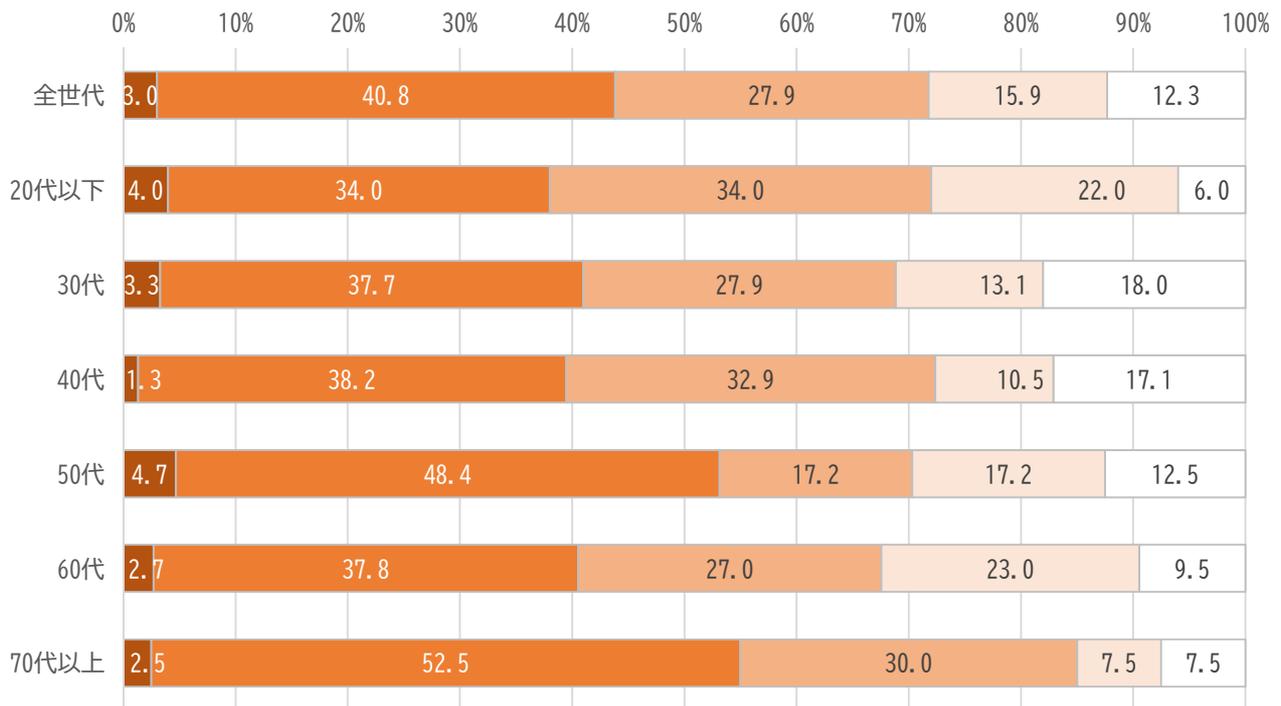
※各選択肢の割合は四捨五入しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

問5 こどもの意見を聴くべき施策の範囲について、次の中から最も当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

	回答数	割合
1 施策は大人が中心となって決めるべきであり、こどもの意見を聴く必要はない	11	3.0%
2 こども自身の個人的な生活領域の事項に関すること（公共施設の利用時間やルール等）など、こどもにとって身近なものについては、こどもの意見を聴くべき	149	40.8%
3 選択肢「2」の内容に加えて、こどもの一般的な成長、福祉に関わる政策（教育、福祉、保健等）など、こどもやその保護者を主な対象とするものについても、こどもの意見を聴くべき	102	27.9%
4 選択肢「2」「3」の内容に加えて、こどもが主な対象ではないが、こどもにも関わりがある政策（例：公共交通、住宅政策等）についても、こどもの意見を聴くべき	58	15.9%
5 こどもに関わるかどうかは問わず、行政施策全般について、こどもの意見を聴くべき	45	12.3%
	365	100.0%

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 施策は大人が中心となって決めるべきであり、こどもの意見を聴く必要はない	11	2	2	1	3	2	1
2 こども自身の個人的な生活領域の事項に関すること（公共施設の利用時間やルール等）など、こどもにとって身近なものについては、こどもの意見を聴くべき	149	17	23	29	31	28	21
3 選択肢「2」の内容に加えて、こどもの一般的な成長、福祉に関わる政策（教育、福祉、保健等）など、こどもやその保護者を主な対象とするものについても、こどもの意見を聴くべき	102	17	17	25	11	20	12
4 選択肢「2」「3」の内容に加えて、こどもが主な対象ではないが、こどもにも関わりがある政策（例：公共交通、住宅政策等）についても、こどもの意見を聴くべき	58	11	8	8	11	17	3
5 こどもに関わるかどうかは問わず、行政施策全般について、こどもの意見を聴くべき	45	3	11	13	8	7	3
計	365	50	61	76	64	74	40

### こどもの意見を聴くべき施策の範囲



- 1 施策は大人が中心となって決めるべきであり、こどもの意見を聴く必要はない
- 2 こども自身の個人的な生活領域の事項に関すること（公共施設の利用時間やルール等）など、こどもにとって身近なものについては、こどもの意見を聴くべき
- 3 選択肢「2」の内容に加えて、こどもの一般的な成長、福祉に関わる政策（教育、福祉、保健等）など、こどもやその保護者を主な対象とするものについても、こどもの意見を聴くべき
- 4 選択肢「2」「3」の内容に加えて、こどもが主な対象ではないが、こどもにも関わりがある政策（例：公共交通、住宅政策等）についても、こどもの意見を聴くべき
- 5 こどもに関わるかどうかは問わず、行政施策全般について、こどもの意見を聴くべき

※各選択肢の割合は四捨五入しているため、合計が必ずしも 100%にならない場合があります。

問6 こども施策について、これまでの設問以外に意見がありますか。  
ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

No	意見	年代	性別
1	高齢化社会において子どもの意見は少数派になってしまうが子どもにも自分に関わりのある事として考えてもらう事は必要。そのため子どもの意見も聞けるような場所、機会を作っていく必要がある	30代	女性
2	子供がいないので、子供に関する話題は興味を全く持ちません。同じように感じている大人は多いと思います。	30代	女性
3	こどもまんなかと掲げている割には住んでいる地域は優しくないです。福岡市など発展している地域ばかりに目を向けるのではなく田舎ほど意見を聞いて欲しいです。 高齢者が多く高齢者ばかり優遇されていると感じます。	30代	女性
4	子供に選挙権を与え親がそれを代わりに行使することで、こどものための政治が行われやすくなる。そこまでやらずにこどもまんなかなどと言うのは片腹痛い。成年後見制度と同じ理屈で出来るのではないかと思う。国に先んじて福岡県で行えればこれほど素晴らしいことはない。他県からも人が集まる魅力的な県になれると思う。	50代	男性
5	小学校とか給食食べたら子供達は眠たくなるので、午後からの授業に子供達が主体となって考える授業があるといいと思います。 例えば今後学校を良くするために、まず何をしたらいいとかか校庭にどんな遊具をつけたいかとか、今度のお楽しみ会は、どんな事がしたいとかか子供達が主体となって考える授業が大切だと思います。	40代	女性
6	子どもの意見を聞いたからといって、それを優先的に行うのではなく、あくまで選択肢の中のひとつとして扱うならば、非常に有効的ではないかと思う。	30代	男性
7	今回子供をテーマとしていますが、子供の年齢設定はどのように設定されていますか。	70代以上	男性
8	子供は社会全体で育てるのが良いと思いますが実態としては何もやってないし出来ていません。何かできること行政の方でも考え指導をしてください。	40代	女性
9	こども第一に考える施策は大切だが、大人がスマホを使用しながらの子育ては多く見受けられ考えものだ。こどもとしっかり向き合う必要がある	50代	女性
10	「こども」の定義がこのテーマに記載されていないため、こどもの年齢に応じて柔軟な対応をとるべきだと思う。	40代	女性
11	小学校時代、ふさわしくないとと思われる教員が担任でえらく苦勞した思い出。教員をもっと柔軟に解雇しやすくするべきであるし、学校には心理カウンセラーではなく、弁護士を。こどもの意見はえてしてきいてもらえないし、教員にふさわしくないとと思われる人がいてもみんな見ないふり。こんなことをなくしていかなければ人権なんて絵に描いたもちです。 また、学校に行く行かないを決める権利も子供に与えてあげたい。ただ、私は子供に甘くしているわけじゃなくて、小学校も資格制度、中学校卒業も資格制度、義務教育だからこそすべきだと思っています。学力を問わなければ。その上で、自分でなんとかするのかそれとも学校が必要だと思うのかは自由。押し付けの教育はやめるべき。	50代	男性
12	子供自身が多少とも自分で考え、真剣な判断が下せるように正しい知識と理解を定着させる教育的な取り組みが並行的に進められる必要がある。これがないままただ意見を聞いても、周囲の大人に左右されたりするなどして、あまり意味のある結果にはならないだろう。	50代	女性
13	子どもは国の宝。 子どもに関する事は、全て子どもの意見を聞くべきだし、そうすることで子どもたちが世の中の動きに興味を持つことができると思う	60代	女性

No	意見	年代	性別
14	大人が完全でないように、こどももそうである。 こどもの気持ちは大事にしないといけませんが、100%意見をきく(のむ)必要はないと思う。 間違いと思うことは大人の判断で正していいし、大人はそうしなくてはいけない。 最近、こどもの人権におびえ、こどもを正しく導こうとしている大人が少なくなっていることに、逆に危惧を感じている。	70代以上	男性
15	こどもの意見はもちろん尊重してあげるべきだと思うが、大人もしっかりとした考えを持って取り組まないと、変な方向に行くことが懸念される。	40代	男性
16	家庭の経済格差により子供の体験格差が発生していると聞きます。 こどもが小さくても「こどもの意見」を聴くことを福岡県が日本で先駆けて実施してはいかがでしょうか。	50代	男性
17	子どもの視点での意見は大人が見落とす可能性がある視点があるので意見を取り入れた方が良い	30代	女性
18	全て子どもの意見を聞く必要はないと思う。子どもは未熟なので、常識や知識も乏しい点があるため。だから子どもと大人と一緒に寄り添いあってルール作りをする事が、お互いを尊重し合える思いやりのある素晴らしい大人になるための第一歩だと思う。	50代	男性
19	もっと子供達が遊べる施設を希望します。	60代	男性
20	子供は立派な意見を持っていますので子供にも意見ができるような場所、またそれが反映される機会があれば良いと思います。	30代	男性
21	子供が増えれば増えるほど経済的負担が増えている。子供が増えることに経済的メリットがない社会政策が問題と考える。子供の数に応じて所得等に関係なく大きく減税するか補助をするか、して欲しい。また、子供と一緒に休日に過ごせる場所が屋内・屋外問わず非常に少ない。	60代	女性
22	親子の意見を聞くべきだと思います。当事者じゃないと分からないことがたくさんあると思いますので。	50代	女性
23	こどもの定義をどこまでとするか。 意見を集める姿勢は重要であると思う。(まともな意見を探すことが大変労力がかかる) コンサルが見出せることが多そう。	60代	女性
24	こどものために出来る事は、こども自身だけではなく、子ども達に関わっている大人(保育士/教師/子育てを終えた主婦など)の視点から子どもの立場に立った意見も政策に反映させた方がよいのではないかと考えます。 子どもが良いと考える事は、その子の心の発達に左右される為、未来思考より現実的な面のみが強調されてしまうなど様々な問題点もあります。多角的な視点からの分析が必要であると思います。	50代	女性
25	自治体の首長と、児童生徒の代表との面会や会談などが行われるが、発信されるのはその内容のみ。いかにも子どもの意見を聞いてますよという、いわゆる帳面消しの感が否めない。その内容から自治体側が考えたことや改善点、問題点を発信してほしい。	20代以下	女性
26	体験型を増やしては	40代	女性
27	こども施策を行う際に子供の意見を取り入れるのも大切だと思います。 今は子供の将来を念頭に置いて国自体も政策を打ち出していますが、子育て世代が手厚い補助がある中、出産可能な年代の氷河期世代が該当する給付がなく、生活不安を抱えて世帯を持てなかったり、子供を断念しなければ生活出来ない現実もこども施策に含めるべきだと思います。	40代	男性

No	意見	年代	性別
28	身近な例では小学校の統合などの意見が子供の意見どころか地域の高齢者などの意見によって決められています。 また必要性の感じない役場の新設などに税金を使い子供向けの施策がほとんどない地域もあります。 4人の子供を育てる親として県が主導して現状のような地方行政のあり方を改善、主導してほしいと切に願います。	30代	男性
29	子供は宝物です。みんなで社会のなかで育てましょう。	60代	女性
30	子どもの意見を聞くことは大切だとは思いますが、守るべきルール of 意義など大人も説明しなければならないと考えますし、『ならぬものはならぬ』というものもあっていいのではないのでしょうか	20代以下	男性
31	大人子供をきっちりしなくても、県住民、意見のある人の声を聞いたら良いと思います。	30代	男性
32	こどもに係る意見聴取に関してエクスキューズとして行くくらいなら行わなくて良い。 真にこどもの意見を政策に反映させる気を県が持った時に、行くべきである。	50代	女性
33	選挙投票率、資産運用等、世界から見て日本人の意識が低いことは明らかです。子どもの頃から、もっと政治、経済について身近に触れる機会、体験があれば、と思います。	20代以下	女性
34	子どもは親の言う事を聞くもの、という固定観念があるので、なかなか子どもの意見を聞くまでにはいかない。子どもはどうしてもその場の感情に流されて先を見据えた適切な意見が言えないのも影響している。	30代	男性
35	こどもへの配慮より子育てをしている世代への配慮に政策がすすめられている感じ。正直、子供に縁のない暮らしをしているので現実感がない。ただ、子供にばかり顔をむけてるなあと高齢者はうらやましい。	70代以上	男性
36	こども施策がある事自体知らない。まず全県民に知ってもらう事が大事。子供全員から意見を貰うなら学校に協力してもらうべき。	30代	男性
37	公民館等を通じて、子ども達が集まる機会を増やして、子どもの意見を聞いたりアイデアを取り入れる工夫があれば良いのかなと思います。	40代	女性
38	福岡県（福岡県内の市町村）では、高校生までの保険診療が低額の月額上限（または無料）となっていたりして、手厚い支援がなされています。 こども施策をいろいろとやって充実させるよりも、行政コストの視点から、学校教育・地域内の取組・一般家庭への経済的な支援を軸に、その充実を図ってはどうか？小中高校教諭の待遇改善や学校の統廃合に伴う教育環境の充実など。高校・大学の実質無償化、一部の低所得者向けの経済的な支援等の国の方針はあまり効果的でないように感じています。	50代	男性
39	子供は日本の未来を背負っているから、大切に育てていかなければという意見にはある程度賛成。ただ、大切に過ぎるのもどうかと感じる。	50代	女性
40	子無しの為具体的に子供の教育等触れる機会がなく「こども基本法」も聞いた事はありません。 実際にどういった事がおこなわれているのでしょうか？ 子供を守るのは大人の義務かとは思いますが今は「躰」は学校で行うものという考え方の保護者もいて親の役目を果たしてない保護者もいると思います。スマホが当たり前で与えられそれを利用しないと子供達の日常生活に支障が出る現代ではなかなか全ての子供の事を見守るのは不可能だとも感じます。守ると同時に監視も必要でしょうし、時には力づくで強制する事も必要かと思えます。少子化が進んでいる事もあり子供に甘い保護者が多い傾向もあると感じます。	60代	男性
41	政治に振り回されていることを感じます。福岡県は自信を持って施策をすぐ進めてください	70代以上	女性

No	意見	年代	性別
42	子どもには、安全に健やかに育てたいので、強く押し進めると良いと思う。乳幼児を育てている親にも国内では此処で育てて良かったと思える様に、福岡県にはなってもらいたい。	60代	男性
43	成人してからいきなり政治や政策について興味を持つというのは酷だと思えます。小さい頃から自分の意見で身の周りの環境が変わることもあるんだと意識させるのも良いと思う。政治といった言葉で縛らず、自分たちの言葉も伝わるんだ、考える意味はあるんだというメッセージを伝える意味も込めて大人から意見を聞かれるという体験が必要なのではと思います。	60代	女性
44	昔のように公園で元気に遊び、大人が遠くから見守る。これが出来たら子供に関する問題は解決する糸口になると思う。	70代以上	女性
45	子供の意見を聞く事も大事ですがみんなが楽しく過ごしてできるようになるといいなあ	40代	男性
46	もっと子供が笑っている毎日になれば良いなとは思っています。	30代	男性
47	政策の具体的な実感がわからない。なにが生かされているのか具体例を知りたい	40代	男性
48	子どもならではの視点での意見も聞いてみるのはいいと思う 子どもたちにとっても考えるいい機会になればと思う	40代	男性
49	人が増えてくれるのはありがたいことですが、マンションなどが増え、公園や緑がすくないので、福岡県が中心となり増やして欲しい。	50代	女性
50	こどもに関する施策は、こどもの意見を取り入れるべきだと思います。意見収集の方法としてこどもを参加させて意見を聞くのではなく、学校に行政担当者が外向いて積極的に意見を聞いたらどうでしょうか。意見はどんな意見も全て録音し、持ち帰り、担当者独自の解釈ではなく複数の担当者による集約（こども意見の誤った解釈防止）も必要ではないでしょうか。	50代	男性
51	まだまだ子供なので、大人がある程度、決めるべき。	20代以下	女性
52	子供に関して県独自の施策を感じません。もし、国の施策以外の県独自の施策を行っているのであれば、広報誌等で県民に知らせてほしいと思います。	40代	男性
53	子供は未熟であり、意見も未熟である、との考えではなく、ひとりの人間として、意見が尊重されるべきだと思います。少子高齢化の社会では、高齢の意見が優先される傾向にあると思いますが、子供は未来であるので、積極的に子供の意見を尊重していく社会になっていくべきか、と思います。	50代	男性
54	こどもまんなか社会に関して、以前どこかで聞いた程度しか知識がない。様々な事柄が世の中に存在し、こどもまんなか社会だけを大アピールすることはできないだろうが、それに関係する機関においては、大アピールしたほうが良いのではと考える。例えば、子供の権利に関するチラシや宣伝、パンフレットや街頭広告、役所などに掲示するなどである。	40代	男性
55	福岡県は子どもに関する施策が優れていると思います。	70代以上	男性
56	福岡県は子供に優しい場所ではないと感じる。中学や高校では競争が重視され、それに乗り切れない子供たちは重視されてこなかった。これは親として痛感してきた。どこから変えていくべきかは分からないが、教師の数を増やす、部活など教師の負担を減らす、不登校などを対処する場所を増やす、などの必要性を強く感じる。	60代	男性
57	質問の選択肢の内容が、高圧的で上から目線オーラが凄い。「机上の論理」的思考での文章に思える。子どもへの慈愛をみじんも感じない。	30代	男性
58	世の中、親ガチャ、子ガチャと言いますが、子供達が学習できる、遊べる、体験できる機会を福岡県は積極的に行っているのではないかと思います。今後とも、その機会を下さる様ご尽力ください。	20代以下	男性

No	意見	年代	性別
59	どうしても大人目線の施策になりがちなので、子ども食堂や遊具施設の充実した屋内施設の整備が望まれます。	30代	男性
60	こどもの権利を尊重するためには子供の意見を聞くことは大前提だと思います。経験不足、発信する力の不足など、こどもだからこそ力が不足する部分もあるため、大人がこどもから意見を聞く場づくり、丁寧な聞き取りが必要だと思います。また、子育て世代の意見もこどもの権利を考える上では必要不可欠だと考えます。	40代	女性
61	大人は常識的な事を言うのに対し、子供は時々思いもしない事を言う事があり、それが的を射ている事もあるので話しを聞くのも一案だと感じます。	50代	女性
62	使う、遊ぶ主体は子ども、子どもたちのストレートな意見を拾い上げることが大事！	40代	女性
63	財源がある自治体はさまざまな政策をしているが、地域によっては子どもに対する予算が足りていないと思う。子どもの権利について全議員に講義をして頂きたい。	20代以下	その他
64	あくまでも子どもの意見を聞く分には、たくさん聞いたほうが良いと思うが、それに左右されすぎるのは違うと思うので、意見はたくさん集めた上で、きちんと判断できる大人が決めれば良いと思う	50代	男性
65	知識、経験のあるものは良いが、まったく知らないことは何のことかもわからないと思うので、全てに意見を聞くことは大事だが、バランスも必要かと思う。	60代	男性
66	大人とこどもを区別して考えるのではなく、こどもからもっといろいろな意見を聞く場を設けていくことが必要だと思います。こどもに気軽に意見を聞いたり、参加する機会を増やしていくことを県として考えて欲しい。	50代	男性
67	広く子どもの意見を聴いて尊重していく事は大事だと思います。 子どもなりの視点が視えて改革出来ることを見つけられそう。 大人だけの視点でだと押し付けのようになる場合もありそう。 子どもは社会で育てる意識があるが、近年防犯上やたら声かけも出来ないのが現状にあります。 でも、見守りだけは大人達が続ける事は大切だと思います	70代以上	男性
68	福岡県内の子どもは全て平等にしてほしい。医療費の負担がほんと数十メートル先にある自治体と自身が住む自治体でどうしても数百円も差があるのか理解に苦しむ	30代	女性
69	子どもがまんなかにい続けるためにも、子どもの周りにおける環境(人・もの・情報)が大きいと考えているため、周囲の大人たちに心身ともに健やかであり余裕がある必要がある。また、財源の確保は教育上もっとも重要と考えるため、企業誘致や賃上げなどお金が潤い循環する街作りが必要。情報については、子どもだけでなく大人の情報リテラシーを高め、正しく恐れ正しく向き合っていくことも重要だと考える。	30代	女性
70	一時預かりを利用するだけでかなり大変な経験をした。保育園によって子供に寄り添ってもらえない現状を肌で感じ、同時に危機感ももった。預けたら安心ではなく預けてる間どう過ごしてるか心配のほうが上回り幼いうちはやはり自分で見るしかないと思ってしまった。もっと開かれた子育て空間を自治体主体で設けてもらえると安心。	30代	女性

No	意見	年代	性別
71	問5の意図が正しくつかめなかったのだが、施策を決定する過程で当事者の意見を聞くのは当然のことだと思う。もちろんこの場合の当事者は未成年であるため、意見を述べるにとどまり決定の場に参加することは難しいが、子どものための施策や子どもにかかわる施策であるなら、子どもの利益を代弁する人が決定の場にいることが望ましいと思う。 また、子どもに関する施策について全般に言えることは、まずは何より衣食足りていることが前提であるため、子どもの医療費の無償化、利用する施設の無料化、給食費や学用品の無償化、子どものいる世帯の扶養控除などから議論してほしい。そこを世帯の自己責任や民間の共助に任せたままで「こどもまんなか」をうたうことには正直うんざりしている。福岡県・福岡市はほかの自治体よりも子育て世帯に優しい施策が多く非常に助かっているため、全国に波及できるような取り組みを今後もどんどん進めてほしいと期待している。	30代	男性
72	病院に行きたくても簡単にいけない子供もいると思います。 子供医療証を市区町村単位ではなく県で管理していただけたら、と思います。	40代	男性
73	出産、育児をしやすいような支援をもっと充実させて欲しい。 現実、児童手当だけでは足りない。 子どもができると、2人から3人と家族が増え、光熱費や食費等も一気に上がるため、現在の値上げラッシュのせいで生活が困窮します。とてもじゃないけど2人目を産みたいとならない。 家も広い家に住み替えたいが、家賃の負担増のことを考えて住み替えや住宅購入までの余裕がない。	40代	女性
74	子供用の自転車のヘルメットの助成を行ってほしい。	30代	男性
75	体験格差に繋がらないよう、こどもが安価に遊べる施設を充実させてほしい。	50代	女性
76	私の周りに子供がいないのでおそろかになっているのを反省しています。 こんな私達にも触れられる環境があればと思っています。	30代	女性
77	昔の様に子供会で祭りやドッチボール大会、ソフトバレー大会 いまはサッカーとかなのかも。 塾や習い事、で子供達が集まらないのか？ 子供達の交流があれば良いなと思います。	50代	男性
78	問5では4.を回答していますが、2, 3, 4ともに子供の知識、経験の度合いにより意見のきき方も多様にしないと子供の意見を正當に評価できないと思います。施策について子供の意見を聞くということは具体的にどのような施策についてどんな質問をどの対象の子供に行っていくのか、行政の透明性を期待するところです。	60代	女性
79	こどもの知識はとても狭い、その中でなんでもアイデアや意見を求めるよりは、大人の専門家が多角的に集い、子どもにこういうやりかたがあるんだけど、どう思う？というようなやり方もとりいれたらいいと思います。	50代	女性
80	我が家では子どもの意見を尊重しすぎて、子どもファーストで育てた結果、良くなかった面もありました。バランスを見て大人が主導権を譲らないことも大事だと思います。	50代	女性
81	こども施策で子ども達は広く社会について考える経験を重ね、社会に出た時に自分達や次の世代を代表して考え実行できる大人に成長してほしいと思っています。	30代	男性
82	少子化対策を福岡県がどこよりもリードするようお願いします そこが何よりも重要です 家庭の負担を減らしてください	20代以下	男性
83	少子高齢化のこの時代、教育費の無償化など子どもを育てやすい環境にしてほしい	20代以下	男性

No	意見	年代	性別
84	こどもに対する施策について、個人的な問題もあると思いますが設問にある内容をほとんど知りませんでした。もっと県民への情報発信を行なってほしい。	50代	男性
85	子供は未熟な部分があるので、それを鵜呑みにするのではなく「アイデア」として取り入れるのは大いに活用したいが、間違えた解釈を子供たちがすると「自分たちは優位だ」と思いそう。	40代	女性
86	子供の意見は、まだ未熟なものがあるので、全て子供の意見通りにするのは危ないと思う。大人が、子供の意見を聞くべき案件なのか、そうでないかを判断することが重要。	50代	女性
87	子育てが終わっているものについては、現在手当など手厚くなってきているが、実際金さえ出せばいいものではなく少子化など真剣に考えなければいけないことがあると思う。	50代	男性
88	こども未来課が設立されたのは知っていますが、いまいちどのような活動をしているのかわかりにくいところがあります。子供の虐待や貧困問題を改善することは現代社会において急務となっており、困っている子供たちのSOSにいち早く気づいてあげるために力を入れていかなければならないと感じています。	40代	女性
89	これから高齢世代が増えていき子供が減っていきます。子供を大切にする世の中でないといけないと思う。	20代以下	男性
90	子ども園へ幼稚園が変わろうとしていますが、大きな市でもまだまだ担当者さえどうしていったらいいのかよく分かっていないように聞きます。もっと行政が引っ張っていけるように各市町村職員への啓発と研修をしっかりとしてほしいです。	60代	男性
91	教育というとい一律に勉学ととらえられ、高校、大学の無償化の話となるが、個々の特性を生かして将来の進路を考えられる教育を行うべきかと思う。勉学が嫌いな子が高校に行き、わからない勉強をしてもあまり意味がない。勉強は、基本だけあれば良い。子供が将来自分の好きなこと、得意なことを伸ばせる教育、自分で考え、自分に自信をもてる教育を小さいころから行うべき。	60代	女性
92	少子化問題に取り組む必要性を鑑みるともっともっと人とお金を子供たちに使っていただきたいです。	50代	女性
93	「こどもまんなか社会」を推進するには、ある程度の年齢の子どもを自治体の住民投票に参加させることが有効だと思います。社会に向けて自分の意見を発信し、それによって社会が変わっていくことを実感してもらうことが肝要です。	40代	男性
94	子供の意見が正しいかどうかは置いておいて、（それはまた別問題）意見は聞いた方がいいかもですね。あとは子供食堂とか民間をあてにしないで、自治体でもっとどうにかしてあげて下さい。	40代	男性
95	子供の保護について一番大切なことは、学校での「いじめ」がない環境づくりが一番大事であり、学校としては常にこの件を重視していかなければならない。子供が楽しく勉強をし、多くの友達と遊ぶ環境を学校と保護者で是非、作ってほしい。その手助けを県がリーダーシップを発揮できるようお願いいたします。私は、「こどもまんなか社会」という立派な文言よりも子供が楽しい学校生活ができ、毎日学校に行きたくなるような、福岡県を目指してほしいと思います。	70代以上	男性
96	教育機関と県や市町村が一体となって情報と現状を広めながら取り組みをしていけば良いと思います。	50代	男性

No	意見	年代	性別
97	<p>こどもまんなかの政策を進めるのはとてもいいことだと思う。自治体の職員も減少し、就職希望者の争奪が行われている中で、生まれ育った自治体の職員を希望する者がもっと増えてほしいと思う。子供の頃から行政に参加し、故郷を好きになってもらい、地域のために恩返しをする気持ちを持った若人が育つように自治体と連携して取り組んでもらえる事業を推進していただきたい。</p> <p>こどもの権利条約に「子どもの養育はまず親に責任」という条項があります。昨今の世の中は、権利優先になっているためにカスハラ等が多くなり、こどもの教育現場にも影響が出ており、教員不足に拍車がかかっていると考えています。常識しらずの親が多くなれば、それを見て育った子供は将来同じ考えを持つかもしれません。学校は人権学習等を行っていますが、まずは親が責任をもって常識を教えることが大切だと思いますので、こどもまんなかの政策を考えると同時に、親やこれから親になっていく世代に向けての、子育てに関する政策等も推進していただきたいですね。</p>	40代	男性
98	<p>時代の流れのスピードも変化も大きいので、何をしても子供を大切に作る施策にしてほしい。</p>	40代	男性
99	<p>子どもが社会や施策にかかわることで、社会や行政に参加するという意識が芽生えることは重要だと感じます。子どもだからこそ、理解できていない社会の複雑さとの兼ね合いで不可能なこともあるかもしれませんが、子どもの目線だからこそ大人が見失っている視点があることも多いかもしれません。子どもがのびのびと過ごせる社会になってほしいです。最近、虐待が話題になり怒られられない子どもが増えてますが、社会の中で、心配になる成長の子どもたちも増えています。間違っていたり社会のルールは教えるべきだと思います。また、変に子どもだからと気をつかうのではなく、わかりやすく議論をすることも必要かと思います。</p>	50代	女性
100	<p>こどもを支える親世代の負担軽減の観点から、0から2歳児の保育料について現行よりも県として補助を増やして頂きたいと感じる。</p> <p>現在では、2人以上の子供を持つ場合、歳の差が近い程、保育料など補助が多い。同じ2人、3人の子供を育てるのに子供の年齢や学年で、かかる費用が異なるのは全く理解できない。</p> <p>人口増加に貢献している、子供3人目以降の保育料は全世帯で無償化して良いのではないかと思います。</p>	30代	女性
101	<p>施設に於いて子供が何をしたいのか良くリサーチするべきです。ただゲームをすればいいものではないと思うので。</p>	60代	男性
102	<p>まず学校から、チャイルドファーストの仕組みを県主導で進めていきたい。</p>	50代	男性
103	<p>子どもの意見を聞くことは素晴らしいと思うが、どの子の意見を聞くかは難しい選択。</p> <p>個人の意見を取り上げてくれるのか？</p> <p>意見が偏らないのか？</p>	40代	女性
104	<p>まずは学校での「児童の権利条約」の尊重が大事であると考えている。</p> <p>こどもにとって学校は、社会であり、今後生きていくうえで重要な最初の場所だからである。</p> <p>過去の実体験で、こどもの意見を最初から聞き入れない教育者、こどもだからと意見を蔑ろにし、問答無用で大人の決めたことに強制的に従わせる教育者が多くいた。</p> <p>より力を入れるべき問題であると考えている。</p>	20代以下	男性
105	<p>現場の意見や状況を理解して施策を考えて欲しい。また、働く親としては、病児保育を考えてほしいと思います。</p>	70代以上	女性

No	意見	年代	性別
106	子供の意見を聞く場を設けるのも必要ですが施策を決定するのは、大人の仕事と思う。 完璧な施策でも時代とともに変わる必要がある。	50代	男性
107	子どもに対しての大人の対応の仕方、親も含め親以外の方々にも伝えたい方がいいのではないか。	20代以下	女性
108	子供を育てる親の意見でなく、大人に分類される前の子供の意見をしっかり聞くべきだと思う。	50代	女性
109	子どもは未来の日本を担う、大事な宝だと思います。また、一人の人間であり、個人として尊重される存在です。もし、学校で虐めにあったり、家庭で何か問題や辛いと感じる事があつたら、躊躇することなく、伝えられたり相談しに行ける場所がもっと必要なと思います。そのような相談窓口や場所、機関を増やし、気軽に何でも言える場所や大人がいる事を知ってもらい、安心して、のびのびすくすく、健康に育って行って欲しいと願います。	40代	女性
110	子供が成長し社会人として立派に自立できるような子育て環境を作ることが大事だと思う。金をばらまくだけが子育て支援にはつながらないと思う。	70代以上	男性
111	・就学援助が市町村によってバラツキがあるのはなぜ？住んでる市町村で支援に差があるのはおかしいと思う。 ・県内の公立小中学校(県立、市町村立)を完全給食にしてほしい。栄養のある食事をすべての公立学校のこどもが食べれるようにしてほしい。お金がなくて充分なお弁当が用意できないこどもを助けてほしい。	40代	女性
112	調査対象の母数を増やせば子ども達の望む的確な情報が得られると思う。	20代以下	男性
113	こども施策についてはあまり知らなかったもので、今まで以上に情報提供をお願いしたい。	70代以上	男性
114	子供の意見を聞き、尊重するという考え方には賛同できるが、受け取るべき大人が(もしかすると、子供も)その意味を履き違えている気がする。意見を尊重する=意見を何でも受け入れる(何よりも優先される)、子供の安全・安心が最優先、子供は社会全体で守るべき・守られるべき存在といった、偏った考え方には賛同できない部分もある。間違えたことを正すという事も、広い意味で子供を育てるということに繋がるという事も理解して欲しい。	50代	男性
115	こどもに意見を聞くといっても、子ども自身の個人的な意見しか聴取は期待できず、その意見が施策に有効活用できるのかは、コスト面を考慮しても必要性を感じない。 それよりは保護者や教育関係者、こどもに関わる地域団体に意見を聞いたほうが建設的だと思われる。	30代	男性
116	こども主体にしても、よく理解してない子の意見はあまり参考にならない。 まずは、こどもの意見を聞けるような教育が先だと思う。 意見を聞くことがゴールにならずに、その意見を活かすようにならないと何の意味もなさない。 それぞれの分野でこどもから好かれるような話しアプローチができる人が教える場が必要。しっかり選定をしてこどもが成長できるようにすると良い。	40代	男性
117	自治体によって子ども支援の内容が違う(オムツ配布等)のが残念です。	30代	男性
118	政府等の公共機関の情報発信が不十分だと思います。	60代	男性

No	意見	年代	性別
119	子どもは大切だし、施策も必要。 只、親側の主張が強すぎるくらいがあると思う場面が多い。 現金支給より学校生活に必要な費用が無い施策が良い。給食費用や学用品などが無償のほうが余程、公平。 現金だと子どもに使われるとは限らない。	60代	女性
120	こどもの意見を聞くためには、家庭内での親子の会話を密にすることが大切。	70代以上	女性
121	きちんと成果の出る施策を考えて取り組んでほしい。	70代以上	女性

県政モニターアンケート：花の消費・拡大について

(農林水産部 園芸振興課)

【調査の目的】

各世代の花購入状況（購入目的、購入金額）を把握することで、花が好きな県民を増やすための効率的なアプローチ手法の参考とし、有益な事業執行、施策立案に繋げるもの。

① 回答状況

365名より回答があり、地区別では福岡地区からの回答が過半を超える。全体の男女構成は、ほぼ同じ割合である。また、年齢構成は、18～19歳を除き、概ね10～20%となっている。

地区	年代	女性	男性	その他	総計	割合
1 福岡		97	92	1	190	52%
	18～19歳	5	1		6	
	20～29歳	8	12	1	21	
	30～39歳	16	14		30	
	40～49歳	19	20		39	
	50～59歳	18	16		34	
	60～69歳	18	21		39	
	70歳以上	13	8		21	
2 北九州		50	39	2	91	25%
	18～19歳	1	1		2	
	20～29歳	7	2		9	
	30～39歳	8	9		17	
	40～49歳	11	7	2	20	
	50～59歳	8	7		15	
	60～69歳	14	7		21	
	70歳以上	1	6		7	
3 筑豊		14	13		27	7%
	20～29歳	3	1		4	
	30～39歳	3	1		4	
	40～49歳	2	3		5	
	50～59歳	2	1		3	
	60～69歳	4	5		9	
	70歳以上		2		2	
4 筑後		30	27		57	16%
	20～29歳	4	4		8	
	30～39歳	4	6		10	
	40～49歳	6	6		12	
	50～59歳	8	4		12	
	60～69歳	3	2		5	
	70歳以上	5	5		10	
総計		191	171	3	365	

## ② 花を購入する目的、金額

花を購入する目的は、「お祝い事、贈答のため」(回答数 135) が最も多く、以下、「仏壇やお墓に供えるため」(回答数 69)、「玄関、リビング等、自宅に飾るため」(回答数 56)、「ガーデニングや生け花等を楽しむため」(回答数 49) の順に多い。

一方、「花を買うことはない」も一定数回答(回答数 56)があった。

また、一人当たり年間購入金額は、平均 8,743 円であり、18～19 歳代が平均 1,625 円と最も少なく、60 歳代が 11,885 円と最も多かった。20 歳代以上では、40 歳代で 7,442 円が最も低かったものの、総務省「家計調査」における世帯あたりの切花購入額(福岡市：5,682 円/世帯)と比較し、高い金額であった。

年間購入金額の男女比較においては、男性平均 9,405 円、女性平均 8,161 円と男性の方が高かった。

花を購入する目的別での年間平均購入金額は、「お祝い事、贈答のため」が 8,845 円と最も低く、「ガーデニングや生け花等を楽しむため」が 12,918 円と最も高かった。

購入目的	1 玄関、リビング等、自宅に飾るため		2 ガーデニングや生け花等を楽しむため		3 仏壇やお墓に供えるため	
	回答数	平均購入額/年	回答数	平均購入額/年	回答数	平均購入額/年
18～19歳			1	5,000	1	5,000
20～29歳	6	10,833	5	11,500	4	5,125
30～39歳	8	11,688	10	8,300	7	5,329
40～49歳	9	8,556	9	9,389	11	8,955
50～59歳	13	10,000	9	16,778	12	10,067
60～69歳	14	13,750	10	20,100	20	15,350
70歳以上	6	8,917	5	10,200	14	11,679
総計	56	10,920	49	12,918	69	10,907
購入目的	4 お祝い事、贈答のため		5 花を買うことはない		総計	
	回答数	平均購入額/年	回答数	平均購入額/年	回答数	平均購入額/年
18～19歳	1	3,000	5	0	8	1,625
20～29歳	18	9,944	9	0	42	7,667
30～39歳	28	9,071	8	0	61	7,669
40～49歳	34	8,988	13	0	76	7,442
50～59歳	19	9,053	11	0	64	8,966
60～69歳	23	7,783	7	0	74	11,885
70歳以上	12	8,458	3	0	40	9,238
総計	135	8,845	56	0	365	8,743

花を買わない理由は、「花が高価である」が最も多く、37%を占め、次いで「花に興味がない」で28%あった。また、21%が「花瓶がない」と回答している。その他の理由（14%）として、水替え等の管理が負担、生活必需品ではないものにお金を回す余裕がない等が述べられている。

### ③ 手ごろな価格（500円）での花束を販売するイベントへの興味

500円程度で花束を販売した場合、「ぜひ購入したい」と回答した割合は、26%（96/365）であり、50歳代では38%と4割近くを占める（24/64）。「ぜひ購入したい」、「購入を検討したい」と回答した割合は、70%を占める（（96+161）/365）。

①にて「花を買うことはない」と回答したものにあっては、「ぜひ購入したい」と回答した割合は、11%であったが、「ぜひ購入したい」、「購入を検討したい」と回答した割合は、45%まで占める。

500円程度での花束販売イベントでの購入意向					
年代・性別	1 ぜひ購入したい	2 購入を検討したい	3 購入しない	4 どちらともいえない	総計
<b>18～19歳</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>8</b>
女性		3	1	2	6
男性	1	1			2
<b>20～29歳</b>	<b>10</b>	<b>14</b>	<b>13</b>	<b>5</b>	<b>42</b>
その他	1				1
女性	4	9	6	3	22
男性	5	5	7	2	19
<b>30～39歳</b>	<b>13</b>	<b>26</b>	<b>12</b>	<b>10</b>	<b>61</b>
女性	7	15	5	4	31
男性	6	11	7	6	30
<b>40～49歳</b>	<b>21</b>	<b>38</b>	<b>12</b>	<b>5</b>	<b>76</b>
その他	1	1			2
女性	10	18	5	5	38
男性	10	19	7		36
<b>50～59歳</b>	<b>24</b>	<b>20</b>	<b>9</b>	<b>11</b>	<b>64</b>
女性	16	9	6	5	36
男性	8	11	3	6	28
<b>60～69歳</b>	<b>21</b>	<b>36</b>	<b>7</b>	<b>10</b>	<b>74</b>
女性	14	17	2	6	39
男性	7	19	5	4	35
<b>70歳以上</b>	<b>6</b>	<b>23</b>	<b>4</b>	<b>7</b>	<b>40</b>
女性	5	11	3		19
男性	1	12	1	7	21
<b>総計</b>	<b>96</b>	<b>161</b>	<b>58</b>	<b>50</b>	<b>365</b>

④ 公共交通機関で花束を持っている人に対する印象

公共交通機関（電車、バス）で花束を持っている人に対しての印象について、自由記載で調査し、記載内容に応じて、「好印象」、「やや好印象」、「やや悪印象」、「悪印象」、「どちらでもない」に区分したところ、「好印象」に区分された割合は60%であった。いずれの年代、性別においても「好印象」の割合が過半を超えている。

自由記載内容

「好印象」：羨ましい。憧れる。癒される。家庭円満。等

「悪印象」：恥ずかしい。荷物になる邪魔。周りに迷惑。等

公共交通機関で花をもって帰る姿への印象						
年代・性別	好印象	やや好印象	どちらでもない	やや悪印象	悪印象	総計
18～19歳	5		1		2	8
女性	4		1		1	6
男性	1				1	2
20～29歳	21		7	2	12	42
その他	1					1
女性	12		4		6	22
男性	8		3	2	6	19
30～39歳	35	3	10	1	12	61
女性	21	1	4		5	31
男性	14	2	6	1	7	30
40～49歳	48	4	10	5	9	76
その他	1			1		2
女性	21	2	6	2	7	38
男性	26	2	4	2	2	36
50～59歳	40	3	9	2	10	64
女性	21	2	5	1	7	36
男性	19	1	4	1	3	28
60～69歳	43	8	9	4	10	74
女性	22	5	6	1	5	39
男性	21	3	3	3	5	35
70歳以上	27	2	3	2	6	40
女性	15	1	1		2	19
男性	12	1	2	2	4	21
総計	219	20	49	16	61	365
	60%	5%	13%	4%	17%	100%

⑤ アンケート結果を活かした今後の対応

花が身近にある暮らしに憧れるものの、日々の生活において、生活費が制限される中、物価高騰のあおりを受け、嗜好品への支出が厳しいとの意見が目立った。しかし、気軽に、手に取れる価格で花束を購入できる機会があれば、利用をしたいとの回答も多く、花を購入しないのではなく、購入し辛いのではないかと思われる。

このことから、従来の花屋はもとより、駅近くなどで帰宅客の目にとまりやすい販売方法を模索するとともに、500円程度で、気兼ねなく購入できる価格で花束を提供する取組を進めていくことも、本県における花き消費拡大に繋げるための一つの手法であると考えます。

## <食育・地産地消の推進について>

### 【調査の目的】

県では、食の重要性や農林水産業の果たす役割と意義などについて理解を深める「食育」(※1)や、県内の豊かな農林水産物を県民の皆さんに食べていただく「地産地消」(※2)を県民運動として展開しています。食育や地産地消に関する皆さんの御意見をお聞かせいただき、今後の行政施策の参考とさせていただきたいと思っております。

(農林水産部 食の安全・地産地消課)

### ※1 食育とは

心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。

その中には、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事などを実践したり、食を通じたコミュニケーションやマナー、あいさつなどの食に関する基礎を身に付けたり、自然の恵みへの感謝や伝統的な食文化などへの理解を深めたりすることが含まれます。

### ※2 地産地消とは

地域で生産された農林水産物をその地域で消費することです。

## <1> 「食育」は、どのような点で重要だと考えますか。

(n=365 選択は3つまで 回答件数=1,035件)

子どもの心身の健全な発育に必要	73.2%	267名
食生活の改善につながる	49.3%	180名
生活習慣病(がん、糖尿病等)、肥満ややせすぎの予防につながる	39.5%	144名
食育を通して、自然の恩恵や食に対する感謝の気持ちを持つことができる	32.9%	120名
食品の安全・安心を確保するために重要	28.2%	103名
地域の食文化を守るために重要	24.1%	88名
大量の食べ残しなど食品廃棄の問題の解消につながる	23.3%	85名
消費者と生産者間の交流の機会や、信頼関係の構築が期待できる	6.8%	25名
有機農業など自然環境と調和した食料生産の発展につながる	5.8%	21名
その他	0.3%	1名
食育に関心がないのでわからない	0.3%	1名

[その他(抜粋)]

・食育の中にマナーというのがありますが、食事のマナーは、幼少より家庭で食事するときに大人から習うものだと思いますが、子供が通う小学校ではSDGSを考えてストローを廃止し、紙パックの牛乳を直接口にして飲んでいきます。食育でマナーの基礎を身に付けるのであれば、将来社会に出て恥ずかしくない行為が身につくように、給食時間も指導していただけるよう県にもお願いしたいです。

## <2> 「地産地消」は、どのような点で重要だと考えますか。

(n=365 選択は2つまで 回答件数=697)

身近な場所から、新鮮で、より安価な農産物を得ることができる	78.9%	288名
生産者の情報が分かり、安心感が得られる	29.0%	106名
地域の食材を活用した伝統的な食文化の継承につながる	25.2%	92名

地域の消費者のニーズをとらえた効率的な生産、品質改善、サービスの向上が期待できる	19.7%	72名
流通経費が削減され、生産者の収入増が期待できる	18.6%	68名
輸送距離が短くなり、環境負荷の軽減につながる	18.6%	68名
その他	0.8%	3名
地産地消に関心がないのでわからない	0.0%	0名

[その他（抜粋）]

- ・地産地消がもたらす輸送コストの削減は消費者への提供価格の低減を通じて県民への物価安定に大いに寄与し、全世界の人口に対する将来的な食糧危機へ備える為の食糧需給率の向上にも繋がる。また、運送距離の短縮はCO2の低減等、環境改善も期待できる。

### < 3 > 農林水産物を購入する際に価格以外で重視することは何ですか。

(n=365 選択は2つまで 回答件数=683)

新鮮であること	76.4%	279名
国産であること	65.2%	238名
地元産、福岡県産であること	28.2%	103名
銘柄（例：「夢つくし」、「はかた一番どり」など）	9.0%	33名
環境に配慮したものであること	7.1%	26名
その他	1.1%	4名

[その他（抜粋）]

- ・減農薬、無農薬
- ・味が良いこと。
- ・ブランド等作り方にこだわった平飼いで、健康な餌を食べた鶏、豚、牛、同じく、野菜もまた薬を使わず育てている。

### < 4 > 農林水産物・食品を購入する際、環境への配慮の観点から選ぶものはありますか。

(n=365 選択は3つまで 回答件数=811)

国産のもの	74.0%	270名
近隣の地域で生産・加工されたもの	51.2%	187名
小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べ切れる量のもの	43.3%	158名
過剰包装でないもの	28.2%	103名
環境に配慮していることに関する表示（有機JAS、ふくおかエコ農産物等）のあるもの	21.6%	79名
環境に配慮した農林水産物・食品をあまり選ばない、まったく選んでいない	3.0%	11名
その他	0.8%	3名

[その他（抜粋）]

- ・その日のうちに消費できそうなものは見切り品でも視野に入れる

### < 4-2 > (< 4 >で「環境に配慮した農林水産物・食品をあまり選ばない、まったく選んでいない」を選択された方にお尋ねします。)環境に配慮した農林水産物・食品を選んでいない理由は何ですか。

(n=11 選択は2つまで 回答件数=17)

価格が高い	54.5%	6名
どれが環境に配慮した農林水産物・食品か判断する情報がない	27.3%	3名
本当に環境に配慮した農林水産物・食品かわからない	27.3%	3名

興味・関心がない	18.2%	2名
身近に環境に配慮した農林水産物・食品を購入する場所がない	9.1%	1名
その他	18.2%	2名

[その他（抜粋）]

- ・物価高なので、価格優先になってしまう。

#### <5>どのような農林漁業体験をしたことがありますか。

(n=365 複数選択 回答件数=670)

実家、親戚、知人の農作業の手伝い	41.9%	153名
学校での農業体験学習	41.4%	151名
観光農園での収穫体験等	41.4%	151名
行政や地域が行う農林業体験イベント	21.6%	79名
体験をしたことがない	16.7%	61名
市民農園や体験農園での農作業	14.5%	53名
農家民宿での宿泊による体験	4.4%	16名
その他	1.6%	6名

[その他（抜粋）]

- ・家庭菜園
- ・かつて仕事で農産物取り扱いに関わる業務を行ったことがあり、その中で体験した。

#### <6>県が実施している食育・地産地消の取組みについて、知っているものはありますか。

(n=365 複数回答 回答件数=578)

いずれも知らない	50.4%	184名
「ふくおか地産地消応援の店」認定制度	24.1%	88名
福岡県ワンヘルス認証制度	16.7%	61名
食育・地産地消月間	15.1%	55名
「ふくおか地産地消応援ファミリー」登録制度	14.8%	54名
ふくおかエコ農産物	13.4%	49名
ホームページ「いただきます！福岡のおいしい幸せ」での情報発信	11.0%	40名
ふくおか農林漁業応援団体	8.2%	30名
インスタグラムなどSNSでの「いただきます！福岡のおいしい幸せ！」での情報発信	4.7%	17名

#### <7>食育・地産地消の推進について、これまでの設問以外に意見がありますか。(n=97 抜粋)

- ・買い物は近くのスーパーで購入していますが、野菜果物の値段が高騰していてなかなか購入できません。イベント会場で福岡県産の野菜果物を、小ぶり形が色々等の物を安く購入しました。とても美味しく久しぶりに沢山頂きました。その機会がもっと沢山あればいいなと思います。
- ・興味がないと知る機会が店頭などでしかないの、幼稚園などにも積極的にチラシなどでアピールして欲しい。
- ・牧場でアルバイトを経験した事から、命をいただくことや生産者の大変さを直接知り、牛乳・食材を少しも無駄にしたくないと思うようになりました。食育にも色々なテーマがありどれも重要ですが、私は自分の経験からも特に、食材に命があること(人間と同じく妊娠・出産した牛でない牛乳が出せない事を知りませんでした)。生産者や加工・流通・調理・販売いろんな人が関わっていること。食べ物を無駄にしないことなど日常生活を送るうえでなかなか知る機会のない部分をもっと多くの方に届けていただきたいと思います。

- ・「地産地消」の商品は高いので、一般家庭は手を出しにくい。過剰包装を排し、移動販売や無人販売のようにコストを抑えた店舗を県が積極的に支援してはどうか。
- ・県知事が福岡県産米の CM 宣伝をされているのを好意をもって拝見しています。県知事が福岡県産を宣伝することは波及効果があると思います。以前、東国原氏が宮崎県を宣伝して県産を拡大したように、福岡県知事もどんどん福岡県産の宣伝をして欲しい。
- ・もう少し地産地消に関する情報発信を強化願っています。



## 買って応援！ 食べて応援 ふくおか農林漁業応援団

福岡県産の美味しい農林水産物を愛用して、福岡の農林水産業をもっと応援しよう！という取組です。

### ふくおか地産地消応援ファミリー

県産の農林水産物を積極的に購入して、福岡の農林水産業を応援するご家庭です。  
応援ファミリーを対象に、野菜・果物の植付けや収穫、椎茸の駒打ち等の林業、酪農、漁業等を実際に体験する「ふくおか農林漁業体験ツアー」を実施しています。

#### 《体験ツアー参加者の声》

- ・現地を訪れて、生産者の顔を見ることによって、より農産物への愛着と安心を感じ、地産地消の大切さを実感しました。
- ・田植えをしたことがなかったので、本当にいい体験でした。子どもがごはんを残したときにこの体験のことを話したら、きっと残さなくなると思います。

登録は  
こちら！



収穫体験



調理体験



加工体験

### ふくおか地産地消応援の店

年間を通じて、県産の農林水産物を使用する飲食店、惣菜店等です。

HPで  
検索！



### ふくおか農林漁業応援団体

県産農林水産物の消費拡大につながる取組や、農山漁村地域での社会貢献活動を実施する企業・団体です。



詳しくは

福岡の美味しい幸せ

検索

<http://f-ouen.com>

SNSでも  
情報発信中！



お問合せ先：福岡県農林水産部食の安全・地産地消課 TEL 092-643-3575

## 令和6年度第5回県政モニターアンケート

(回答者構成)

項目		計		北九州	福岡	筑後	筑豊
		人数(人)	構成比				
総数	人数	370		94	192	54	30
	構成比		100.0%	25.4%	51.9%	14.6%	8.1%
性別	女性	189	51.1%	50	94	30	15
	男性	178	48.1%	42	97	24	15
	その他	3	0.8%	2	1	0	0
年代別	20代以下	53	14.3%	12	28	8	5
	30代	60	16.2%	17	31	9	3
	40代	78	21.1%	21	39	11	7
	50代	64	17.3%	15	34	12	3
	60代	76	20.5%	22	39	5	10
	70代以上	39	10.5%	7	21	9	2

モニター数 398人

回答数 370人

回収率 92.96%

実施期間 R6.11.15～R6.12.5

### 【回答結果の注意点】

- ・ 集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は、必ずしも100%にならない場合がある。
- ・ 2以上の回答（複数回答）を要する設問の場合、その回答比率の合計は、100%を超える場合がある。

# 令和6年度 県政モニターアンケート調査結果

---

テーマ：九州ロゴマークについて

福岡県 総務部 県民情報広報課

## 1. 調査目的

---

九州・山口各県と九州の経済4団体で構成する「九州地域戦略会議」では、観光のPRや農林水産物の輸出などに、県境を超え、九州一体となって取り組んでいます。

九州ロゴマークは、このような九州の連携する姿を国内外にPRするために、平成30年5月に作成したものです。

本アンケートは、九州ロゴマークがどの程度認知されているか調査を行ったものです。

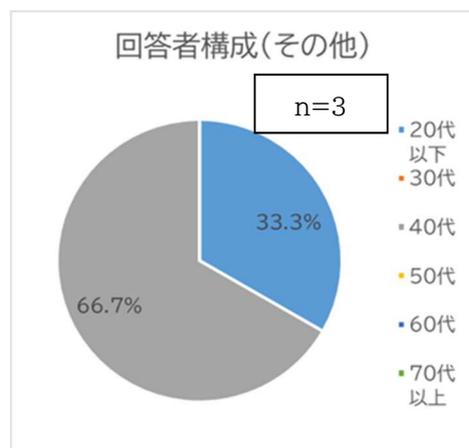
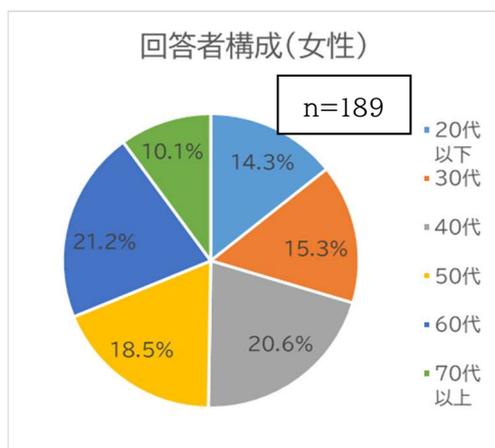
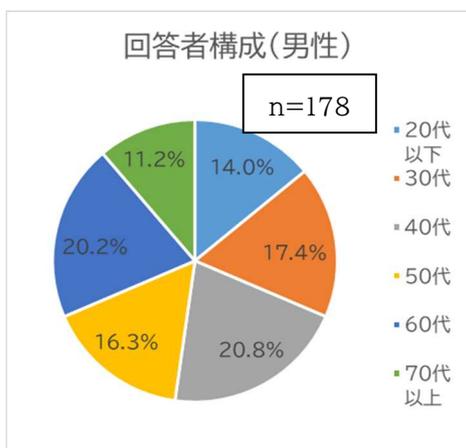
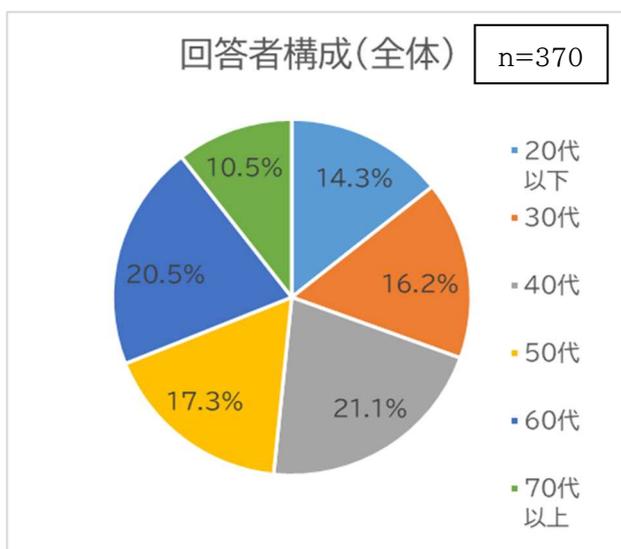
調査結果は、九州ロゴマークの今後の活用方法の検討材料とさせていただきます。

## 2. 調査時期

---

令和6年11月15日～令和6年12月5日(第5回)

### 3. 回答者の構成

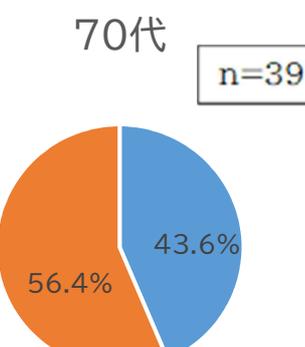
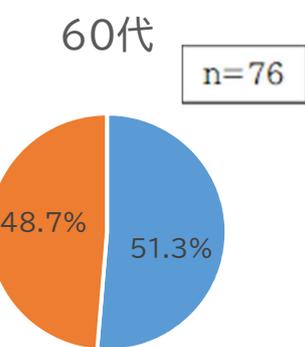
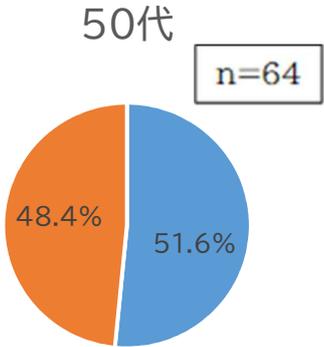
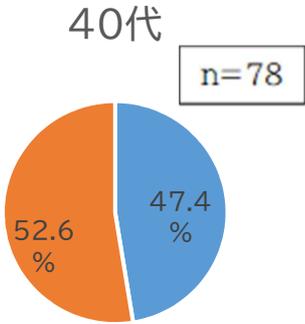
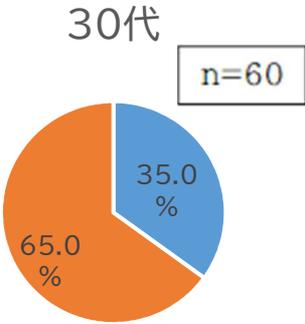
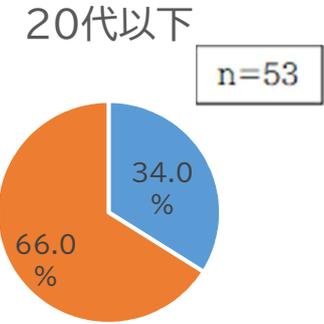
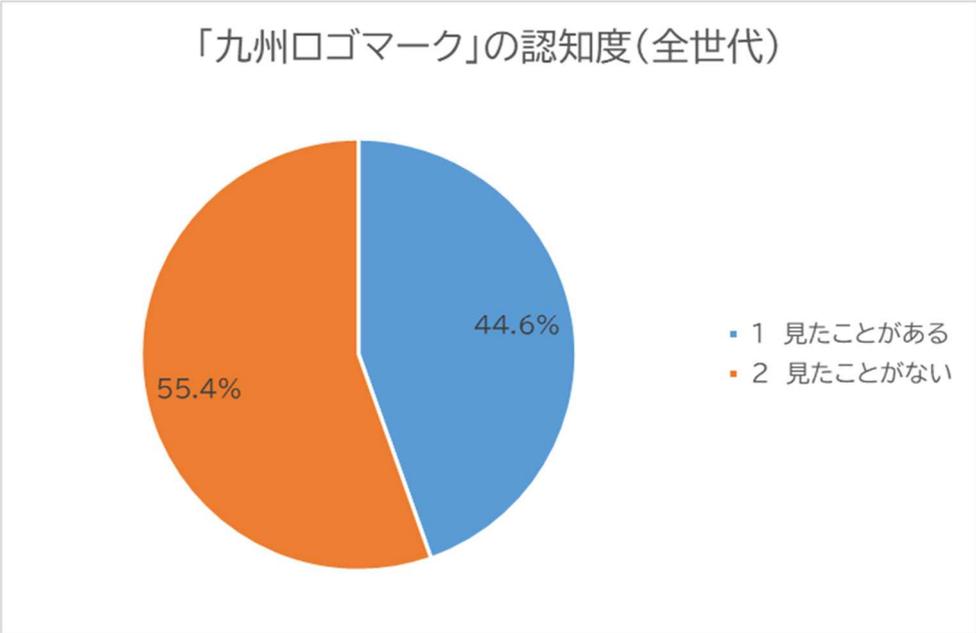


項目		計		北九州	福岡	筑後	筑豊
		人数(人)	構成比				
総数	人数	370		94	192	54	30
	構成比		100.0%	25.4%	51.9%	14.6%	8.1%
性別	女性	189	51.1%	50	94	30	15
	男性	178	48.1%	42	97	24	15
	その他	3	0.8%	2	1	0	0
年代別	20代以下	53	14.3%	12	28	8	5
	30代	60	16.2%	17	31	9	3
	40代	78	21.1%	21	39	11	7
	50代	64	17.3%	15	34	12	3
	60代	76	20.5%	22	39	5	10
	70代以上	39	10.5%	7	21	9	2

4. 回答結果

問1 あなたは、「九州ロゴマーク」を見たことがありますか。  
次の中から【1つだけ】選んでください。

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 見たことがある	165	18	21	37	33	39	17
2 見たことがない	205	35	39	41	31	37	22
計	370	53	60	78	64	76	39



問1-2 (問1で「1」を選択された方にお尋ねします。)

九州ロゴマークをどこで見ましたか。

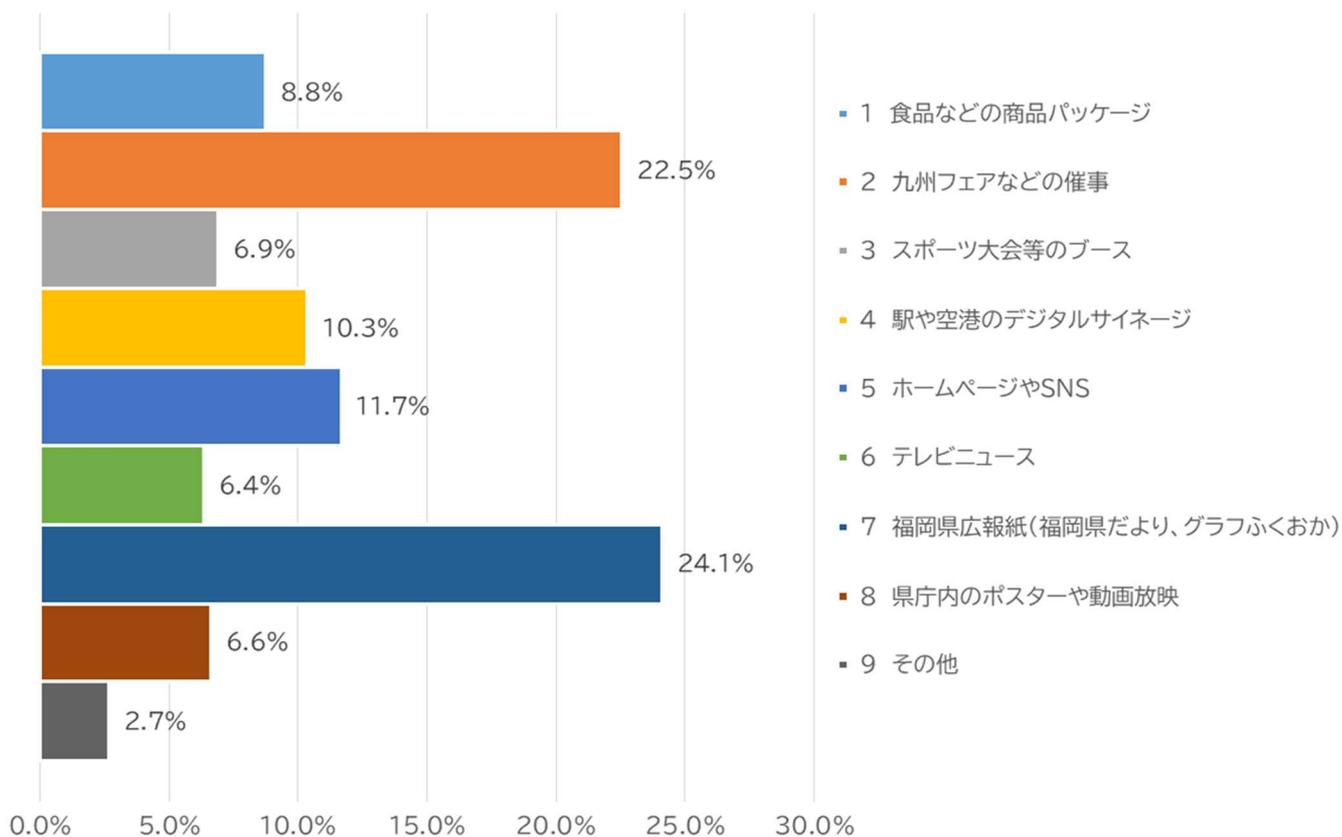
次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

(人)

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 食品などの商品パッケージ	33	5	4	3	6	13	2
2 九州フェアなどの催事	85	11	10	21	15	20	8
3 スポーツ大会等のブース	26	5	3	6	4	4	4
4 駅や空港のデジタルサイネージ	39	5	6	8	9	8	3
5 ホームページやSNS	44	4	1	6	10	17	6
6 テレビニュース	24	1	2	5	7	7	2
7 福岡県広報紙(福岡県だより、グラフふくおか)	91	4	11	19	19	27	11
8 県庁内のポスターや動画放映	25	3	2	5	5	10	0
9 その他	10	0	1	2	2	4	1
計	377	38	40	75	77	110	37

「九州ロゴマーク」を見た場所(全世代)

回答数=377

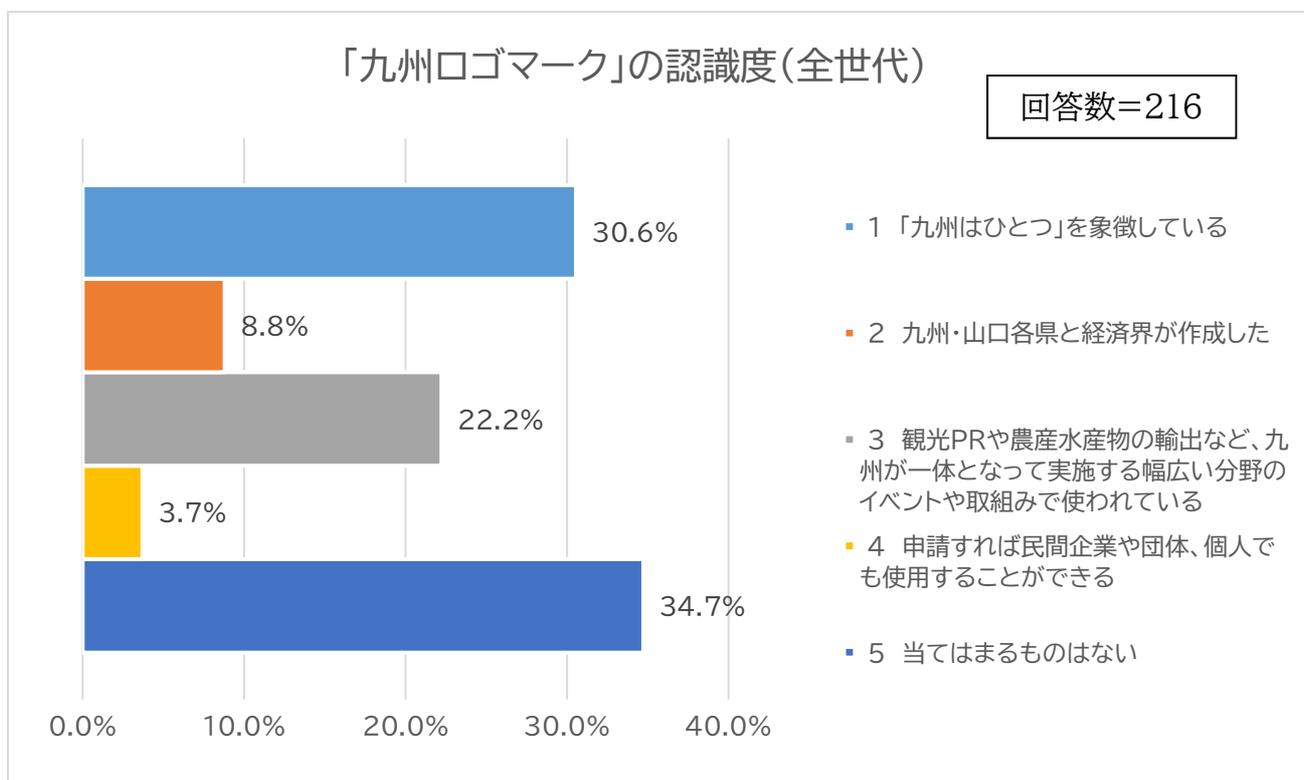


問1-2-2 問1-2で「9」を選んだ場合は、その内容を入力してください。

1	スーツのバッジ。
2	見たことはあるが場所は思い出せない。
3	ふくおか県議会だより。
4	覚えていない。
5	どこかで見たことはあるが、覚えてない。
6	具体的には覚えていない。
7	福岡県知事が出演されている「めし丸」のCMで背広の胸のバッジで見かける。
8	覚えていない。
9	県職員の徽章や県パンフなどで、よく目にしている。
10	どこで見たか忘れましたが、どこかのマークに似ているなど記憶に残っています。

問1-3 (問1で「1」を選択された方にお尋ねします。)  
 意味や経緯など九州ロゴマークのことについてどの程度知っていますか。  
 次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 「九州はひとつ」を象徴している	66	4	4	12	12	25	9
2 九州・山口各県と経済界が作成した	19	2	2	1	1	6	7
3 観光PRや農産水産物の輸出など、九州が一体となって実施する幅広い分野のイベントや取組みで使われている	48	4	3	8	8	16	9
4 申請すれば民間企業や団体、個人でも使用することができる	8	0	0	1	1	4	2
5 当てはまるものはない	75	10	13	20	18	10	4
計	216	20	22	42	40	61	31



問2 九州ロゴマークについて、これまでの設問以外に意見がありますか。ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

1	九州ロゴマークは初めて知りました。もしかして見たことがあるかもしれませんが、九州のロゴとして認識はしていないように思います。あまり身近に感じる事が出来ません。
2	とても良いデザインだと思います
3	九州というのがわかりやすく良いと思います。
4	九州ロゴマークを使用することによってどのような利点・効果があるのかよく分かりにくい。
5	知らない人が多いと思います。どのようにして周知させようとしているのかを知りたいです。
6	もっと広報活動して頂きたい。
7	インパクトがなく、あまりセンス良くない。
8	シンプルでいいとは思いますが、デザイン的には洗練さに欠ける。
9	九州ロゴマークは、九州の連携する姿を国内外にPRするためのもので有るならばまずは各県内の住民へのPRをお願いしたい。
10	平成30年に作成されているが、初めて見た。どこで見られるのか教えて欲しい。
11	まさか九や州をイメージしているとは思わなかった。のれんか、子どもが手をつないでいるイメージかと思った。見かけたことはなかったが、どのような場所で使われていたのかと思った。
12	まだまだPR不足であると思う。あらゆるチャンネルで宣伝し、幅広く取組を知ってもらいたい。
13	かわいくなって、いまいちだとおもう。もう少しかわいらしさとか、せめて色使いとかなんとかならないものか。
14	親しみやすいロゴマークだと思います。くまモンみたいに多く使われるマークとなれば良いですね。
15	県政モニターなどの経験があれば正しく知る機会も多いが、そうでないとなかなか普及しにくいように思われる。もっと積極的に広報し、多くの機会に利用されるようになるほうがよい。九州産一次産品の全国的な販路拡大にも役立つはずである。
16	私も家内も、また知り合いに問うても知らない人が多い。はじめて確認させて頂いたけれど、見たことがない人が多いというのであれば、有効に機能していないということ。単にデザインの問題だけでなく、抜本的にPR方法を改めた方がよいのではないか。
17	恥ずかしながら、初めて目にしました。
18	あるのを知りませんでした。
19	良いデザインですが、インパクトがない。
20	全く存じ上げませんでした。ロゴデザインもオシャレなのでどんどん活用して頂きたいです。
21	山口県まで含まれているのは知りませんでした。勉強になりました。
22	とっても良くできているロゴだと思っていた。漢字の九と州が見えるので分かりやすいと思っていた。最近はカタカナの言葉が多く、覚えて意味も理解しにくいものが多いので、それらは何回見ても、何のことだったか思い出すのに時間がかかるが、このロゴは九州のことだとすぐに理解できるので、九州内のこと＝特産品や農産物、イベントなど身近なところで何かありそうだと思う。

23	無知でした。聞いた事も見た事もなかったです。SDGs のように広めていくべきだと思います。
24	わかりやすくいいと思う
25	なんとなく見たことがあり、徐々にマーク自体は認知されてきているのではないかしら意味までは認知されていなさそう。
26	このロゴマークはどんな時に使ってきたのですか。
27	感じ良いと思う。
28	九州ロゴマークの認知度を上げるために地元企業に PR したり、交通系 IC カードにロゴマークが入れられたらより良いと思います。 ロゴマークと一緒に QR コードを付けて意味や経緯を紹介するのも認知度があがると思います。
29	どこかでみたことがあるくらいであまり意識していませんでした。
30	日常生活の中で、あまり見かけない気がします
31	初耳でした。もしかしたら、どこかで見たことがあるのかもしれませんが、見た！！実感は全くございません。
32	そんなマークがあると、初めて知ったし、もっとローカルな所に出ないと、これからも見ないと思う。
33	もうすこし、ロゴが作成された意味や経緯を啓もうしてほしい。
34	ロゴマークって何のために作るのか理解できない。よほど予算の消化にこまってるのかデザイナーの御親戚がおありになるのかエライ方のご家族にバッジコレクターでもおられるのかなど、うがった思いがわきます。コレって何かしていますか？と聞かなきゃいけないものを作る意義がわからない。「九州はひとつ」と大書されているだけでいいのにむしろそれだけで OK なのにプラス今はやりの高校書道部パフォーマンスで堂々カラフルに書き上げてもらったらインパクトもあるだろうな。
35	このマークは九州ロゴマークと認識される付け方を工夫されると良いと思う。
36	これまでの生活の中では、全く気がつきませんでした。たとえ、このロゴマークが付いていることに気が付いたとしても、それで何か変わるのか？何か感じるのか？ちょっと疑問が残ります。
37	認知度が低い。見たことが無い。
38	【申請すれば民間企業や団体、個人でも使用することができること】についてはもっと周知すると、マークを使用したい企業や個人からの問い合わせが増えると思います。
39	あまり見たことがないので、CM やキャンペーン等の PR をしてもらえたら慣れ親しむものになるのではと思います。
40	福岡在住のため、これまで九州を PR する機会に接することがなく、ロゴマークが作成されてから6年は経過しているものの見た記憶が薄かった。 今回知れる機会となった。
41	九州一体となって全国の人達に九州を発信するのは大変素晴らしいことだと思います。
42	今回初めて知りました。 おそらくいろんな場所で表示されていたかと思いますが普通に生活するシーンでは気づかなかったです。
43	九州ロゴマークだけではそんなに九州を意識しないと思う。もう少し別な取り組み方があるような気がする。

44	九州各県 HP 見ても、山口、佐賀、大分、宮崎、沖縄は記載なし。 長崎、熊本、鹿児島は記載があるものの、福岡県 HP へのリンクのみ。 福岡県以外の各県は「九州」という名で埋没したくないのでは。 認知度向上には、まず他県行政、他県議会への働きかけが必要と思う。
45	九州ロゴマークについては見聞きしたことが全くないので PR 不足は否めないと思う。
46	九州のイメージで、もっと人目を引く。 子ども達もわかりやすいロゴマークが、良いと思う。
47	わかりやすいロゴだと思います。
48	私は一度も目にした記憶がありません。
49	ロゴマークの意味や趣旨を知らせる媒体に接したことがない。
50	いろんなところでみますが気にしないとだめだね。
51	うーん、わかりにくい。
52	特にありませんが、もっと色々なところで目に付けばと思います。 「どこかで見たな」と思ってもらえるような使い方が出来ればと思います。
53	認知度を上げるようにメディア露出増やすべき。
54	認知が低いので、アピールが必要か、それとも、そもそも不要。
55	広報による活動や種々の成果の住人宛の告知が少ないと思う。私自身、団体やロゴマークを初めて知りました。イベントや成果の発表がなされないと団体の存在を知らしめることがないと思われる。まずは今までの成果が知りたいです。
56	以前東京に住んでいたときは、福岡ではなく、九州を意識していましたが。 福岡に住んでいると、九州ではなく、県別を意識します。 九州ロゴマークに関しても、九州以外でアピールすることが重要かと個人的には思っています。
57	九州ロゴマークに関しては見かけたことがある程度で、意味合いなどはとくに知る由もなかった。もっとアピールをした方がいいのではないかと企業も申請を出したらしようができることであるが、役所からの知らせもない。もし告知アピールをいつの時期かに行っているのだとしたら、継続して行わないと浸透はしないと考える。逆にあまり浸透しなくてもよいという事であるならば、そのようにしているのであろう。一般県民から見れば、九州地域戦略会議の関係者が知っていればよいという趣旨が見え隠れしているようにも見える。これを知らなければ仲間ではないという意味合いである。そのような趣旨ではないのであれば、広く県民に知らしめたいのであれば、告知もそうだが、九州産地地消の商品にも積極的に掲載すべきである。それは民間企業に対してもである。JR関係のサービスにて見かけた気がするのみである。
58	オール九州という考え方はよいと思いました。
59	九州ロゴマークの必要性が理解できない。九州地域戦略会議の活動を知らず、広く認知されているとも言えないので、そのロゴについて問われても何も言えない。
60	何となく見たことがある。 初めてみた感触ではない。 ので、見たことある と回答した。 殆ど知識も認識もない のが現状。 地元のテレビ局や、新聞、公共施設、公共交通機関に働きかけ、もっとアピールしたが良い。

61	九州エリア外の他の都道府県に九州エリアを知ってもらうためには、一つの県が何かをするより、九州エリア全体で観光、特産品などの魅力を発信した方が良いと思った。
62	あまり知られてないと思います。
63	露出回数が少ないのではないかな。 露出し見ても「九州ロゴマーク」と説明がないので何のマークか分からない。私がこれ。テレビや新聞など、九州全体の話題の時は、九州ロゴマークを利用するように繰り返し要求するしかない。ロゴの良しあし以前の、周知徹底の方策を再度作り直して下さい。デザインした人が登場、テレビ新聞で取り上げてもらえるように水面下で活動する。九州各県の広報関連では、かならずスペースを割いて、九州ロゴマークの形と、その意味を短くつたえる。これを繰り返すしかない。 認知されないマークは税金の無駄と指摘されても仕方ないと思います。
64	目にしたことはありましたが、このマークが九州を表すとは知らなかったです。
65	とってもいいと思います。個人的にはロゴマークを気に入っています。 知名度はまだまだだと思いますので、もっと広がるように街中に看板、ポスター等が増えたらと思います。 ステッカー等あれば欲しいです。
66	九州ロゴマークをどんどん宣伝して、広めて欲しい。
67	申し訳ないですが、全く認識なしです。 3年前に引っ越して来たからでしょうか？ 他県在住でしたが、年3から5回は福岡に帰省していましたが知りませんでした。
68	もっと県民にアピールしてほしい
69	初めてみました。暖簾をモチーフにはありましたが、温泉のPRロゴなのかと思いました。間違いではないですね。九州温泉沢山ありますね。
70	個人的な印象としてデザイン的に親しみがわからない。
71	魚貝類、農産物にもっと簡単に九州ロゴマークを使用出来たら(出荷するときの箱などに記載)今よりももっと地元産、地域の物という意識が消費者にもつくと思います。 また九州というブランド化にも繋がるのではないのでしょうか。
72	露出が少なく認知度が少ないのではないかと思います。
73	州の字に見えてオシャレ。
74	分からないのですみません。
75	見たことがあるような気がしたが、似たようなロゴが多いので、もしかしたら違う企業等のロゴかも、と記憶に自信が持てないほど「印象に残りにくいロゴだな」というのが正直な感想です。
76	余り見かけない。 どれだけロゴが普及しているのなかあ？
77	知らなかったなので、今後は意識してみようと思います。
78	夫は何度か見たことがあるそうです。
79	九州のロゴマークそのものを知らない。
80	意識をしていないからかも知れませんが福岡県外では、あまりこのロゴマークを見かけたことがないような気がします。 九州各県下においても、その露出には温度差があったりするのでしょうか。

81	リンク先を見て初めて見た。 福岡を始め九州での知名度を上げてから外にアピールしていかないといけないと感じた。
82	初めて知りましたが、とてもオシャレなロゴだと思いました。
83	シンプルで感じの良いロゴマークだと思う。
84	ぱっと見て九州とわからないので、マークのそばに大きめに九州と記したほうがよい。
85	福岡県のマークはよく知っていますが、九州のロゴマークは初見でした。
86	九州ロゴマークを初めてみました。 いろいろな人に広めていこうと思います。
87	まだまだアピールが足りないと思う。
88	くまモンみたいにキャラクターじゃないので親しみやかわいさはない。
89	今まで全く知らなかったから、まだまだ周知が足りないと思う。
90	いい感じのロゴマークだと思います。もっとどしどし使って広めて欲しいです。
91	ロゴマークはこのアンケートで初めて拝見しましたが、よいデザインだと思います。あとは県民に浸透させていくことだけだと思います。 例えばですが、ソフトバンクホークスのような影響力の大きい団体に使用してもらうことが必要だと思います。ホークスは毎年「ファイト九州デー」を開催しており、まさにうってつけではないでしょうか。県からの積極的な働きかけを期待します。
92	特にありません。いいロゴだと思います。
93	日本証券取引所？のロゴマークに似ているかな？
94	気になることですので後程調べてみます。
95	ダサイ。
96	九州ロゴマークの認知のためのアンケートならば、県政モニターの人数程度聞いても参考にならないのでは？ 九州単位の話だろうし、他の県作成アプリを利用している県民などにもアンケートを取ってみたいと思います。
97	漢字からデザインされていると思いますが、地図からのデザインの方がイメージしやすいような気がします。本州の州と重なるので、パッと九州と結びつかないです。
98	先ほどコンセプトを読んで、なるほどとマークに親しみを持ちました。 あまりあちこちでは見ないので、どんどん利用されるといいなと思いました。
99	九州がひとつになり経済や観光が結びつき盛んになるのは良い事だと思いますからみんな意識を高めて協力出来る事はやりたいと思います。
100	九州の州をイメージしたロゴで、シンプルでわかりやすい。
101	九州一丸となって頑張してほしい。
102	こだわりが強すぎるデザインと思う。 温泉マークと見間違える。
103	シンプルで良いが、見てピンとこないし記憶に残りにくい。割と大企業が使用しているようだが、全然インパクトがない。

104	あまりインパクトがなく、記憶に残りにくいかなと思います。もう少し、ユニークでカラフルだったら良かったなど。
105	初めて知りました。
106	初めてみた。
107	ロゴについては「見たことがあるかな」といった程度です。せっかく作成しているので、広報PRにさらに力を入れたらどうでしょうか。
108	色んな商品(食品のパッケージなど)にもロゴマークを活用したほうがよい
109	素敵なロゴマークなので、もっといろんなものに使用されて、その意味や経緯などもっと周知されたら良いです。

<飲酒運転の撲滅について>

【調査の目的】

福岡県では、深刻な状況にある飲酒運転の撲滅を推進し、飲酒運転のない、県民が安心して暮らせる社会を実現するために、全国初の罰則付きの「飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例」(以下、「飲酒運転撲滅条例」という。)が平成24年9月に全面施行され、その後、状況に応じて改正がなされています。県では、本条例に基づき、飲酒運転撲滅に係る様々な取組を実施しているところですが、今後の効果的な取組を推進する上での参考とするため、条例の周知状況等について、県民の皆様の御意見をお聴かせいただくものです。

【活用状況】

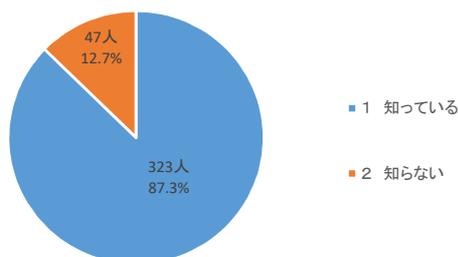
- ・飲酒運転撲滅条例の内容を始め、県で行っている飲酒運転撲滅対策に係る事業を広く県民に周知するための参考資料として活用
- ・来年度以降の飲酒運転撲滅キャンペーンの効果的な実施に向けた検討資料として活用
- ・効果的な広報啓発を行うための参考資料として活用

(人づくり・県民生活部生活安全課)

問1 あなたは、福岡県の飲酒運転事故件数が全国の中でもワーストレベルであることを知っていますか(参考: 令和5年は全国ワースト7位)。  
次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

(n=370 選択は1つのみ)

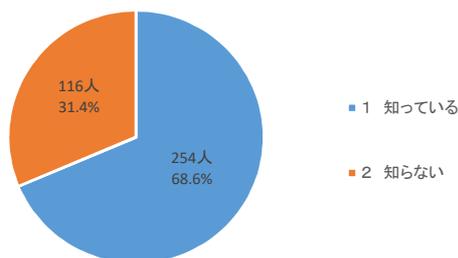
1 知っている	87.3%	(323人)
2 知らない	12.7%	(47人)



問2 福岡県では、飲酒運転撲滅対策の強化と県民の意識改革を推進するため、飲酒運転撲滅スローガン(「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない、そして見逃さない」)のもと、飲酒運転を見かけたときの110番通報の義務などを飲酒運転撲滅条例に規定しています。  
あなたは、県民に、飲酒運転を見かけたときの110番通報の義務があることを知っていますか。  
次の中から【1つだけ】選んでください。  
※詳細については、県ホームページを御参照ください。  
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/inshujourekaisei2020.html>

(n=370 選択は1つのみ)

1 知っている	68.6%	(254人)
2 知らない	31.4%	(116人)



問3 令和6年11月1日に道路交通法の改正により、自転車の「運転中のながらスマホ」「酒気帯び運転」に新しく罰則が整備されました。

それに伴い、飲酒運転撲滅条例も改正され、同日に施行されました。

【改正後の取り扱い】

○ 自動車や原動機付自転車と同様、自転車の酒気帯び運転をして、

・検挙の基準値(※)を上回り検挙された者は「違反者」

・検挙の基準値(※)に満たず警告を受けた者は「準違反者」

として取り扱われ、アルコール依存症に関する診察や飲酒行動に関する指導を受ける義務等の対象になりました。

(※)呼気中アルコール濃度が0.15mg/l

あなたは、このように条例が改正され、自転車の酒気帯び運転の取り扱いが変わったことを知っていますか。

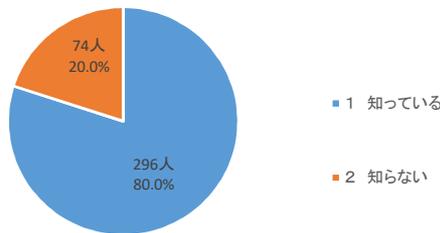
次の中から【1つだけ】選んでください。

※上記改正の詳細については、県ホームページを御参照ください。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/inshujourekaisei2024.html>

(n=370 選択は1つのみ)

1 知っている	80.0%	(296人)
2 知らない	20.0%	(74人)



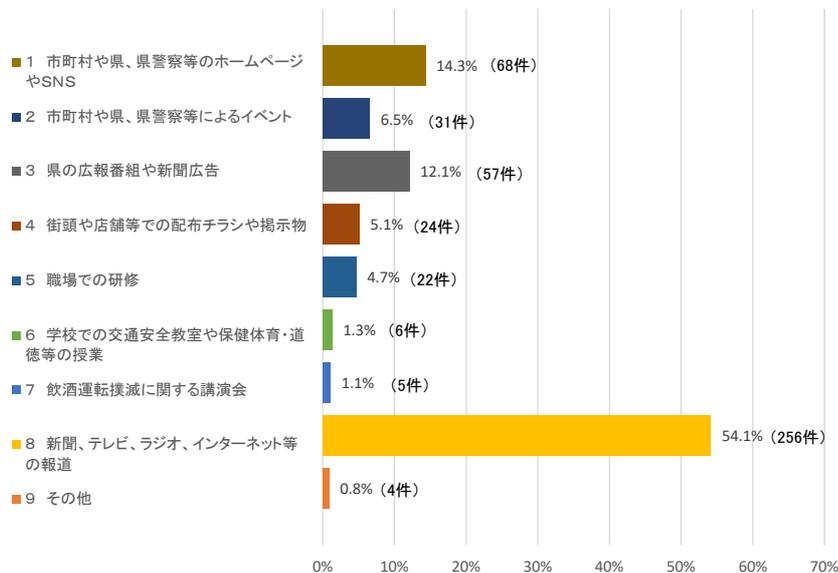
問3-2 (問3で「1」を選択された方にお尋ねします。)

あなたが、飲酒運転撲滅条例が改正されたことを知ったきっかけは何ですか。

次の中から該当するものを【すべて】選んでください。

(回答者数296人、回答件数473件、複数選択可)

1 市町村や県、県警察等のホームページやSNS	14.3%	(68件)
2 市町村や県、県警察等によるイベント	6.5%	(31件)
3 県の広報番組や新聞広告	12.1%	(57件)
4 街頭や店舗等での配布チラシや掲示物	5.1%	(24件)
5 職場での研修	4.7%	(22件)
6 学校での交通安全教室や保健体育・道徳等の授業	1.3%	(6件)
7 飲酒運転撲滅に関する講演会	1.1%	(5件)
8 新聞、テレビ、ラジオ、インターネット等の報道	54.1%	(256件)
9 その他	0.8%	(4件)



問3-3 問3-2で「9」を選択された場合は、その内容を具体的に入力してください。

( n=4 )

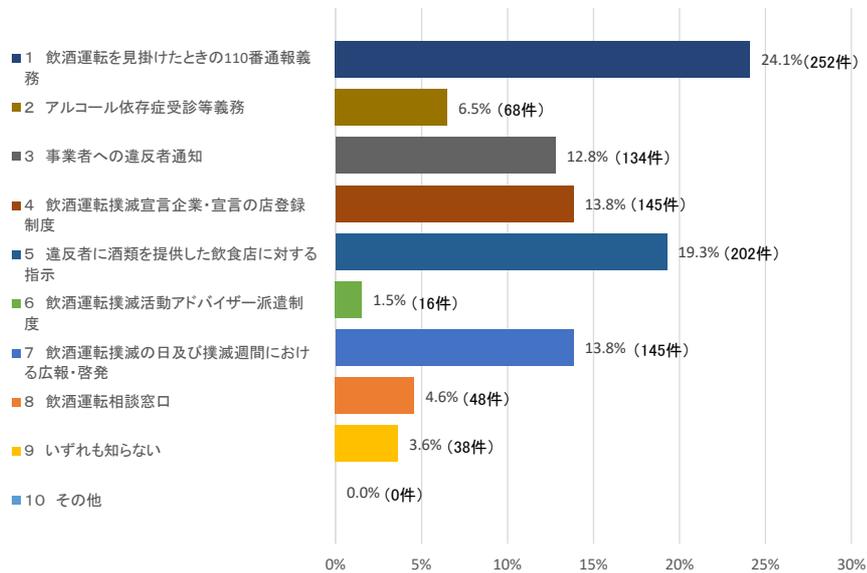
友人との会話で知った
運転免許の更新講習
息子2名が警察官で息子より聞いている
家族からの話

問4 飲酒運転撲滅条例に基づいて、福岡県では飲酒運転撲滅に向けた様々な施策を実施しています。

次の中から知っているものを【すべて】選んでください。

(回答者数370人、回答件数1048件、複数選択可)

1 飲酒運転を見掛けたときの110番通報義務	24.1%	(252件)
2 アルコール依存症受診等義務	6.5%	(68件)
3 事業者への違反者通知	12.8%	(134件)
4 飲酒運転撲滅宣言企業・宣言の店登録制度	13.8%	(145件)
5 違反者に酒類を提供した飲食店に対する指示	19.3%	(202件)
6 飲酒運転撲滅活動アドバイザー派遣制度	1.5%	(16件)
7 飲酒運転撲滅の日及び撲滅週間における広報・啓発	13.8%	(145件)
8 飲酒運転相談窓口	4.6%	(48件)
9 いずれも知らない	3.6%	(38件)
10 その他	0.0%	(0件)



問4-2 問4で「10」を選択された場合は、その内容を具体的に入力してください。

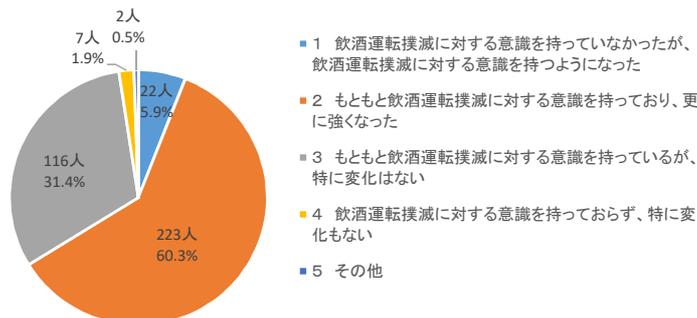
( n=0 )

問5 近年における飲酒運転撲滅運動等をきっかけとして、御自身や周囲の方々の飲酒運転撲滅に対する意識に何らかの変化がありましたか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=370 選択は1つのみ)

1 飲酒運転撲滅に対する意識を持っていなかったが、飲酒運転撲滅に対する意識を持つようになった	5.9%	(22人)
2 もともと飲酒運転撲滅に対する意識を持っており、更に強くなった	60.3%	(223人)
3 もともと飲酒運転撲滅に対する意識を持っているが、特に変化はない	31.4%	(116人)
4 飲酒運転撲滅に対する意識を持っておらず、特に変化もない	1.9%	(7人)
5 その他	0.5%	(2人)



問5-2 (問5で「1」を選択した方にお尋ねします。)  
 飲酒運転撲滅に対する意識にどのような変化があったかを差し支えない範囲で具体的に  
 入力してください。

( n=22 )

一部抜粋
罰則が厳しくなったことや飲酒運転はやめようという民意が成立していることを肌身で感じるようになってきた。
飲み会の場で必ず運転手の存在の確認をしています。 どうやって来るのか、どうやって帰るのか、の確認をするようになりました。
身内に、飲みに行くときは迎えを呼ぶか代行で帰ってくるように自然と声掛けするようになった
事故の怖さ、人命の大切さをあらためて考えた。

問5-3 問5で「5」を選択された場合は、その内容を具体的に入力してください。

( n=2 )

周囲が未成年がほとんどのため、飲酒に関する考えがない。
車も免許も持っていないので、飲酒運転する可能性が0である

問6 飲酒運転の撲滅について、これまでの設問以外に意見がありますか。  
 ある場合は、その内容を具体的に入力してください。  
 (例：飲酒運転の撲滅のために必要だと思われること等)

( n=160 )

一部抜粋
私は当時子供でしたが海の中道での事故があったのはかなりメディアもニュースにしており、そこから飲酒運転に対するの取り締まりが強くなったと感じております。呑んだら乗らないのは当たり前の認識なのでそれが全世代になるといいなと思います。
18年前の中道大橋での痛ましい事故の時、飲酒運転はいけないと強く思いました。その後も飲酒運転による死亡事故が相次ぎ福岡県が全国ワースト1位と報道されるにつけ福岡県民として悲しく怒りを覚えました 飲酒運転は絶対ダメという意識を県民一人ひとりが持たなくてはいけませんね 家族、周囲の人に伝えて行きたいと思います
会社でアルコールチェックをしている。 そのおかげで、仕事以外でも、飲酒に対する危機意識が身に付いていると思う
「飲んだら乗るな」という認識はあっても「アルコールが抜けたと思った」という理由で飲酒運転して事故を起こすニュースを目にする機会が多く感じます。実際に飲酒後のアルコールが抜けた状態がどのような状態なのか(体調やアルコールが消化された状態など)を認識する必要があると思います。
福岡は飲酒、呑みにケーションを良しとする風潮が強く飲酒運転が多いイメージだったが、県や市や警察が撲滅運動を熱心にやっているのは感じる。 飲ませた店まで罰則や自転車にも罰則を広げたのはすごく効果があると思う。 見掛けた時の通報義務は知らなかったし、ちょっと躊躇するが抑止力が増すから通報義務の意識を改めて持ちました
自分はお酒を飲まないのとお酒を飲む人のハンドルキーパーをやってます。友人や家族がやってたら止めることを行っていきたい
飲酒運転をしないことが当たり前だと思っているため、飲酒運転をする人の思考が全く理解出来ません。当たり前だと思っていることに対して撲滅運動と言われても、実際に加害者や被害者になってからでは遅いことは分かっていますが、ピンと来ない人は多いように思います。
福岡であんな悲惨な事故が起きて飲酒運転の罰則が重くなったにも関わらず未だ飲酒運転する人がいるという事実…理解に苦しみます。
福岡県での飲酒運転問題に関しては、2006年に起きた海の中道大橋飲酒運転事故が、県民の意識が高まるきっかけとなったと考えております。実際に免許更新の教習時や会社の飲酒運転に関する講習会の際にも、この事件のことを改めて目にする機会も多いです。なかなか衝撃的な内容ですし、自身の意識改革にも寄与していると感じます。 時の経過とともに人々の意識も薄まったり、事故のことをリアルタイムで知らない世代も増えています。年に1、2回でも飲酒運転事故の悲惨さを改めて知る機会があると、人々の意識も変わると思います。

<p>運転する「人」の問題は、いろいろな撲滅運動が進展していますが、人の弱さを撲滅することは結構難しいのかな、と感じています。 これからの活動としては、運転する「車」の問題をよりクローズアップして改善に取り組むことが大事であると感じています。</p>
<p>一般のアルコール依存症に対する意識が低い事を痛感します。現在認知症に対する子供への教育は〇〇市で進んできましたが、アルコールに対する子供への教育が必要と思います。</p>
<p>テレビ等で飲酒運転で逮捕されたことは放送されるが、その後、その人はどのような罰を受けたのか、放送されることはないので、逮捕されて、罰金程度で済んでいるのかと思っている人が多いと思う。それだったら、飲酒運転は無くならない。刑務所に入ったとか、職場を懲戒免職になったとかか人生がくるってしまったことをテレビやポスターで県民に知らせないと飲酒運転は無くならない。飲酒運転を甘く見ている県民性が変わらないと思う。</p>
<p>飲酒後のアルコール分解によく使用される「単位」については、実感と乖離しているとの声が周囲でも多い。特に飲酒量の多い人からすれば、どれだけ時間がたってもアルコールが分解されないこととなり、現実的な指標ではないのでは？と考えている人が多い。そのような声も踏まえて、皆が納得できるような指標の細分化等を実施したほうが実効的な数値となり、守る人も増えるのではないかな。</p>
<p>飲酒運転=自動車に限ったイメージが強く、原付や自転車、そして電動キックボードなどは見逃されがちだなと思いました。 今回、飲酒運転撲滅条例に基づく様々な施策のうち「飲酒運転を見掛けたときの110番通報義務」は具体的にどういうふうにしたら良いのか分からず、通報に至らなかったことが度々あります。 同伴者であればともかく、単純に道端で偶然に居合わせた他人だと、どう対処するのが正解が分かりませんでした。酔った人間相手なら尚更、もし変に目があって激昂されたりしても怖いです。 たとえば福岡市の公式LINEのようなシステムがあるといいと思います。(道路や電柱の不具合を発見したときに、かんたんに報告できるフォームがある。)</p>
<p>飲酒運転の撲滅には、個々の自覚が大切です。学校や職場などで飲酒運転の撲滅のための講演をもっと増やしていくべきと思う。</p>
<p>TVを見ない人や情報が得られない人は周知があまりされていないのかもしれない。 田舎では特にそう感じる。 会社、地域行政等のあらゆる所で周知される必要があるのではないかなと思う。</p>
<p>専門家によるアドバイスも大事だが、実際に飲酒運転をした人がどのような結果になったのか等の話が免許更新時などに聞ける機会があれば良いと思います。</p>
<p>中々なくならない飲酒運転。車本体に運転者の呼気にアルコール反応が出たら、エンジンがかからないようにできるシステムなどが必要なのではと思うようになりました。 情けないけど、個人の努力だけでは限界があるのかなあとまで思ってしまう。</p>
<p>飲酒運転は犯罪であることは十分に理解され浸透していると思っているが、未だに一部の人間による飲酒運転が後を絶たない。更なる罰則の強化と取り締まりの徹底を望む。</p>
<p>交通事故を引き起こすと、相手の人生と自分の人生がどんなに悲惨なものになるかを繰り返し繰り返し啓蒙して欲しい。</p>
<p>これだけ飲酒運転に関する報道や悲しいニュースが起こるにも関わらず、違反者が減らないということは、やはり飲酒への依存傾向がある人が世の中にたくさんいるという事実を認めざるを得ないと思う。違反者への罰則を厳しくしていくことや予防するために様々な工夫をしてあることも認めるが、アルコール依存症という病気を考えるなら、これ以上、命を無くすことがないよう、自動車自体にアルコールを検知したらエンジンがかからない、車に乗れないなどのハード面での義務付けを早急に行うことがもう必要なのではないかなと思う。車に標準装備にして欲しい。 人間の心の甘さは、残念ながら認めざるをえないと思う。 また、何よりもアルコール依存症にならないためにも、全ての人が住みやすい世の中になるよう考えるべきだと思う。</p>
<p>飲酒運転の厳罰化はもちろんですが、そもそも飲酒運転させない仕組みづくりが必要だと感じます。福岡県として取り組める規模は超えています。自動車自体に運転手の呼気アルコール検出装置など物理的な制限ができるように業界団体への働きかけ、法律の制定を進める必要があると思います。</p>
<p>メディアでもっと大々的にしよっちゅうアピールするべき飲酒の恐ろしさを伝えるべきだと思う</p>
<p>これだけ飲酒運転撲滅の啓もう活動を行っているのに、いっこうに飲酒運転が減らないのは非常に残念でならない。事故を起こす人たちに活動が届いていないのかもしれないが、地道な活動を続けてその周りや家族を巻き込んで訴え続けるしかないのかなと思う。</p>
<p>行政が、これだけ色々な角度から、飲酒運転の禁止を目指した色々な対策を実施しているにもかかわらず、飲酒運転がなくならないことに、愕然としています。飲酒運転をした人で、常習的な違反者には、さらに重い過料や氏名の公表などの、もっと強い罰則規定を設けるべきではないでしょうか？</p>
<p>条例が改正されたことで、少しは県民の意識も高くなっているのではないかなと思います。ただし、ここまでしなければならなかった飲酒運転に関しての意識の低さは、情けなさを感じます。今後はさらに深夜のパトロールや情報提供等をアピールして頂きたいと思います。</p>
<p>今でも実施されてますが飲食店での飲酒の時の運転の有無の確認や販売店での年齢確認は引き続き必要かなと思います。それに対しては販売員さんへの負担も強いるかもしれませんが必要な事かと考えます。</p>

<p>飲酒運転をする人の気持ちがわかりません。罰則をこれまで以上に厳しくするべきではないでしょうか。</p>
<p>深夜帯における電車やバスなどの公共交通機関の営業時間拡張や、交通インフラをさらに充実させることなども飲酒運転の撲滅に繋がるものと考えられるので、推進してほしい。</p>
<p>もともと飲酒運転はダメですが、海の中道の事件や厳罰化のため、世の中的に飲酒運転に対しての意識が高まったと思います。ただ、近年は飲酒運転が増えている印象を受けますし、継続的な啓発が必要かと思えます。すでに実施されているとは思いますが、免許取得や更新のときに、海の中道事件を風化させない取り組みが福岡では特に必要かと思えます。</p>
<p>福岡では全国ニュースになる大きな事件があり、移住前から知っていました。それでもなくなるのは異常なことだと思います。絶対にあってはならないことですので、県の施策をしっかり認識していきたいと思いました。</p>
<p>飲酒運転を見かけたときの110番通報の義務について、飲酒機会が増える時期になるので具体的な通報根拠になる事例等を、頻繁に告知してより多くの撲滅活動に生かしてほしい。</p>
<p>飲酒運転による事故は後を絶たないが広報活動を通してその危険性を多くの人に認知してほしいと思いました。</p>
<p>飲酒運転は良くないことですが、飲酒した後に運転をせざるを得ない状況を減らすことも大切だと思います。公共交通機関の充実や運転代行を安くしたり利用しやすしたりも必要かと思えます。また、飲酒運転をし捕まった人達のその後等リアルな話を知る機会も必要かと思いました。</p>
<p>飲酒運転をしたものに対する罰金を多額に科すと思う。幼いころから、飲酒運転は悪いことだという認識を刷り込ませるために、保育園・幼稚園・小学校での授業を頻繁に行うと思う。</p>
<p>通報の義務については知らなかった、条例で義務化しているものなどもっとアピールが必要と思われる。また、自転車だけじゃなく電動キックボードに関するものも周知が必要かと思えます。</p>
<p>勤め先等で飲酒運転をしないよう常日頃示唆すること、学校教育の中で子供のころから指導すること等。</p>
<p>免許取得前から飲酒運転は絶対いけないと教えるべきだと思います。子供の頃から刷り込んでいけば効果が高いと思います。</p>
<p>飲酒運転による過去の死亡事故が毎年のようにメディアでとりあげられ、撲滅を呼びかけているのになかなか減らないのが残念です。罰則をより厳しくしていく方法しかないと思います。</p>
<p>悪い事だとわかっているのに繰り返される飲酒運転。どうしたら無くなるのか考えますが専門家が考えても無くなるのに私達一般人にはかなり難しい。被害者家族が講演しても飲酒運転経験者が聞かない事にはどうしようもないと思います。刑罰のひとつとして被害者家族の講演や対話を聞かないと免許再発行が出来ないなどがあっても良いと考えます。</p>
<p>同じ話を何度もすること 実際に死亡していることを何度も伝えていくこと 福岡県の本気を伝え続ける事</p>
<p>福岡県内、特に市内は飲食店や居酒屋、屋台も多く点在し、お酒を飲む機会が多くなります。飲んだら乗るなどの意識を持ち、お酒を楽しんだ帰りは、代行運転や公共交通機関の利用を徹底させなければと思います。代行運転、タクシーの割引制度があれば活用しやすくなるかなと思います。</p>
<p>連日のように飲酒運転逮捕者のニュースが流れている。海の中道での悲惨な飲酒運転事故報道はよく覚えています。テレビでニュースを名前を流すだけでなく飲酒運転逮捕者のその後の生活の変化、苦しみなどの報道をしてほしいと思います。</p>
<p>10年ほど前に運転免許を取得しました。その時に飲酒運転についての講義がありました。大学生から再取得の人まで同じ内容の講義を同じ教室で受けましたが、年代の差でこんなにも受け取り方が違うのかと愕然としました。飲酒運転が原因で再取得をする人はもっと条件を厳しくした方がいいのでは？</p>
<p>飲酒運転の撲滅には、個々の自覚が大切です。学校や職場などで飲酒運転の撲滅のための講演をもっと増やしていくべきと思う。</p>

# 令和6年度 県政モニターアンケート調査結果

テーマ：ワンヘルスについて

福岡県 保健医療介護部 ワンヘルス総合推進課

## 【調査目的】

今、地球上では、人口増加、森林開発や農地化などの土地利用の変化によって、自然環境の悪化や地球温暖化などの気候変動が生じています。

また、人が今まで立ち入らなかった自然の奥地にまで侵入することなどで、野生動物との接触の機会が増え、新型コロナウイルス感染症をはじめとする人と動物の双方に感染する「人獣共通感染症」が増えています。

こうした問題に対応するためには、人と動物の健康と環境の健全性を一つの健康と捉え、一体的に守っていく「ワンヘルス (One Health)」の考え方が重要です。この考え方は、世界的に広がっており、「G7 サミット」など国際間の枠組みでも合意されています。

県では、みやま市に全国初のワンヘルスの実践拠点となる「ワンヘルスセンター」の整備に向けて準備を進めるなど、全国に先駆け、ワンヘルスの推進に取り組んでいます。

今後、より一層の取組を進めるにあたり、「ワンヘルス」について皆様の御意見をお聴かせいただき、事業及びその評価などの参考とさせていただきたいと思っております。

※端数処理の関係で、割合の合計が100%にならない場合があります。

# 1 令和6年度第5回県政モニターアンケート調査

(概要)

モニター数： 398人

回答数： 370人

回収率： 92.96%

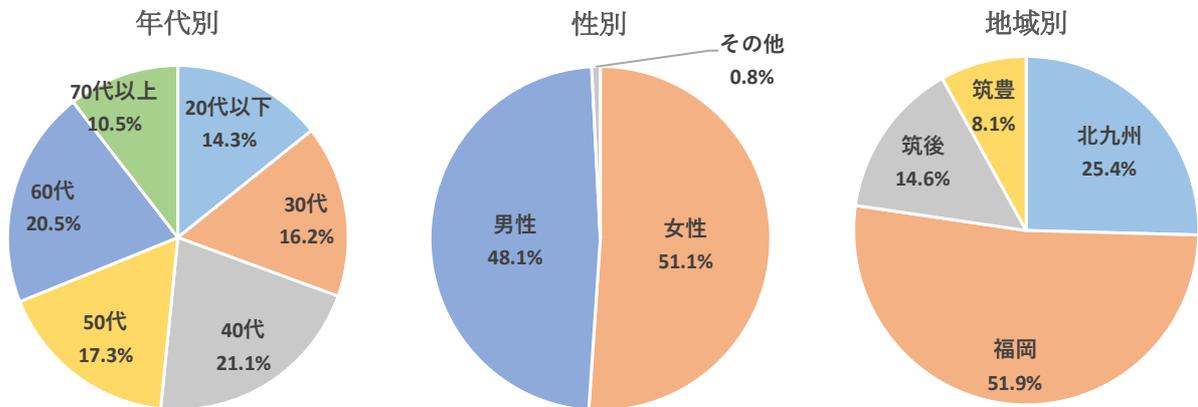
実施期間： 令和6年11月15日～令和6年12月5日

(回答者構成)

(R6:n=370)

項目	計		北九州	福岡	筑後	筑豊
	人数(人)	構成比				
総数	人数	370	94	192	54	30
	構成比		25.4%	51.9%	14.6%	8.1%
性別	女性	189	50	94	30	15
	男性	178	42	97	24	15
	その他	3	2	1	0	0
年代別	20代以下	53	12	28	8	5
	30代	60	17	31	9	3
	40代	78	21	39	11	7
	50代	64	15	34	12	3
	60代	76	22	39	5	10
	70代以上	39	10.5%	7	21	9

回答者構成



n=370

## 2 調査結果

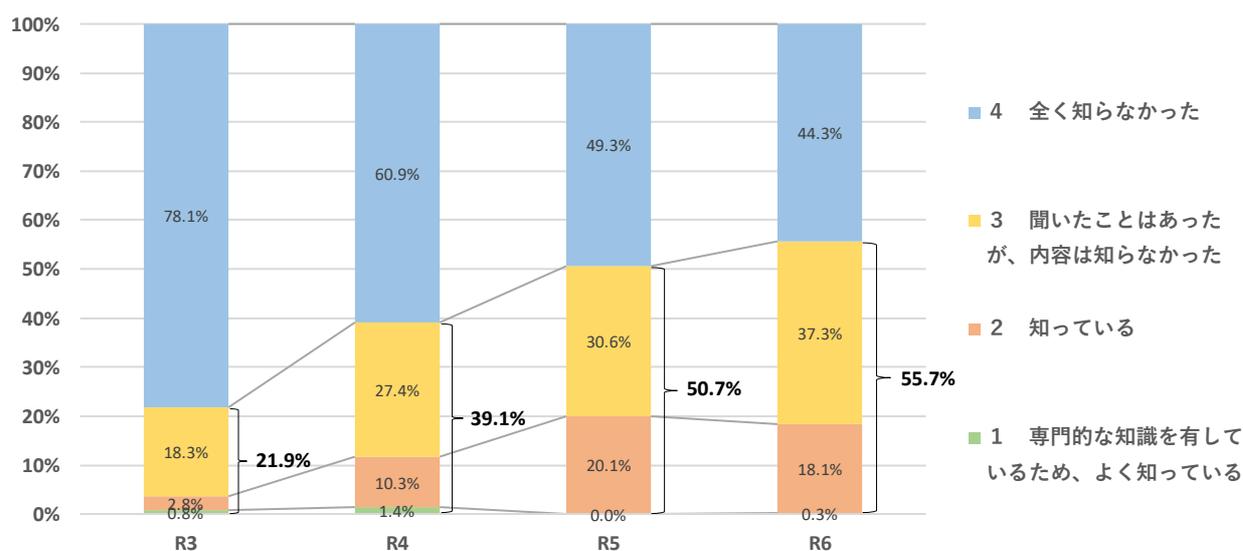
問1 あなたは、「ワンヘルス」とは何か知っていましたか。次の中から【1つだけ】選んでください。

【全体】

(R6:n=370)

選択肢	R3		R4		R5		R6	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 専門的な知識を有しているため、よく知っている	3	0.8%	5	1.4%	0	0.0%	1	0.3%
2 知っている	10	2.8%	36	10.3%	73	20.1%	67	18.1%
3 聞いたことはあったが、内容は知らなかった	66	18.3%	96	27.4%	111	30.6%	138	37.3%
4 全く知らなかった	281	78.1%	213	60.9%	179	49.3%	164	44.3%
合計	360	100.0%	350	100.0%	363	100.0%	370	100.0%
「ワンヘルス」という言葉を知っている方 (1~3と回答した方)	79	21.9%	137	39.1%	184	50.7%	206	55.7%

ワンヘルスの認知率



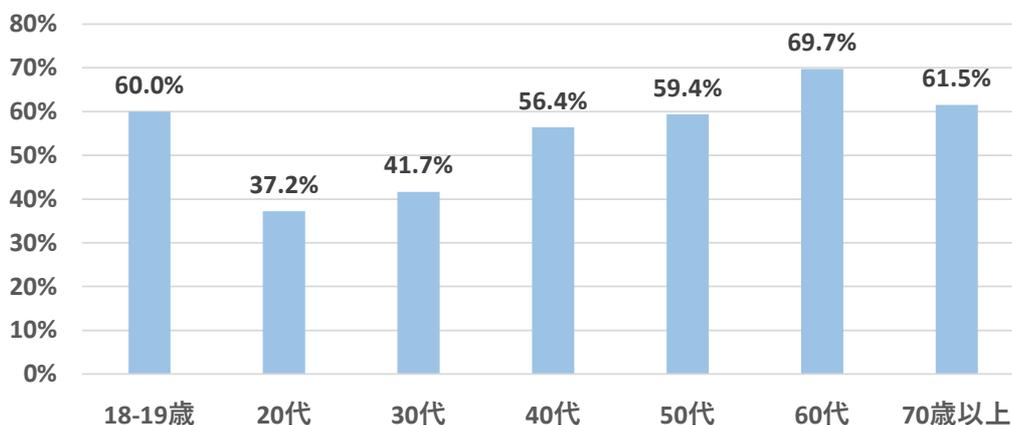
- ・調査を開始した令和3年度以降、「ワンヘルス」という言葉を知っている方の割合（認知率）は増加傾向にあり、今回の調査では前年に比べ5.0%pt増加した。（R5:50.7% → R6:55.7%）

## 【年代別】

(n=370)

選択肢	18-19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	合計
1 専門的な知識を有しているため、よく知っている	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	0 0.0%	1 0.3%
2 知っている	3 30.0%	4 9.3%	2 3.3%	13 16.7%	15 23.4%	16 21.1%	14 35.9%	67 18.1%
3 聞いたことはあったが、内容は知らなかった	3 30.0%	12 27.9%	23 38.3%	31 39.7%	23 35.9%	36 47.4%	10 25.6%	138 37.3%
4 全く知らなかった	4 40.0%	27 62.8%	35 58.3%	34 43.6%	26 40.6%	23 30.3%	15 38.5%	164 44.3%
合計	10 100.0%	43 100.0%	60 100.0%	78 100.0%	64 100.0%	76 100.0%	39 100.0%	370 100.0%
「ワンヘルス」という言葉を知っている方 (1～3と回答した方)	6 60.0%	16 37.2%	25 41.7%	44 56.4%	38 59.4%	53 69.7%	24 61.5%	206 55.7%

年代別の認知率



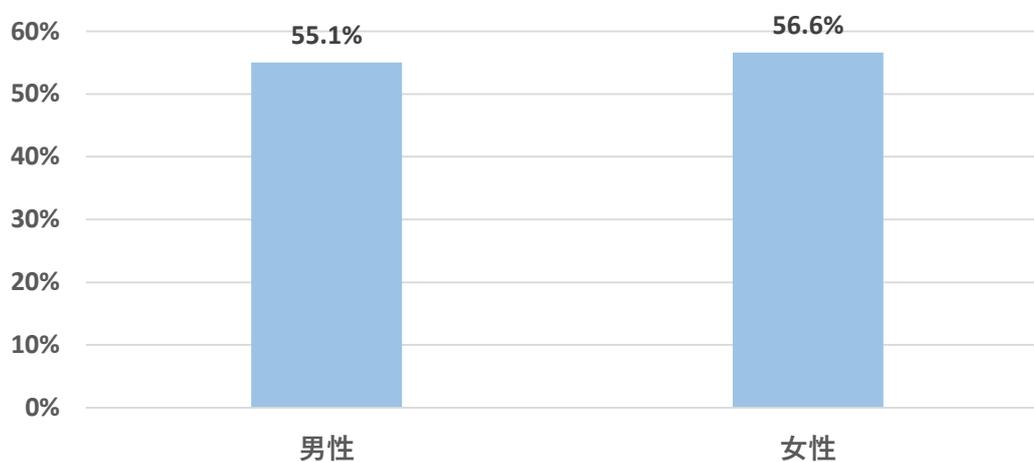
- 年代別のワンヘルスの認知率は、40代以上が50%を超えているのに対し、20代と30代では40%程度になっている。

## 【男女別】

(n=370)

選択肢	男性	女性	その他	合計
1 専門的な知識を有しているため、よく知っている	0 0.0%	1 0.5%	0 0.0%	1 0.3%
2 知っている	35 19.7%	32 16.9%	0 0.0%	67 18.1%
3 聞いたことはあったが、内容は知らなかった	63 35.4%	74 39.2%	1 33.3%	138 37.3%
4 全く知らなかった	80 44.9%	82 43.4%	2 66.7%	164 44.3%
合計	178 100.0%	189 100.0%	3 100.0%	370 100.0%
「ワンヘルス」という言葉を知っている方 (1～3と回答した方)	98 55.1%	107 56.6%	1 33.3%	206 55.7%

男女別の認知率



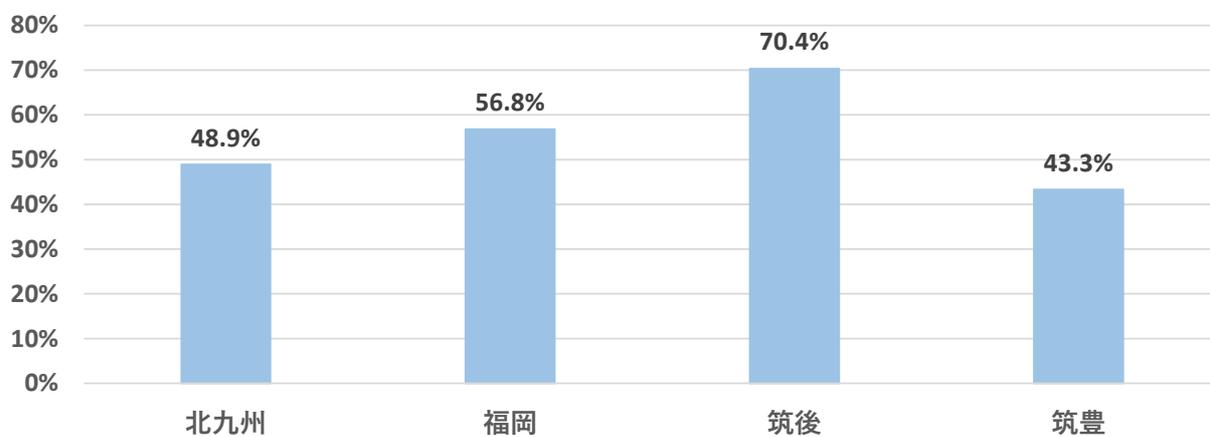
- ・男女別のワンヘルスの認知率は、男性 55.1%、女性 56.6%であり、大きな差は見受けられない。

## 【地域別】

(n=370)

選択肢	北九州	福岡	筑後	筑豊	合計
1 専門的な知識を有しているため、よく知っている	0 0.0%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%
2 知っている	15 16.0%	38 19.8%	11 20.4%	3 10.0%	67 18.1%
3 聞いたことはあったが、内容は知らなかった	31 33.0%	70 36.5%	27 50.0%	10 33.3%	138 37.3%
4 全く知らなかった	48 51.1%	83 43.2%	16 29.6%	17 56.7%	164 44.3%
合計	94 100.0%	192 100.0%	54 100.0%	30 100.0%	370 100.0%
「ワンヘルス」という言葉を知っている方 (1～3と回答した方)	46 48.9%	109 56.8%	38 70.4%	13 43.3%	206 55.7%

地域別の認知率



- ・地域別のワンヘルスの認知率は、最も高かったのが筑後地域の70.4%、最も低かったのが筑豊地域の43.3%であった。

問2 (問1で「1～3」を選択された方にお尋ねします。)

「ワンヘルス」という言葉を知ったきっかけは何ですか。次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

(複数選択可) (R6 : n=206)

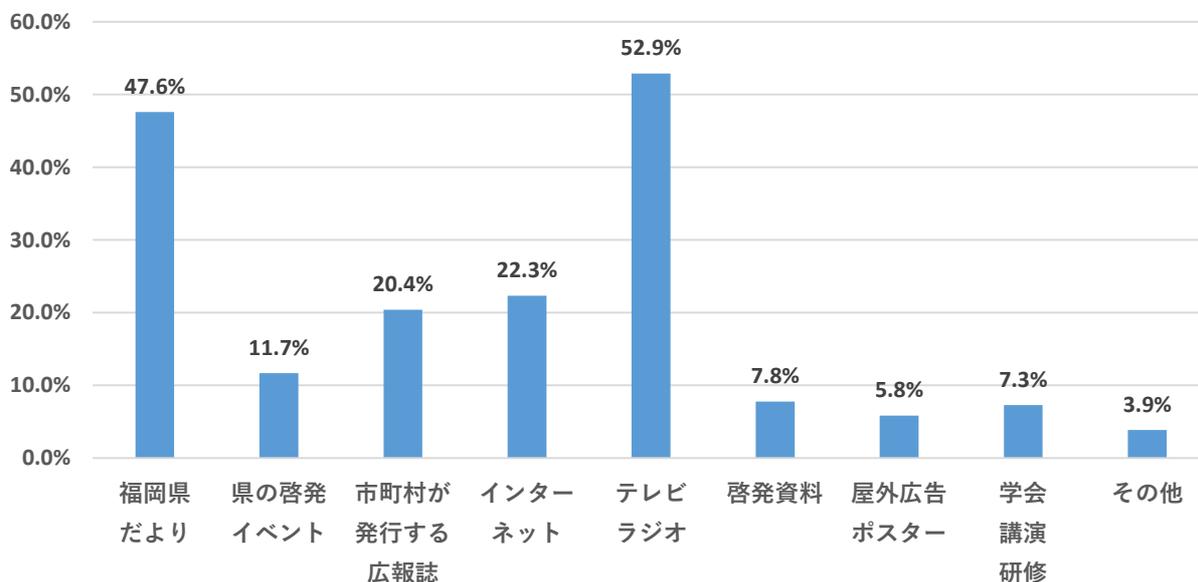
選択肢	R4		R5		R6※	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 福岡県だより	34	24.8%	48	26.1%	98	47.6%
2 県の啓発イベント	7	5.1%	7	3.8%	24	11.7%
3 市町村が発行する広報誌	11	8.0%	16	8.7%	42	20.4%
4 インターネット(県HP、ワンヘルス推進ポータルサイト、広告など)	22	16.1%	29	15.8%	46	22.3%
5 テレビ、ラジオ	44	32.1%	61	33.2%	109	52.9%
6 啓発資料(ワンヘルス推進冊子、ワンヘルス教育啓発資料、チラシなど)	3	2.2%	5	2.7%	16	7.8%
7 屋外広告・ポスター	0	0.0%	2	1.1%	12	5.8%
8 学会、講演、研修	4	2.9%	4	2.2%	15	7.3%
9 その他	10	7.3%	9	4.9%	8	3.9%
10 無回答	2	1.5%	3	1.6%		
合計	137	100.0%	184	100.0%	370	

※R6年度からは設問を変え、集計方法も変更しています。

～R5年度：選択肢から、1つだけを選択

R6年度：選択肢から、複数選択可能 (集計表の無回答欄を削除)

### ワンヘルスを知ったきっかけ (R6年度)



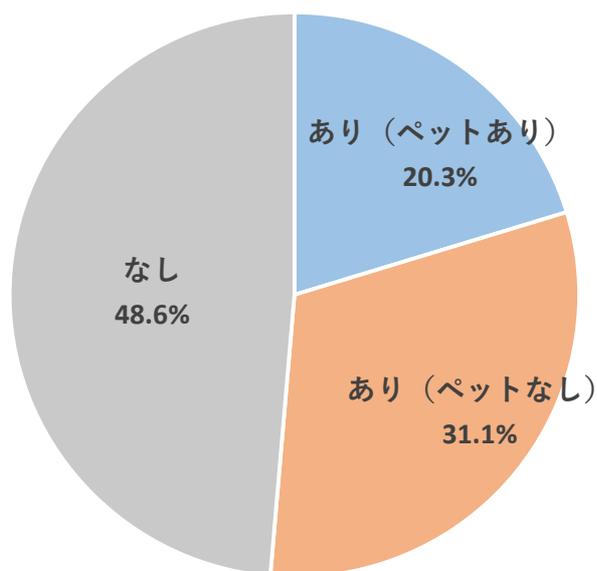
- ・ワンヘルスについて知っている人が、知ったきっかけについて、最も多かったのが「テレビ、ラジオ」、続いて、「福岡県だより」「インターネット」「市町村が発行する広報誌」の順であった。
- ・このうち、「テレビ、ラジオ」については、10月に開催したワンヘルスフェスタのPRのため、テレビでイベントの紹介やワンヘルスの啓発を行ったこと、またワンヘルス認証のテレビCMが放映されたことによるものと考えられる。

問3 あなたは日常生活の中で、動物とふれ合う機会がありますか。次の中から【1つだけ】選んでください。

(R6 : n=370)

選択肢	R4		R5		R6	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 現在、ペットを飼っており、日常的にふれ合う機会がある	82	23.4%	71	19.6%	75	20.3%
2 ペットは飼っていないが、動物とふれ合う機会がある(ふれあい動物園やイベントなど)	110	31.4%	106	29.2%	115	31.1%
3 動物とふれ合う機会はない(アレルギーがある、動物に興味がないなど)	158	45.1%	186	51.2%	180	48.6%
合計	350	100.0%	363	100.0%	370	100.0%
動物とふれ合う機会がある方 (1～2と回答した方)	192	54.9%	177	48.8%	190	51.4%

動物とふれ合う機会 (R6 年度)



n=370

・動物とふれ合う機会がある方は51.4%と、およそ2人に1人に当たる。

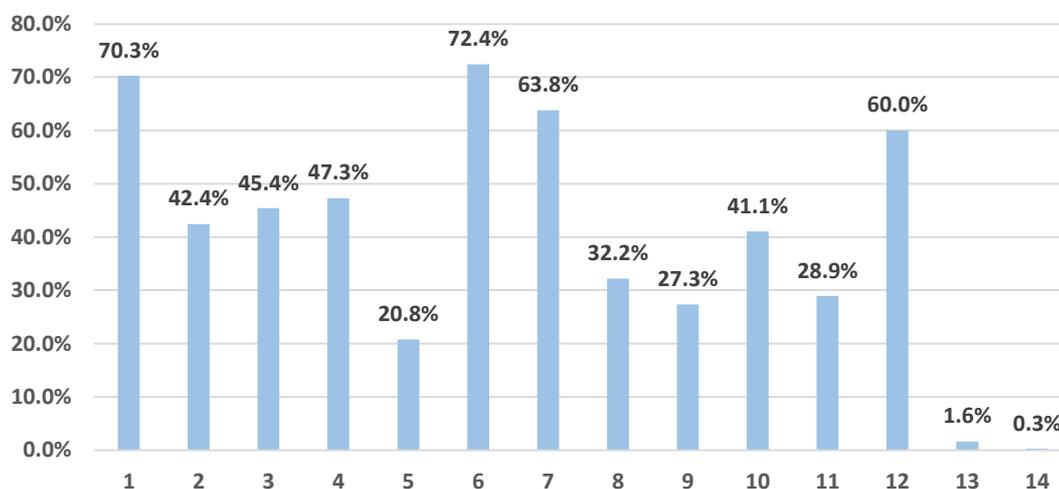
問4 県では、ワンヘルスの課題に対し、「人獣共通感染症対策」、「薬剤耐性菌（抗生物質などが効かない、または効きにくくなった細菌）対策」、「環境保護」、「人と動物の共生社会づくり」、自然や動物とのふれ合いを通じた「健康づくり」、「環境と人と動物のより良い関係づくり」を進めています。これらに関して、あなたが、日常生活の中で取り組んでいることはありますか。次の中から該当するものを【全て】選んでください。

(複数選択可) (R6 : n=370)

選択肢	R4		R5		R6	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 動物に触れた後は、手洗いをし、清潔に保つ（人獣共通感染症対策）	252	72.0%	271	74.7%	260	70.3%
2 ペットに口移しで食事を与えるなど、過剰な接触を避け、人と動物の共通感染症にかかることを防止する（人獣共通感染症対策）	146	41.7%	145	39.9%	157	42.4%
3 登山や里山など野生動物が多く生息するような環境に出かける際は、マダニなどに咬まれないようにするため、長袖、長ズボンなどを着用し、感染防止に努めている（人獣共通感染症対策）	146	41.7%	157	43.3%	168	45.4%
4 病院や薬局で処方された抗生物質は、途中でやめないなど、用法用量を守り、薬剤耐性菌を生む要因の発生防止に貢献する（薬剤耐性菌対策）	142	40.6%	157	43.3%	175	47.3%
5 移動の際は自家用車の使用を控え、公共交通機関を利用し、地球温暖化の防止に貢献する（環境保護）	55	15.7%	72	19.8%	77	20.8%
6 買い物の際にはレジ袋をもらわず、エコバッグを持参し、プラスチックごみの削減に貢献する（環境保護）	253	72.3%	289	79.6%	268	72.4%
7 野生動物にはむやみに近づかない、餌付けをしないなど、適正な距離を保つことを理解している（人と動物の共生社会づくり）	202	57.7%	230	63.4%	236	63.8%
8 ペットを飼う場合は、その健康管理を行うとともに、飼育環境を清潔にする、散歩中の糞は持ち帰るなど、適切に管理している（人と動物の共生社会づくり）	97	27.7%	112	30.9%	119	32.2%
9 ハイキングや森林浴などにより、自然とふれ合うことで、身近な自然への理解を深めている（健康づくり）	100	28.6%	113	31.1%	101	27.3%
10 食材を購入する際は、できる限り地元で生産された農産物を選び、地産地消に取り組んでいる（環境と人と動物のより良い関係づくり）	150	42.9%	163	44.9%	152	41.1%

選択肢	R4		R5		R6	
	回答数	割合	回答数	選択肢	回答数	割合
11 食材を購入する際は、低農薬など、環境負荷の少ない農産物を選ぶようにしている（環境と人と動物のより良い関係づくり）	106	30.3%	107	29.5%	107	28.9%
12 買いすぎない、作りすぎない、注文しすぎない、食べきるなどを心がけ、食品ロスの削減に取り組んでいる。（環境と人と動物のより良い関係づくり）	201	57.4%	207	57.0%	222	60.0%
13 取り組んでいることはない	11	3.1%	9	2.5%	6	1.6%
14 その他（次の設問で具体的に記入してください。）	2	0.6%	3	0.8%	1	0.3%

### 日常生活の中で取り組んでいること（R6年度）



- ・ワンヘルスの各課題に対し日常生活で取り組んでいる方の割合は、エコバッグ持参による環境保護、動物に触れた後の手洗いによる人獣共通感染症対策が7割以上と、高い割合を占めている。
- ・人獣共通感染症対策に係る取組を行っている方の割合はどの設問も約4割以上を占めており、多くの方が取り組んでいる。
- ・一方で自家用車の使用を控え、公共交通機関を利用し、地球温暖化の防止に貢献することについては、20.8%と低くなっており、自家用車が生活において不可欠であることが伺える。

問5 問4で「14」を選んだ場合は、その内容を具体的に記入してください。

- ・ 選択肢5や6のような誤った情報に踊らされないよう、自分の頭でしっかり考える癖を持ち、固定観念に縛られないようかつ新しいことを学んでいく。

【50代 男性（北九州）】

問6 ワンヘルスについて、これまでの設問以外に意見はありますか。  
ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

(例：今後、県のワンヘルスの取組において求めることなど)

- ・ ワンヘルスという言葉は始めて知りました。ですが、上記の質問から無意識のうちに関ヘルスを実行していることにも気がきました。今後も必要なテーマになってくるとは思いますが、もっと認知されても良いように感じます。  
【30代 女性 (北九州)】
- ・ 山を削って太陽光パネル乱立させておいて自然と共存など、ダブルスタンダードも甚だしい。【50代 男性 (北九州)】
- ・ ワンヘルスという言葉自体知らなかったのも、もっと広報活動を広げてほしいと思う。【30代 男性 (北九州)】
- ・ 学校における啓発活動【70代以上 男性 (北九州)】
- ・ 自然環境の悪化や地球温暖化などの気候変動の一つの問題として電源確保の為の森林開発などの土地利用の変化が考えられると思います。ソーラーパネルや風力発電設備設置は慎重に願いたい。【70代以上 男性 (北九州)】
- ・ この記事を読むまで「ワンヘルス」にあまり知らなかった。大変良い取組なので、更なるPRで周知宣伝してほしい。【50代 男性 (北九州)】
- ・ ワンヘルスという言葉の定義がそもそも分かりづらい。呼称を変えてはどうか。【40代 女性 (北九州)】
- ・ ハイキングや森林浴などの啓蒙活動をもっと多くしてほしい。  
【60代 男性 (北九州)】
- ・ 具体的な取り組みのレベルで種々雑多な内容が混在しているように思える。もっと内容を整理し、また既存の取り組みとの区別も明確化したうえで推進するほうが効果的であろう。【50代 男性 (北九州)】
- ・ 国内では、人口減少で自然環境がもとの状態に戻るのかと思いきや、森林開発で太陽光発電パネルや風力発電などで新たな土地利用の変化によって、自然環境の悪化や地球温暖化などの気候変動が生じています。これらは、身近な問題であり、広く言えば「ワンヘルス」の問題であるが、直接的には「エネルギー問題」「都市計画」の問題である。優先順位を考えて、これらの問題解決に向けてオールジャパン、オール福岡県で取り組んでほしい。  
【70代以上 男性 (北九州)】
- ・ 少し前まで、ワンヘルスという言葉も知りませんでした。県の広報をきっかけに知ることができました。地道な啓発活動の重要性を改めて感じました。  
(人獣共通感染症について)  
国内外の人や動物、物の往来の活発化に伴い人獣共通感染症のリスクは増大していく可能性があり、予防・感染の早期発見・早期対処によりいっそう力を入れる事が必要だと考えます。外国との習慣や価値観の違いを踏まえ、旅行者や移住者に対し国内(県内)で禁止されている事や注意すべき事を広く周知していく必要があると思います。国内では、北海道におけるキタキツネのエキノコックス保有率が上昇していることや、室内で飼育されている飼育犬からも発見されたことから、北海道とその他流行が懸念される地域から犬とともに旅行や移住する場合や、県内在住者が流行地へ犬とともに旅行へ行く場合など、県内に入る前に検便(必要に応じて駆虫薬の使用)を行いエキノコックスの県内侵入の防止策を検討する必要があると考えます。

(人と動物の共生社会について)

動物が好きな人も嫌いな人も快適に過ごせるようにペットの適正な飼育に向けた飼い主への啓発が重要だと思います。特に飼い猫の完全室内飼育の推奨(虐待、交通事故、ノミマダニその他感染症、糞尿による近隣トラブル、狩猟本能による野生動物への影響、外での繁殖を防止するため)犬のしつけ、糞尿の処理の徹底など。また、飼育放棄がなくなるような啓発も重要だと思います。人間と同じく特にペットが高齢になってから看護・介護・看取り、費用面について負担が増え、飼い主の介助が絶対に必要になります。介護の実際の様子など動画を作成し、譲渡・販売、迎え入れる形態問わず、視聴してもらい終生飼育可能か、引越し、結婚、出産、離婚など環境が変わっても飼い続けられるか飼う前によく検討を促すことが必要だと感じます。マイクロチップによる飼い主の把握により、違反が認められた場合には、動物愛護管理法に基づき警察とも連携し、罰則が適切に適用されるようにすることも大切だと思います。さらに飼い主に何かあった時に任せられる人や団体を決めておくことや、高齢化に伴い、飼えなくなったペットが取り残されないような仕組み作りも必要だと感じます。避妊去勢手術の必要性について啓発を継続し、多頭飼育崩壊を予防する事も重要であると考えます。【30代 女性(北九州)】

- ・ 長期休暇に子供向けイベントをたくさんして欲しい【40代 女性(北九州)】
- ・ もっと発信すべき。【50代 男性(北九州)】
- ・ ワンヘルス商品等には補助金等があり消費車は購入しやすく、事業者は事業が継続しやすいような取り組みがあればいいと思います。  
【30代 男性(北九州)】
- ・ ワンヘルスという言葉は知っていましたが、内容は把握しておりませんでした。人と動物の健康と環境を守っていく活動と知って、自分自身で詳しく調べ、理解するきっかけとなりました。【30代 男性(北九州)】
- ・ ワンヘルスを唱えるのなら、森林をもっと増やすことをお勧めします。企業誘致などで地域経済の活性化を目指すことは大変結構なことではありますが、その土地にある木を伐採し更地にするのは環境的によろしくありません。また、山の木を伐採することは山の近くに住んでいる住民の安全を脅かし、危険に晒すことと同じであるため辞めるべきです。近年は雨も増え、気候もおかしくなり、現時点でさえ台風が発生しています。土砂災害の被害も増えていますため、山や山岳地帯の森林伐採は県単位でやめましょう。また可能な場合は、ITといった分野は地上と地下での開発も拡大してはどうでしょうか?参考程度に。【10代 男性(北九州)】
- ・ ワンヘルスをなかなか理解できない。「人と動物の健康と環境の健全性を一つの健康と捉え」のところがよくわからない。一つ一つの設問は理解できるが、それを関連付けて考えることができない。関連付ける接着剤のような言葉や事例が見つからない。【60代 女性(北九州)】
- ・ 野良猫が多く糞尿の害に困っている 自治体で捕獲等対策して欲しい  
【40代 男性(北九州)】
- ・ 太陽光どうにかしてほしい、逆行している、利権の塊  
【20代 男性(北九州)】
- ・ 続けてほしい【60代 女性(北九州)】
- ・ 動物を飼っていないなくても普段の生活と関連している事を広める取り組みが必要だと思います。【40代 女性(北九州)】

- ・ 地産地消の浸透、農薬の使用についての条約を厳しいものにしてほしい。  
【30代 男性（北九州）】
- ・ ワンヘルスについてあまりに関心が、ありませんでした。以前犬を室内で飼っていましたが、今思うと、子供のような扱いをしていました。犬は犬とおもわなければいけなかったのかなと少し反省しています。感染症など考えていなかったです。【70代以上 女性（北九州）】
- ・ ワンヘルス・・・色々知らないカタカナが多いこの頃に違和感を感じる。日本語にして欲しい。動物、ゴミ、温暖化・・・幅が広いな。  
【40代 その他（北九州）】
- ・ ワンヘルスなんて、初めて聞いたし、皆知らないと思う。ほとんどの人が知らないような事しないで、認知度を上げていくことで、人の興味を集めると思うので、そこから始めたらいいと思う。【40代 その他（北九州）】
- ・ 私の住んでいる京築地域は自然が身近にあるので、環境や自然を大切に共存して暮らしていこうという意識が都会よりは強いかなと思う。地産地消だったり農業にかかわったりして自然のありがたみを感じながら、自然を守るために自分はなにができるのか少しでも考えられるようになりたいと思えるようになった。【40代 男性（北九州）】
- ・ ワンヘルスって言葉がイヤ。「生き物との共生」でいいのに説明がダラダラと長々とある言葉は無駄と思う。【70代以上 女性（福岡）】
- ・ 地域猫の活動がもっと浸透してほしい。不妊手術、去勢など。  
【40代 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルスの事が大事と考えるならば、もう少し認知が必要であると考えている。しかも誰もがわかりやすく教育していただきたい。【40代 男性（福岡）】
- ・ 野良猫を自分の敷地以外の場所で餌やりしている人を見かけます。その場所は公園です。毎日です。こういう事が慈善活動と勘違いされているのではないかなと思うのですが、餌をやるだけで、糞の始末などはしてません。そのような方に地域猫活動に対して、どう話したりすれば良いのでしょうか？  
【60代 女性（福岡）】
- ・ 聞いたことはありますが、あまり目にするのがないので良いことなのでもっとPR頂けたら自身の生活についても見直す機会になると思います。  
【30代 男性（福岡）】
- ・ なるべく家庭菜園等で野菜を作り、段ボールコンポスト等にも挑戦している  
【70代以上 女性（福岡）】
- ・ 今回初めて知りました。地球温暖化をはじめ今の異常気象はこれから多くなる事はあっても少なくなる事は難しいと思います。今年の酷暑もそうですがその余波が今の葉物の高騰に繋がっています。人間も自然の中の一部なのでそこは仕方がないのかもしれませんが。個人的には地球はどんどん破滅の道に進む一方かと考えます。もちろんそれを抑える活動は行っていますが多少の動きでは抑える事は難しいと思います。それでもその破滅の道を少しでも緩くなる為の今の我々が努力すべきだと考えます。【50代 女性（福岡）】
- ・ 福岡県が、国、世界に先駆けてワンヘルスに取り組まれていることが素晴らしいと感じています。【60代 女性（福岡）】
- ・ ワンヘルスはあらゆる政策を横串で扱う、刺すものと思う。同様のものにSDGsがあり、SDGsのほうがより幅広で、浸透もしており、分かりやすいと思う。福岡県には申し訳ないが。【60代 男性（福岡）】
- ・ 森林の手入れ、害獣駆除、外来種の管理【60代 女性（福岡）】

- ・ 特にないが、今一つワンヘルスへの取り組みの重要性が分からない。  
【60代 男性（福岡）】
- ・ ペットを飼っている世帯は多いのでまずは小さなことや身近に取り組めるワンヘルスについて知りたいです。災害時の、ペットや小学校で飼育されている動物、野生動物への対応等も県民で共有できていると安心だと思います。  
【40代 女性（福岡）】
- ・ スーパーで買い物すると、未だにレジ袋を3円や5円で購入している方を良く見かけます。最近では、エコバッグ意識も薄れているように感じます。エコバッグを活用するキャンペーン等で意識付けが出来れば良いと思います。  
【60代 男性（福岡）】
- ・ 動物と触れ合う機会を設ける場を作ってあげるべき【30代 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルスについては、言葉と内容を少しだけ最近知った。ワンヘルスに関しては、その範囲が広いので、周知する際はポイントを絞るなど、少しずつの方がストンと相手に入りやすいのではないかと思います。【60代 女性（福岡）】
- ・ あまりにテーマが大雑把で何をしたらよいか分からないと思う。多くのことがテーマとなると思うが特に一つを選んで半年や1年単位でテーマを決めて広報活動をしたらよいと思う。それをテーマを変えつつ。続けたらいいと思う。  
【70代以上 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルスの取り組み自体はとても良いと思いますが、ワンヘルスというネーミングから取り組みをイメージしづらいな、と思っています。例えば、エコといえば、地球にやさしく、とイメージできるので、イメージしやすいネーミングがあればと思っています。【40代 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルスにかんしては、あまり情報が入ってきませんが、人間社会のこれ以上の拡大と人間社会にいる動物たちとの共生をテーマにしているように感じる。最近、野良猫はいるが野良犬を全く見なくなった。40年前ほどはよく見かけていた気がする。捕獲などで殺処分を行っていった結果であろうか？確かに猫よりも犬の方が人間に対して危害を与えることが多い気がする。だからと言って、駆除するのはワンヘルスではないと思う。猫も地域猫というカモフラージュで、子孫を残させないようにしているが、これも長い目で見れば種の断絶である。動物に対してアレルギーのある人間は一定数居るが、動物と触れあう環境の無い世界にいれば、ますますアレルギーの人間は増えていくであろう。今よりも自由だった過去と比べ様々な制約がある現代において、益々人間が生きにくくなる環境を自ら作り出しているようにも思える。これは外国に習えの精神によるものではないかと考える。そのようなことでよいのか疑問である。  
【50代 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルスを推進するために、それに合った行動へのメリットを設定すべき。例えばエコバッグであれば、それをを用いることで有料レジ袋を買わずに済むためメリットがある。例えば県独自のポイント制度を導入してワンヘルスに従った行動をすればポイントが増え、それを購買に使えるようなことを考えるべき。【60代 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルスという言葉の概念が まだ十分に自分の中で浸透しておらず、傍観者的な立ち位置にいる。しかし、アンケートの回答をする中で、ワンヘルスも、SDGsも共通した行動があり、身近だと思った。環境問題への馴染み、地産地消や、一物全体、身土不二、などのマクロバイオティク、などの昭和からの意識は、ワンヘルスに繋がったと思った。ワンヘルスだけをアピールするより、環

境問題やマクロビ活動に便乗して啓発したがとっつきやすいのではないだろうか。【70代以上 女性（福岡）】

- ・ 日本全体、綺麗で美味しい物を作ろうとはしておりますが、農薬の散布による見た目や人口調味料による過度な美味さを追求し過ぎるあまり、人間の体内でそれらが蓄積され、予期せぬ悪い変化をもたらすのではないかと危惧しております。今後ともワンヘルスを考えて、食材選びをしております。

【30代 男性（福岡）】

- ・ ワンヘルスといわれるとなんのことだかわかりません。自然や動物との共生社会と言われるとなんのことだかわかるのですが…。【30代 男性（福岡）】
- ・ 地球温暖化で今まで当たり前に入っていた物が手に入りづらい現実がそこまで来ているのではないかと考えています。直売所とか出向くと新種の野菜など売ってあるので、気候にあった農産物に自分達の味覚も徐々に慣れさせるよう努めることではと思います【60代 女性（福岡）】
- ・ ワンヘルスについて今後ますます考えていこうと思います。

【50代 女性（福岡）】

- ・ ワンヘルスという表現は日本語ではどう表すのでしょうか？私には見当が付きません。それだけ分かりにくい言葉と言えるのではないのでしょうか。世界的に利用されている単語であれば、〇〇〇〇ワンヘルス、同格の意味を列記して日本人が理解しやすいように取り組んではいかがでしょうか。私には同格の意味となる日本語が見つかりません。検討ください。【60代 男性（福岡）】
- ・ いまいちピンと来ないので、これから学んでいこうと思います。普段から考える機会を増やしていこうと思います。テレビやSNS等で触れる機会が多くなれば良いのではと思います。【50代 男性（福岡）】
- ・ 県のワンヘルスの広報を継続的に続けて欲しい。【60代 男性（福岡）】
- ・ 年齢的に高い山行はやめたけれどハイキングや低山には行きたいので、マダニや生息する野生動物などの情報発信が欲しい。また、山などに湧く清水などの水や川などの寄生虫のことや飲水についての注意喚起などまとめて見れるサイトがあればいいなと思います【60代 女性（福岡）】
- ・ 県民の啓もう活動をもっとしてほしい【70代以上 男性（福岡）】
- ・ ワンヘルスのことを知らなかったので知る機会になって良かったです。福岡は適度な都会と自然が共存してる良い県なので、今後も共存できるような取り組みをしていきたいと思いました。【30代 男性（福岡）】
- ・ 「環境保護」「SDG s」との違いを明確にしたほうがわかりやすいのではないのでしょうか。【30代 男性（福岡）】
- ・ 分かりやすく広範囲の展示を希望致します。【70代以上 女性（福岡）】
- ・ なぜかよく聞く名前なのに、これほど内容や取組みを知らない（取組み自体を知っていても、ワンヘルスと呼ばない。呼ぶことを知らない。）キーワードも珍しいなと思いました。【30代 女性（福岡）】
- ・ 猿や猪が人里までやってきて人を襲ったりもワンヘルスの中の一環かも。季節の果物などは早く収穫するなどしてほしい。山里に行くとスズナリの果物をそのままになってたり。その家の方は毎年みのるので平気なのかも。遠くから来た者はどうして収穫しないの？って思うので広報で果実などある家への収穫期をそのままにしない事を知らせるべきと思いました。

【70代以上 女性（福岡）】

- ・ 地産地消を積極的に行うことが輸送費の削減、CO2の削減にもつながるため、その消費を積極的にふるよう飲食店に促すべき。業務用スーパーやコストコに

対して、外国産のものを安くしようとするとする企業に対して、取り扱い商品が外国産比率の高い店舗は税金を高くするなどしないと国産の商品は促さないとと思う。【30代 女性（福岡）】

- ・ ワンヘルスについて今回詳しく知ることができたが、今までやってきたことを続けていけばいいんだという認識でした。【40代 女性（福岡）】
- ・ ワンヘルスに対して、公報でのPRの強化【70代以上 男性（福岡）】
- ・ 重要な取り組みであると思います。日常生活で意識して自分なりに取り組みを行っていますが、ワンヘルスという言葉はまだ浸透していないように思います。【60代 男性（福岡）】
- ・ こういった活動は根強く続けて当たり前の中にしていく必要があると思う。【30代 男性（福岡）】
- ・ 今答えているアンケートのワンヘルスの説明文が難しくあまり理解できなかった。【50代 女性（福岡）】
- ・ 個人の店舗では、ペットを店内で放し飼いしているところが見られるので、衛生面や安全面での指導を行ってほしい。【50代 女性（福岡）】
- ・ どちらかというと、現在では人間と人間以外の動物とは全く別物として分離して考えられているという意識があったので、今回ワンヘルスについて知ることができてよかったです。【40代 女性（筑豊）】
- ・ ワンヘルスについて知りませんでした。取り組んでいることはたくさんありました。これから続けていくことと広めていくことを行っていく【20代 男性（筑豊）】
- ・ ワンヘルスについて知らない人が多いと思うので、もっとアピールした方がいいと思う。【60代 男性（筑豊）】
- ・ ワンヘルス、人獣共通感染症対策という言葉は、あまり知らなかった。動物との接触を管理することが一つの対策であろう。また、グローバル化による未知の感染症の広がりも大きく影響している。世界全体で連携をとり、対応を考える必要がある。【60代 男性（筑豊）】
- ・ 幼い頃から動植物に触れ合うと情緒豊かな子供になれると思います。どしどし自然に触れ合って欲しいです【60代 男性（筑豊）】
- ・ 私はこのアンケートでワンヘルスについて初めて知りました。福岡県は全国初に「福岡県ワンヘルス認証制度」を創設したにもかかわらず恥ずかしい限りです。しかしながら、県からの情報発信が不足しているのも事実ではないでしょうか。環境問題に意識が高い人々だけではなく一般の人々にも広く周知してもらうにはテコ入れが必要だと考えます。例えばスーパーなど小売店と連携して、認証マークを取得した商品を大量に入荷して安価で販売してもらうための補助金を出すなど、より積極的な施策を行ってはいかがでしょうか。【40代 男性（筑豊）】
- ・ 内容をよく知らないので、もっとテレビや機関紙等で話題にしてほしいです。【50代 男性（筑豊）】
- ・ 福岡県ワンヘルス推進行動計画を拝見しましたが、中に「里地里山における野生動物の生息状況調査」という項目がありました。ワンヘルスは、人獣共通感染症を防ぐことも目的の一つになっていますが、生息調査のために森林等に入る行為こそが、感染症を蔓延させる要因の一つの可能性になっているのではないですか？人為ではない自然の森林等で動植物の絶滅等が発生することは自然の摂理であり、そこを人間が管理する必要はないと思います。自然の頂点に立ってほしい人間が、すべてを管理したいという欲望に過ぎないと思います。も

しくは自然から新たな人類の脅威が生まれるかもしれない恐怖からくることかもしれないかもしれませんが。全国の家畜農家数及び生育数は、豚以外は減少しているのに感染症は反対に増えていました。家畜に携わる獣医師は、不足していると聞いたことがあります。感染症の増加原因が獣医師の不足によるものも影響しているのであれば、そこを保全するのもワンヘルスの一環になるのではないのでしょうか？感染症にかかると殺処分になるのは報道でも見えていますし、感染症が増えることで、畜産農家さんの減少にも拍車がかかるはずなので、福岡県でも畜産物を推進していくのであれば、感染症の原因を防ぐことを考えてほしいです。もう卵などの物価高騰には辟易していますから。【40代 男性（筑後）】

- ・ 飼いやすいようにペットの遺伝子操作をするのは止めてほしい

【40代 男性（筑後）】

- ・ ワンヘルスという言葉を知りました。日頃からプラスチックごみの削減など自分にも出来ることをやりたいと思っていますので、ぜひ色々な情報や知識を発信していただきたいです！【50代 女性（筑後）】
- ・ 野生動物を含む環境を守る事は必要だが行き過ぎた保護政策によりペットの放棄により色んな野生動物が増えている現象があります。適正な野生動物の管理を専門家を加えた専門チームの発足を望みます。【60代 男性（筑後）】
- ・ 地球はひとつみんなが暮らしやすくなって欲しい【40代 女性（筑後）】
- ・ 移動の際は自家用車の使用を控え、公共交通機関を利用し、地球温暖化の防止に貢献する（環境保護）と、あるが、年々バスの便が少なくなったり、休日は減便されるなど、これらを行うことは難しくなっている。

【20代 男性（筑後）】

- ・ みやま市に、ワンヘルスセンターが出来たのは知りませんでした。ぜひ足を運んで、勉強の機会を得たいと思います。自然、動物、人間が、共に豊かに生きて行けるのが理想です。【40代 女性（筑後）】
- ・ 近所に野良猫が数匹いるが餌を食べさせている人がいるので困っています。耕した家庭菜園の畑に糞をするし出たばかりの芽を荒らすので歯がゆい思いです。【70代以上 男性（筑後）】
- ・ 言葉はなんとなく知ってるけどよくわからないという人が結構いるかと思えます。【40代 女性（筑後）】
- ・ 今まで以上に自らワンヘルスに取り組んでいきたい。県においても一層の啓発活動に取り組んでほしい。【70代以上 男性（筑後）】
- ・ 可愛さあまりに生活をともにするが、感染のことなどは疎かになっていたように思う。意識すること、行動することが大切だと感じた。

【40代 男性（筑後）】

- ・ 地球温暖化は人類の喫緊の課題なのに、「ワンヘルス」という言葉（ワード）が小・中学校の現場でどれほど共有されているのか疑問です。環境問題（SDGs）の学習と合わせて児童・生徒にもっと学んでほしいし、教職員の皆さんにもそうした意識の向上を求めたい。【50代 男性（筑後）】
- ・ 自分のペースを守り、きちんと生活する事でワンヘルスに近づいています。雑な振る舞いをしない行動が大事。【60代 女性（筑後）】
- ・ 地産地消のために県はもう少しPRに力を入れてほしい。

【70代以上 女性（筑後）】

- ・ どういう取り組みがあるのかまだよく周知されていないので、具体的な効果や成果などが広まって、誰でも気軽に参加できる機会が増えればよいです。

【70代以上 女性（筑後）】

## 飼い主のいない猫や犬猫の譲渡に関する取組みについて

### 【調査の目的】

県では、飼い主のいない猫の過剰繁殖による生活環境被害の軽減及び所有者不明の猫の引取数を減らすことを目的として、平成26年度から地域猫活動支援事業を実施し、地域住民が主体となって市町村が実施する地域猫活動を支援しています。

また、県が引取りした犬猫の新しい飼い主を探すため、動物愛護センターで動物愛護団体と連携して譲渡促進の取組を実施することにより、致死処分数を削減し、人と動物が共生する社会づくりを推進しています。

このため、地域猫活動及び譲渡事業について皆さまのご意見をお聴かせいただき、今後の施策の参考とさせていただきたいと思っております。

(保健医療介護部生活衛生課)

### ※地域猫活動とは

地域における、飼い主のいない猫の過剰繁殖やトラブルの防止のために、地域の合意のもとに地域住民が主体となり、不妊・去勢手術の実施や餌・トイレの管理などを行い、猫を適正に管理する活動。本活動により管理されている猫を地域猫という。

一世代限りの飼養や新しい飼い主探しにより、将来的には地域から飼い主のいない猫がいなくなることを目指す。

### ※ 現在、県が行っている支援

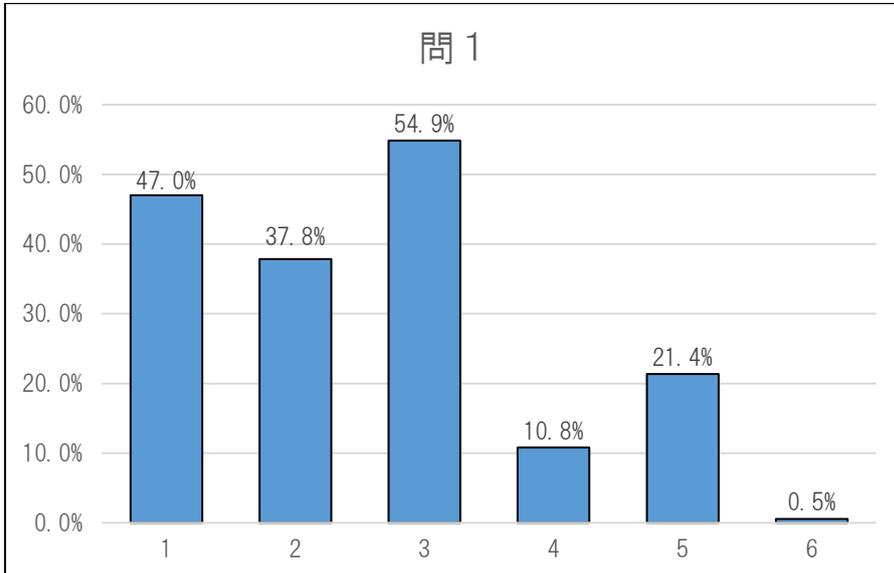
- ・市町村と地域住民とが行う地域猫活動に対する技術的な助言等の支援
- ・不妊去勢手術費用を助成する市町村への補助金交付による支援

問1 あなたは、屋外にいる猫による生活環境被害を軽減するためにどのような対策が必要だと思えますか。

(n=370 選択は2つまで)

選択肢	回答数	割合
1 飼い猫は屋内で飼育し、屋外に出さない	174	47.0%
2 飼い猫に迷子札を装着するなど所有者を明示し、餌やトイレ管理など適正な飼養管理を行う	140	37.8%
3 飼い主あるいは餌を与えている方が不妊去勢手術、餌の後片付けやトイレ管理などマナーを守ってお世話する	203	54.9%
4 追い払う、柵や塀の上に障害物を設置して敷地内への侵入を防ぐなど、自分でできる対策をとる	40	10.8%

5 飼い主のいない猫に対しては、地域住民の間でコミュニケーションをとり、地域猫活動を実施する	79	21.4%
6 その他	2	0.5%



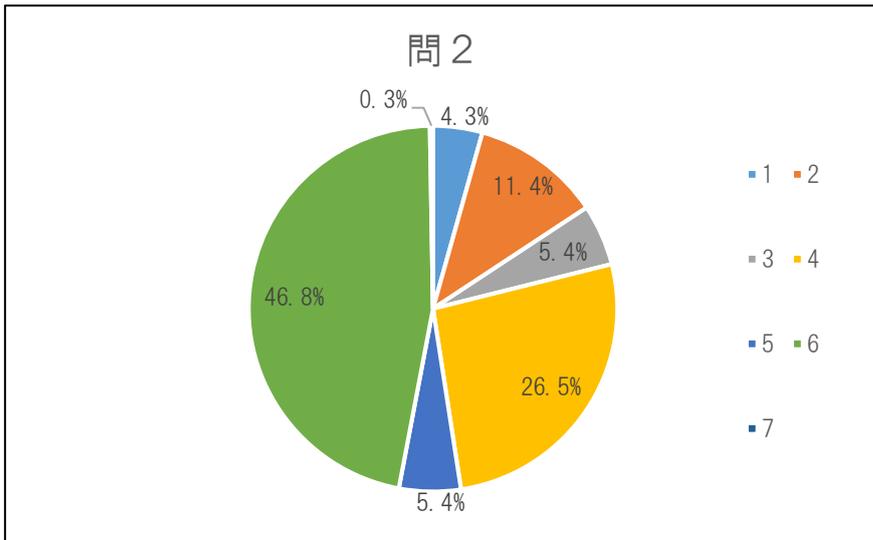
[その他] (カッコ書きは類似回答数)

- 野良猫が多く糞尿の害に困っている 自治体で捕獲等対策して欲しい
- 役所が猫狩りを行い、処分する

問2 あなたは、「地域猫活動」について知っていましたか。また、県が「地域猫活動」の支援事業を行っていることを知っていましたか。

(n=370 選択は1つのみ)

選択肢	回答数	割合
1 地域猫活動を行っており、県の支援事業も知っていた	16	4.3%
2 地域猫活動は行っているが、県の支援事業は知らなかった	42	11.4%
3 地域猫活動を知っており、県の支援事業も知っていた	20	5.4%
4 地域猫活動は知っていたが、県の支援事業は知らなかった	98	26.5%
5 地域猫活動のことは知らなかったが、県の支援事業について聞いたことはあった	20	5.4%
6 どちらも知らなかった	173	46.8%
7 その他	1	0.3%



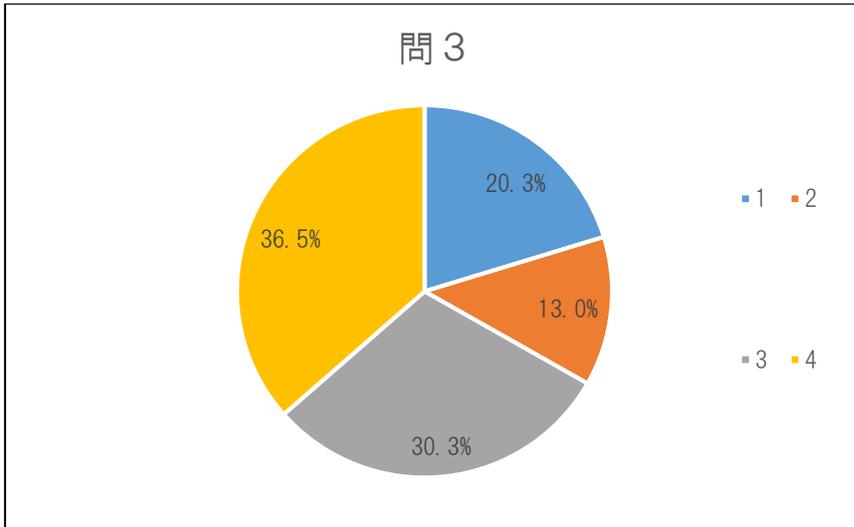
[その他] (カッコ書きは類似回答数)

- ネット等でなんとなく知っていたが具体的にはよくわからなかった。市町村レベルで積極的に案内すると取り組みやすい。窓口があると良い。

問3 あなたは、福岡県動物愛護センター（古賀市）を知っていましたか。また、当センターにおいて、県が引き取りした犬猫の新しい飼い主を探していること（譲渡事業）を知っていましたか。

(n=370 選択は1つのみ)

選択肢	回答数	割合
1 施設名を知っており、譲渡事業も知っていた	75	20.3%
2 施設名を聞いたことはあるが、譲渡事業は知らなかった	48	13.0%
3 譲渡事業は知っていたが、実施している施設は知らなかった	112	30.3%
4 施設名も譲渡事業も知らなかった	135	36.5%

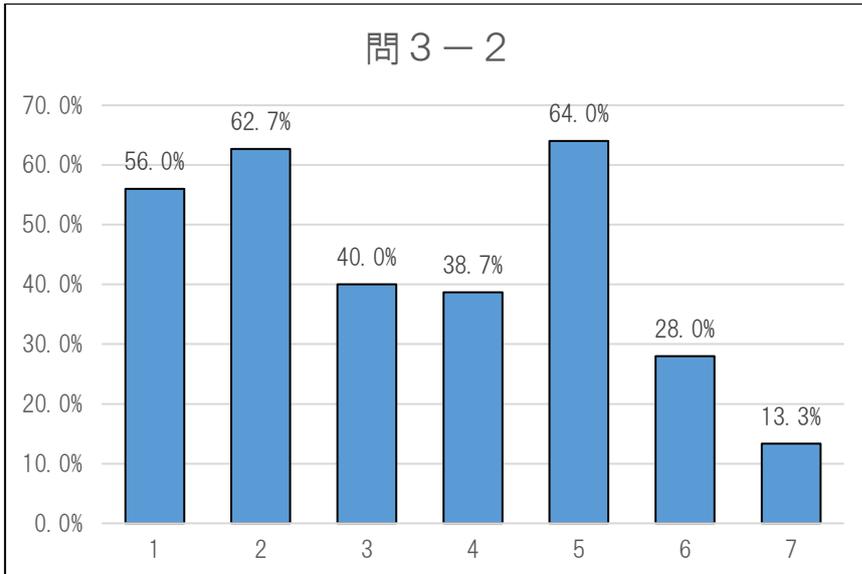


問3-2 (問3で「1」を選んだ方にお尋ねします。)

福岡県動物愛護センターにおける犬猫の譲渡について、次のことを知っていますか。

(n=75 選択は複数)

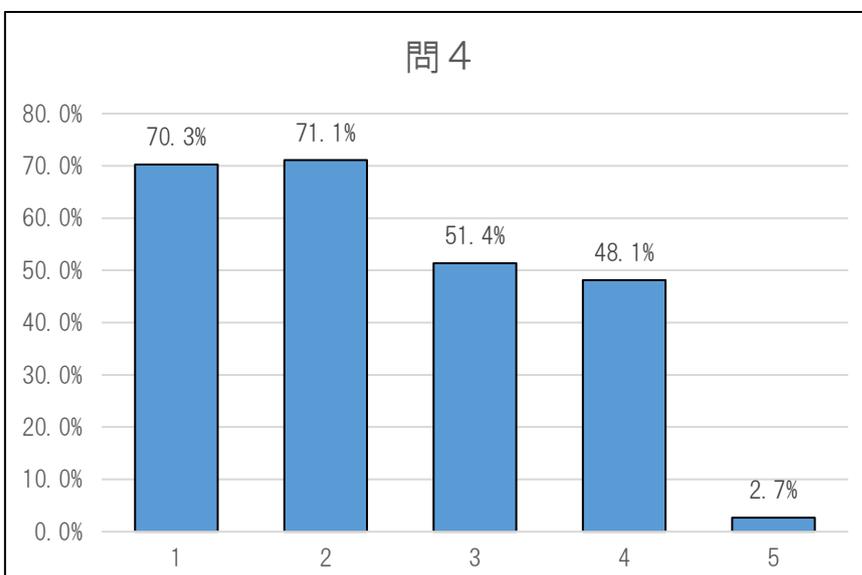
選択肢	回答数	割合
1 譲渡する犬猫は、原則として不妊去勢手術が済んでいる	42	56.0%
2 譲渡する犬猫は、原則として感染症を防ぐための混合ワクチンが接種されている	47	62.7%
3 譲渡する犬猫は、原則としてマイクロチップが挿入されている	30	40.0%
4 犬の譲渡を希望する場合は、事前に講習会を受講する必要がある	29	38.7%
5 犬猫を譲り受けるためには、家族の同意など一定の条件を満たす必要がある	48	64.0%
6 譲渡事業以外にも、譲渡した犬の同窓会、犬のしつけ方教室のほか猫の飼い方教室などを実施している	21	28.0%
7 知っているものはない	10	13.3%



問4 あなたは、福岡県動物愛護センターにおける犬猫の譲渡を進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(n=370 選択は複数)

選択肢	回答数	割合
1 ホームページやSNSを活用し、動物愛護センター事業の広報を強化する	260	70.3%
2 犬猫を譲り受けるための条件を分かりやすく、ホームページ等に掲載する	263	71.1%
3 新しい飼い主を募集している犬猫の性格や特徴を詳細に説明する	190	51.4%
4 県内各地に出張し、譲渡会を実施する	178	48.1%
5 その他	10	2.7%



[その他]

- センターの方から見て、この子にはこういう飼い主さんが合うんじゃないかな？というのがあれば、それを前面に打ち出すことで、引き取る方も引き取りやすい気がする。
- 譲り受けた人に SNS など近況報告や譲渡へ協力の運動を行ってもらい、飼育費用として謝礼を支払うことで、飼い主の負担軽減、飼い主がまた捨てたり、虐待などの予防になる、譲渡後の現状を知ること譲渡検討者に、安心感も持ってもらえる、広報活動の一環になる
- テレビで情報提供
- 福岡県動物愛護センターをそもそも知らずに、ペットショップでペットを購入する人たちへのアプローチ（現在、TV 番組のおかげで民間・公的機関主催の譲渡会の認知が広がっているようにも思います）
- ペットショップに譲渡によるペットの受け入れという選択肢もあることがわかるポスターを義務付ける。
- 猫の譲渡はしない方が良い。また逃げたり、野良猫になる
- 地域で保護した猫や犬を福岡県動物愛護センターへ引き渡す制度があれば、地域猫などといった制度は必要なくなると思われる。
- テレビなどの影響力はすごいので、犬や猫を飼う時の心構えや、ペットショップではなく保護犬や保護猫の選択肢を持ってもらえるように啓発してほしい
- 野良に対しての去勢、避妊手術費用の助成金の額をあげて欲しい。

**問5 飼い主のいない猫や犬猫の譲渡に関する取組について、これまでの設問以外に意見がありますか。**

[ご意見（次ページ以降のとおり）]（回答数＝105）

問5のご意見

番号	性別	年代	地区	内容
1	女性	30～39歳	北九州	我が家でも猫を7匹保護しています。これ以上はさすがに無理だと感じています。飼い主がいらない猫達を全て引き取りたい気持ちはおそらく猫飼いの人みんなが思っていると思います。飼うことは出来ないけど、そんな私達でも出来るようなことがないか探していきたいです。
2	女性	60～69歳	北九州	難しいと思う
3	男性	30～39歳	北九州	現実的には難しい話だと思うが、ペットショップでも譲渡会の告知ができるのが理想的だと思っている。購入にしる譲渡にしる、それぞれのメリットデメリットがあるので、それを比較した上でどちらにするのか、選択がしやすい環境になることで、動物を飼う(命を授かる)ことの重要性を重視する飼い主が増えるのではないだろうか。
4	男性	60～69歳	北九州	県が実施している取り組みのことをあまりにも知らないことに気づきました。もっと周知させるために対策すべきだと思います。取り組んでいるだけで県民に知れ渡らなければやっている意味がないと思います。福岡県はそのような施策が多すぎる気がします。県政モニターになり知ることが多く、それは単なる税金の無駄遣いのようにいつも感じています。
5	男性	70歳以上	北九州	飼い主は犬猫が野生化しないように厳重な管理を願う。
6	女性	40～49歳	北九州	譲渡開催日をもっと公に公表するべきだと思う
7	女性	50～59歳	北九州	仙台では鶏を飼っていたがいつも隣の猫に殺されてしまう 猫は人のうちに勝手に侵入するから、放し飼いにすべきではない
8	男性	50～59歳	北九州	動物アレルギーなので参加はできないが、譲渡の取組は拡大してほしい。高額な料金を支払って動物を購入するよりも、譲渡での方法もあることをもっとメジャーにしてほしい。
9	女性	40～49歳	北九州	ペットショップでの犬猫の販売は今後法制度でもってしても減らしていくべきだとおもう。
10	男性	50～59歳	北九州	無責任に放置されている犬猫や無責任や餌付けはいまなお多い。特に後者は餌を与えるだけで犬猫そのものはそのままになっているので、逆に数が増えていき糞害や物損被害が増えて増えている。人をかむ、人に傷を負わせる、感染症を介するなど、人的な被害が出る前に具体的な対処が必要である。できるだけ避けるほうがよいのは当然だが、他に手段がない場合は駆除も必要であろう。
11	女性	50～59歳	北九州	私にも保護犬で飼うようになった犬がいます。とても可愛いマルチーズです。噛み癖があり、家族も全員噛まれています。ただ、今、5年目になりますが、いまでは、室内飼いを許せなかった父までもが溺愛し、いまだに噛まれることもよくありますが、家族の中でなくてはならない存在です。どうかペットショップで安易に命を売るようなことは、少しずつでも無くして行って欲しいと感じています。
12	女性	40～49歳	北九州	以前天神にて保護犬を譲り受け飼育していました。地域の市報などにでも保護犬、猫の譲渡の案内を配布するなどもっと広く案内があればいいと思います。
13	男性	70歳以上	北九州	ネコが引き起こすいろいろな問題は基本的に飼い主の問題であり、責任は重い。社会的に「人の生存」と同じ扱いをする以上、極端かもしれないが、「ネコの生存」に対しても飼い主から税金を徴収し、そのお金で社会的問題の解決を図っていく必要があると考えます。
14	男性	40～49歳	北九州	ショッピングモールで簡単に動物を買うことが出来るが、動物を買う以上、一人一人が命の大切さを肝に銘じて飼育しなければならないと思う。
15	男性	30～39歳	北九州	猫の繁殖の抑制とともに地域理解を同時に進めないといけない

番号	性別	年代	地区	内容
16	女性	30～39歳	北九州	猫の繁殖率は高く地域猫活動や譲渡を加速度的に進めていく必要性を感じる。同時に悪質なブリーダーの取り締まり強化、飼い主のモラルを向上などペット遺棄に繋がらない取り組みを行う必要がある。現在市町村によって地域猫に限定されている避妊去勢手術費補助を福岡市のモデル事業「飼い主のいない猫の避妊去勢手術への助成」を手本に県内全ての市町村で行えないでしょうか？(飼い主がいる場合でも多頭崩壊や高齢者の入院等による置き去りなど保護団体や自治体からの要請を含める)現行の地域猫支援活動や譲渡活動では追いつかず、多くの個人や団体が地域を超えボランティアで保護・譲渡やTNR活動を行なっているが、常に多くの犬や猫を保護しており、もともと人手不足や資金難の問題を抱えていたボランティアが物価高によりさらに活動が困難になっている。また手術して終わりではなくTNR(餌、糞尿の片付け、健康管理、虐待防止、頭数の把握など)その後の管理も継続して行なっていく必要がある。福岡県動物愛護センター以外の各地の愛護センターも活用し、地域のボランティアと連携し保護・避妊去勢手術・譲渡に繋がる数を増やす事が必要だと思う。保護犬・保護猫を迎える事が多くの人々の選択肢に入るように広報を推進していく必要があると考える。継続的な活動の為(餌代、医療費、保護施設の建設や改修、活動実績のあるボランティアへの補助など)用途や収支を明確にし、ふるさと納税や遺贈など寄付を募ることも必要だと考える。ペットの適正な飼育に向けた飼い主への啓発も重要である。飼い猫の完全室内飼育の推奨(虐待、交通事故、感染症、糞尿による近隣トラブル、外での繁殖など防止するため)犬のしつけ、糞尿の処理の徹底。特にペットが高齢になると看護・介護・看取り・費用面の負担が増え、飼い主の介助が絶対に必要となる。介護の実際の様子など動画を作成し、譲渡・販売、迎え入れる形態問わず視聴してもらい、引越しなど環境が変わっても飼い続けられるか事前によく検討を促す必要がある。マイクロチップによる飼い主の把握を行い、違反が認められた場合、動物愛護管理法に基づき警察とも連携し罰則が適切に適用されることも大切である。飼い主に何かあった時に任せられる人や団体を決める、啓発による多頭飼育崩壊の予防、相談できる窓口の常設、高齢化に伴い飼えなくなったペットが取り残されないような仕組み作りも必要だ。
17	女性	40～49歳	北九州	地域猫をよく思わない人もたくさんいるので、取り組みをしっかりと周知させた方がいい
18	男性	50～59歳	北九州	良いことだと思う。
19	男性	30～39歳	北九州	飼い主の飼育環境の確認、収入の確認を徹底する必要があると思う。結局、飼育放棄などが発生すると活動が無駄になってしまうので、その可能性をできるだけ下げようとするべき。
20	男性	18～19歳	北九州	譲渡された動物をぞんざいに扱う者には罰則を、責任を持った飼育を行う譲渡先には不定期にギフト(餌など)を贈るのはどうか。
21	女性	60～69歳	北九州	地域猫活動をしてくださっている人に、助成金を出してほしい。
22	男性	40～49歳	北九州	野良猫が多く糞尿の害に困っている。自治体で捕獲等対策して欲しい。
23	女性	40～49歳	北九州	私は…地域猫活動にあまり賛成が出来ません。(動物の事は好きですが)去勢手術を行ってるから地域で飼ってもよいのですか？近所にも地域猫が何匹かいますが…地域猫たちはエサをやりにくる人の事が分かっているようで、その人が来るとわらわら地域猫たちが集まってきて、そしてごはんをもらって食べてお水飲んでおしっこしてうんちして…その公園で子供たちが遊んで、転んだりもして…はっきりと表現しきれないのですが…30年近く前は公園にたくさんの野良犬がいました。今は1匹もいません。なぜでしょうか？地域犬ということばも聞きません。地域猫も以前の野良犬のようにいなくなる事も可能なのではないでしょうか？
24	男性	20～29歳	北九州	繁殖会社が悪という認知が広まってきているので継続して活動の展開をしてほしい
25	女性	50～59歳	北九州	そういえば、私の地域では20～30年前に比べて野良猫が少なくなりました。何の活動をされたのでしょうか。
26	女性	60～69歳	北九州	個人的に保護活動している人に補助金などあればいいと思う
27	男性	40～49歳	北九州	動物の問題だけではないと思いますが社会貢献されている方に些細なことでもなるべく県からの表彰を行い、本人の了承をえてホームページ上などで発表することで些細な社会貢献でも認められる県であることを県民全体で理解して自分だけならという意識改革を行うことで飲酒運転や暴力行為などの低下に繋がるのではないのでしょうか？
28	男性	30～39歳	北九州	譲渡会会場へ行ったことがあるが、臭いが気になった。
29	その他	40～49歳	北九州	動物愛護は犬猫だけでしょうか？もし、そうならば、それはなぜですか？私達は命を食べているから、愛護がどういうことなのか良く分からないと自分で思う。かわいそうと思っても命を食べるから。
30	その他	40～49歳	北九州	殺処分されると思えば、可哀想としか言えない。命を軽視しているとしか思えない。
31	男性	40～49歳	北九州	犬猫の譲渡は基本的には反対である。譲渡してもその飼い主が責任もって面倒をみるかわからず、また捨てられる可能性もある。相性がいい悪いも難しいし無償でもらったとなれば、あまり抵抗感なく手放す可能性もあり、さらなる野良犬野良猫が増える原因につながる恐れがある。

番号	性別	年代	地区	内容
32	女性	70歳以上	福岡	猿が出没してけが人もでていますが、捕まえてもSNSで叩かれるから山奥に連れて行って放すしかない。この時、放したものとわかるような印でもつけているのだろうか。食べ残しなどの味を覚えているものは、やっぱり降りてくるのではないのか？たちごっこになるだけのような・・・人に害をなしたらバツサリと処分と方向を決めるべきだと思う。
33	男性	40～49歳	福岡	スマホの時代、もっとマッチングアプリが浸透すれば良いと思います。
34	男性	40～49歳	福岡	本当に里親になりたい方は詳しく独自に調べていると思います。最近のペットはとて高額ですから。
35	女性	60～69歳	福岡	知らない事が多く、もっと福岡県の取り組みを勉強しないといけないと思っています。
36	男性	30～39歳	福岡	地域猫活動の事を初めて知りました。我が家の地域でも屋外猫の糞で悩んでおり近所の方も同じ話になったので徐々にでも解消できるよう地域猫活動を進めてもらいたいです。
37	女性	50～59歳	福岡	心無い人間の為に殺処分される犬猫はなかなかゼロにはなりません。野良猫をはじめ不幸な動物達をなくすにはまず人間がペットに対しては最後まで責任をもって飼育する事。どうしてもそれが難しくなった場合は他の譲渡先やそれを託す施設が必要かと考えます。あと一部の人がペットに対して避妊処理を「可哀想」という理由で行わない人もいます。気持ちはわかるのですが彼等ペットは自然動物ではないのでそこは理解が必要かと思ます。ただ「可愛い」とい理由だけでペットとして迎えるのも危険です。そういう分別も人間側が学ぶべき点かと思ます。
38	男性	60～69歳	福岡	かわいいだけでペットを飼うのは絶対反対である。飼うなら命の尽きるまで責任を持つべきである
39	女性	60～69歳	福岡	以前、捨てられた子犬を子ども達と最後迄飼って家族の様に過ごした。室見川の河川公園で転勤時期には、ウサギ、犬、猫等が捨てられて、とてもかわいそうだった、飼い主には、転勤等で飼えなくなったら、どうか飼い主を探して、転勤して欲しいと思う。
40	男性	60～69歳	福岡	全ての生き物は、地球の宝だと思うころもちは大事な事と思ます。
41	女性	60～69歳	福岡	責任の所在をハッキリしてほしい。
42	男性	60～69歳	福岡	飼い主のいない猫に対し、糞害への対策をしっかり行なってほしい。また無闇に餌を与える人に対し、対策を行ってほしい。あまりに無責任だと感じる。
43	女性	40～49歳	福岡	動物とともに生活するとメリットもたくさんあると思ます。老人等にもサポートを入れて保護できる環境があると相互に利点があると思ます。一時預かりとかでも、地域全体で飼うイメージで一人一人の負担を減らしていけると良い気がします。
44	男性	60～69歳	福岡	ペットを飼っている方は、命あるものですから最後まで面倒をみていただきたいと思ます。「少しくらい」とか「わからなければ」とか自分の事しか考えてない方に飼われるペットがかわいそうです。これ以上飼い主がいない犬や猫を増やさない為にも譲渡事業をアピールして行ければと思ます。
45	男性	30～39歳	福岡	テレビ等のメディアで認知を上げていく
46	女性	60～69歳	福岡	正直に言うと、なぜ、地域ぐるみで猫の世話をするのか・・・が分からないです。外に猫がいると怖いので、動物センターで保護していただく等出来るといいのではないかと思ます。
47	女性	40～49歳	福岡	私の住んでいる街でも、かわいそうだからと、夜な夜な餌を与えている身勝手な人がいます。そんなときは誰に言えばいいのか、なにかモヤモヤしていました。どんどん猫が増えていきます。街にもっと看板などでアピールしてほしいです。
48	男性	50～59歳	福岡	野良猫が多すぎて、公園で近くの人がエサやったりするので、砂場にフンが多く、子供を安心して遊べない。
49	男性	70歳以上	福岡	私は犬、ねこがあまり好きでなく、犬、猫が増やするような活動はあまり好ましくないと思う。このように考える人たちもいるのも現実です。犬、猫の命あるものなので、どのようにするのが望ましいかよくわかりません。
50	男性	40～49歳	福岡	猫で有名な島があるかと思ます。島の方々の理解が大前提ですが、そのような場所での譲渡会の実施や、島で犬猫を管理できる手段があれば、管理が容易になるかと思ます。

番号	性別	年代	地区	内容
51	男性	50～59歳	福岡	買っている猫が子供を産み、飼い主が育てきれない場合、誰かに譲り受けてもらうか、野に離すかなどになりますが、福岡県動物愛護センターがそれらの育てることのできない猫を無条件で受け取られる制度があれば、貧乏だけど猫を飼いたい家族にとっては、ペットショップで猫を飼うよりも安く済み、大変喜ばれるのではないかと思う。もちろん、福岡県動物愛護センターの餌代などの経費はかさむであろうが、地域猫などの問題を解決するには良い方法だと思われる。これにより、猫は道路で車にひかれることもなく、餌を探し回ってやせ細ることもなく、病気にかかって早死にすることも避けられるのではないか。高齢者の一人暮らしの方々の中には、動物と一緒に過ごしたいと思われる方も大いにいる。それが猫や犬や鳥になる。住んでいるアパートでは動物は飼えないとなると、やはり近所にいる犬や猫にエサを与えて、仲良くなろうとする。高齢者が認知症などになって一人の生活もままならなくなった後、その犬や猫は、さまようことになる。
52	男性	40～49歳	福岡	県営住宅でペットを飼えるようにする。
53	女性	70歳以上	福岡	野良猫や、保護の問題も重要だが、根本的な問題のペットショップの存在についての議論と対策を考えることをしてほしい。まるでぬいぐるみのように、買うように、店が存在し、アクセサリを選ぶようにペットを品定めをし、おもちゃのように取り扱う人々がいる。諸悪の根源がミックスばかり繁殖させ利潤を追求してるペットショップだ。
54	男性	30～39歳	福岡	ペットビジネスの発達により、飼い主による身勝手な動物の放置が目に見える状態が常態化しているような気がする。自然の生態系を脅かす人類の行為であり、本来なら管理すべきであるが、なかなか管理が難しい。そこでペットにしている動物をポジティブリストを作成し、自然の生態系を脅かす種を省き、自然破壊を最小限に抑えることが重要であると思う。
55	男性	30～39歳	福岡	地域猫活動についてはフンの処理など課題が残っていると思います。課題と解決策を明確に提示しながら取り組みが進むことを願います。
56	女性	60～69歳	福岡	ご自分で後処理やご自身の住まいでの餌やりではなく全く関係のない駐車場や空き土地などで餌を与え自己満足し、猫はもちろんそんな事とはわからないので、いごごちの良い場所と勘違いし車からひかれたり、追いかけて回されたり、罪だと思えます
57	女性	50～59歳	福岡	ペットの飼い主は責任持ってペットの世話をする。
58	男性	60～69歳	福岡	福岡県、および福岡県内の市町村が一つになった動物愛護ネットワークを構築し、県内のどの自治体のホームページからでもアクセスできるようにする。各自自治体独自でまとまった情報になってないのでは。動物愛護センターの活動情報が県内自治体でバラバラのような気がするので、一つになったサイトを作成(運営は県庁)して、情報を発信する。
59	男性	50～59歳	福岡	知らないことが多々あるので、まずは多くの人に知ってもらうように知名度を上げることが重要ではないかと思う。
60	男性	60～69歳	福岡	動物愛護センターの広報を継続的にしてほしい。
61	女性	60～69歳	福岡	犬も猫も苦手で飼った事もないので、よくわからないがボランティア団体に協力してもらって、定期的に譲渡会を開催するくらいしか思いつきません
62	男性	70歳以上	福岡	もう少し県民に広く知らせた方がよい。
63	男性	70歳以上	福岡	譲渡後のフォロー(飼育状況の追跡調査など)
64	男性	60～69歳	福岡	地域の公民館等と連携、連動し保護及び譲渡活動を推進する
65	男性	30～39歳	福岡	譲渡会に来る方々はきちんとされてる方が多いので問題はないですが、時折見かける餌を気軽にあげてしまう方々が問題かと思われます。ペット禁止なのに餌付けをして増やしてしまう人もいたので、飼い主のリテラシーが重要だと思いました。生まれてきた命なので大事にして欲しいので、野良猫等に関しては積極的に保護して飼い主が見つかって欲しいと強く願います。
66	女性	40～49歳	福岡	福岡県の動物殺処分がゼロになることを切に願います。
67	女性	70歳以上	福岡	犬猫を飼った事はないので分からない事が多くありますが、飼い主の責任が大切だと思います。
68	女性	30～39歳	福岡	問4の「県内各地に出張し、譲渡会を実施する」だけは反対です。ただでさえ傷ついた動物たちが怖がらせることはしてほしくないです。恐らくストレスで搬送中などのトラブルも少なくないと思えるので、スタッフさんの負担増になってしまうのではないのでしょうか。同じ労力をかけるなら、飼い主募集中の犬猫の詳細な情報を発信した方が、検討しやすくなると思います。(写真や動画→表情や姿勢から性格が、動画では更に詳しい性格やどんな骨格かが理解できると思います。)
69	女性	20～29歳	福岡	SNSで随時里親募集の犬猫情報を更新する

番号	性別	年代	地区	内容
70	女性	70歳以上	福岡	地域猫の言葉はよくテレビとかで聞いていたが県が力になっているとは。もっと公園や空き地での野良猫に餌をやっている人の管理を徹底してほしい。無闇に餌を与えたら野良猫が増えるばかり。猫好きなひとは可哀想だからと言うけど怪我をしたり病気がしき猫もいたりして人が通ると餌がもらえるか頼ってきたり捕獲した犬とかも増え過ぎているテレビで見ました。飼う人は最後まで責任を持って欲しい。ペットも登録して責任を持つ事センターや飼育員さんや餌代など全部税金でやってる事だろうから。
71	女性	60～69歳	福岡	地域猫の去勢手術代金を県が全額補助するようにしてほしい 見つけた方が病院に連れていきお金払ってる事聞いて負担が大きいと思いました
72	女性	70歳以上	福岡	飼い主のいない猫に餌をあげている人をよく見かけますが、むやみにあげずに、引き取る方向に方策展開していただければと思います
73	男性	70歳以上	福岡	1. 飼い主のいない猫や犬は、捕獲して殺処分。 2. 動物を、飼う場合、役所への届け出制にして、1回／年確認報告書を役所に報告の義務とする。
74	男性	50～59歳	福岡	物資の寄付に取り組む。 取り組みを支援するために日常生活で不要になった物資フード、毛布などを保護団体に寄付する。 地域で集めた物資を取りまとめて団体に届ける。 職場やコミュニティでの連携を促進する。 職場や地域の団体に活動を紹介をし、協力を得るよう働きかける。 企業やお店が活動のスポンサーになるように提案する。
75	女性	40～49歳	福岡	福岡市内や糟屋郡など地域猫活動に関して、まだまだ認知されていない。 よく「餌付けをしないでください」とチラシがあるが、餓死させようとするから猫は生きるためにご飯をあさってしまう。 去勢避妊のために地域猫活動の人は餌付けして、信頼度を深めてオペにもっていくことがあり、無作為に餌付けしないでとお願いする場合は、「オペをするために」と記載が必要。 (那珂川市の地域猫活動では説明をしっかりとされている)
76	男性	30～39歳	福岡	人間のエゴの被害を少しでも減らして欲しいと感じる
77	女性	50～59歳	福岡	最近では、昔に比べて野良猫や野良犬を見かけなくなり、公共の犬猫に関する取り組みが進んだと理解・評価している。
78	女性	18～19歳	福岡	譲り受ける人に資金的な面で支援すると思う。
79	女性	40～49歳	福岡	譲渡会の実施も大変だと思うので、コストや手間、移動による動物の負担軽減のため、【譲渡のお知らせ】は、駅の掲示板、スーパーの掲示板などの目につくところがいいと思う。広く伝えるにはインターネットもいいが、譲渡に関しては掲示板などが目につくと思う。
80	女性	40～49歳	筑豊	犬猫の譲渡に関してはかなり大きな問題だと思っています。先日アメリカ人をお招きし、ペット事情について伺う機会がありました。近所のモール内のペットショップに行きましたが、その価格に驚かれており、アメリカではほとんどの人がシェルターから譲渡されてペットを飼い始めるとおっしゃっていました。 日本でもパンデミック中にペットを飼い始めたが徐々に手放し始めている方々も多く、今日本のシェルターにもたくさんペットがいるようです。聞いた話では、そういったペットは人気ですぐに新しい飼い主が見つかるといいます。一方で殺処分されるペットもいまだに多く、そのギャップはどういったことだろうと疑問に感じます。 ペットを迎える時には、ショップで買うだけでなくシェルターにも行ってみるなど、日本でももっとお迎えの選択肢が増えることを願います。
81	男性	20～29歳	筑豊	動物は好きですが地域でこのような活動をしていることを知りませんでした。いつか猫を飼いたいと思うのでもう少し調べてみたいと思います。
82	男性	60～69歳	筑豊	犬猫の譲渡で県内各地に出張し、譲渡会を実施するのはいいと思うがなかなか大変でしょうね。老犬はなかなか譲渡対象にならない気がする。育てられなくなった犬猫を飼育金をはらって育ててもらえる施設があると安心して飼育でき、また放置犬猫も減るのではないかと。福岡県動物愛護センターが殺処分の場ではなく、犬猫とふれあえるパーク的な場を提供すれば譲渡の機会も増えるのではないかと、また、民間からの負担で飼育管理する、そういう役割を持ってよい。 飼い主のいない猫の過剰繁殖は、どこの地域にもみられる。尾道等のようにそれが1つの観光資源になっているところもある。過剰繁殖が問題の地域では、不妊手術が有効な手段であろうが、高額な費用負担が問題になる。高齢化もあり地域内の関係が希薄になっている現代では、個人補助であってよい。保護猫になると動物愛護センターでの費用もかかる。
83	女性	60～69歳	筑豊	犬は繋いで自由に動けないように決まっているのに猫は(飼い猫含めて)自由に動き回りどこにでも糞をするので困っている。 猫も噛んだり引っかいたりして危ないので規制してほしい。

番号	性別	年代	地区	内容
84	男性	60～69歳	筑豊	やはり譲渡会の回数が多ければ、それだけ人が集まるので効果的だと思います。さらにその会場で情報発信やフリマイベントなどをして楽しいイベントにしたらどうでしょうか。
85	男性	40～49歳	筑豊	我が家にはイヌが2頭います。1頭は熊本県の益城から、もう1頭は大牟田からそれぞれ殺処分危機にあったのを譲渡された保護犬です。ですので犬猫の問題に対しては他人事とは思えません。愛護センターの取組みは必要なことを満たしていると思います。私が問題視しているのはコロナ禍でペットを飼い始めた人の中に犬猫を捨てる人がいるということです。こればかりは飼い主次第になってしまいますので、「責任をもって一生飼い続ける」ことの啓蒙活動をしていくしかないのかな、と考えています。
86	男性	40～49歳	筑豊	テレビ新聞等で取り上げて下さい。ふるさと納税の各市町村から寄附できるようにして下さい。
87	男性	50～59歳	筑豊	以前保護猫活動に参加していました。活動の大変さは理解しています。今からも協力していけることがあれば関わりたいと思っています。
88	男性	40～49歳	筑後	近所の野良猫は、我が家の敷地内で糞をしたり、ゴミを漁ったり、倉庫で寝泊まりしたりして迷惑している。しかも毎年違う猫を見るため、どこかで繁殖していると思われます。動物愛護協会が、望まぬままに生まれてくる猫は不幸と解釈するのは人間のエゴだし、人が望んでいようが望んでなからうが、猫は本能で生むわけだから、生命の誕生は自然の摂理だと思います。猫の繁殖力が高いのは、もともと自然環境で生き残る個体が少ないのと、腎臓病が多いため生存期間が短いためだと思います。どこかの大学教授が猫の腎臓病を少なくする研究をされてありますが、そうすればますます猫の個体数は減らないのではないかと思います。また、殺処分状況の統計資料を見ましたが、殺処分が減っているのは、生活環境の変化等によって生息地域が減少しているのが一番の理由であり、保護活動が始まってから急激に減少してはいません。けれども長生きできるように必要以上に人間が手助けしてしまうと逆に個体数が増えていくのではないかと懸念しています。こういうことは自然に任せていくのがいいのではないのでしょうか？
89	男性	70歳以上	筑後	殺処分はできるだけ避けたいが、引き取り手のない動物がある以上、最低限の処分はやむを得ない。
90	男性	40～49歳	筑後	保健所の犬と猫の取り扱いが異なると聞いたので、同一にしてほしい
91	女性	50～59歳	筑後	飼い主のいない猫を近隣の方がよかれと思って餌をあげていることに、現に大変迷惑をこうむっています。飼い猫ではない野良猫の飼い方、野良猫は新しい飼い主を見つけることができるということを周知してほしい。野良猫へのやさしさのつもりが、地域の迷惑の部分もあることを知ってほしい。自分の気持ちだけで野良猫に餌をやることで、近隣は金銭面、精神面でもかなり家族で大変な目にあっていることがわからないようです。トラブルを避けるためにある程度のつきあいをしていますが、やんわり説明して、その方以外のご家族はわかってくださいますが、家族から言われても結局本人はやめることはできないようです。
92	女性	50～59歳	筑後	飼い主のいない猫がいるのですが去勢手術を受けさせたくても、野良猫なので警戒心が強くて捕まえることができません。そのようなときはどうしたらいいのか知りたいです。ぜひ、かわいそうな猫や犬を救っていきたいのでわたしにも出来ることがあれば教えていただきたいです。
93	男性	60～69歳	筑後	譲渡会の拡充はもっともっと広げるべきだと思いますが新しい飼い主にはある程度の責任を負う事をしっかり説明教育する必要があると思います。
94	女性	40～49歳	筑後	外で餌だけやっている人が、子猫が生まれたら殺すのが辛い。避妊手術が誰でも手軽にできるように周知して欲しい
95	女性	70歳以上	筑後	犬・猫の屋外での糞の始末に地域としてこまっています。よい対策はありませんか？
96	男性	50～59歳	筑後	飼い主のいない猫や犬猫の譲渡に関する取組みについては反対の立場である。行政が資金を出してまでやる必要があるのか疑問である。そもそも野良猫・野良犬に関しては衛生上処分が好ましいと考える。また、飼えなくなった犬や猫も飼い主の責任において処分が適切だと考える。
97	女性	40～49歳	筑後	介護施設や放課後デイサービス等で、地域猫や犬等の動物をアニマルセラピーの一環として保護し、飼育してみるのはいかがでしょうかと思います。ご高齢の方や子ども達が動物と触れ合い、心が豊かになったり癒しの機会が得られ、生きる事に張りが出るのではないかと考えます。
98	男性	70歳以上	筑後	野良猫を捕獲保護してくれる団体、仕組みがあると良いと思います。

番号	性別	年代	地区	内容
99	女性	40～49歳	筑後	「自分が高齢だから高齢犬を引き取って最後を看取ってあげたい」と言っていた方を知っていますが、自身の年齢を理由に断られたそうです。再度世話を放棄される可能性を低くするために条件を厳しくするのはわかりませんが、なんだかかな…と思いました。
100	男性	20～29歳	筑後	猫の繁殖量は恐ろしいもので猫が溢れているのはとても感じるが人口減少のいま人は減り、猫は増え、もっと根本的な所を見直した方が良いと思う。
101	男性	40～49歳	筑後	保護犬をTVで育てるような番組があるが反応が良いように思う。 TVが難しいならYouTubeなどで紹介する番組をつくると良いかと思う。 人気のあるインフルエンサーをつかい広めるとよい。
102	男性	50～59歳	筑後	超高齢化に伴う「多死社会」が到来し、飼い主のいないペットはますます増えていくとみられます。そうした未来を想定した場合、愛護センターは県内に複数あったほうが望ましいのではないのでしょうか。理想は福岡、北九州、筑豊、筑後にそれぞれ一つずつですが、予算の関係上そうもいきません。古賀市は福岡都市圏、北九州圏からアクセスしやすいので、将来的に筑後地区にセンターの関連施設(窓口機関)を設けることを提案します。
103	女性	60～69歳	筑後	譲渡の場面にも遭遇した事がありますが、全体的に清潔感がない。 近づけるムードがない。
104	女性	70歳以上	筑後	人間に対して凶暴になっている犬猫に対する矯正機関の充実。
105	女性	70歳以上	筑後	殺処分などの現状を広まりこの取り組みが理解されて、活動の支援や譲渡会の回数が増えたらよいです。

<県産農林水産物の認知度について>

【調査の目的】

福岡県には高品質で美味しい農林水産物がたくさんあります。それらの銘柄の認知度や購入動機等についてのご意見をお聴きし、今後の行政施策の参考とさせていただきます。

【活用状況】

農林水産物のブランド化のための事業効果を把握するため等の基礎資料として活用します。

(農林水産部 園芸振興課)

1 (1) 県産農林水産物の銘柄(果実・野菜)で知っているものを選んでください。  
(今年度調査 n=370 複数回答可 回答件数=2,413)

県産農林水産物の銘柄(果実・野菜)		割合(今年度)	人数(今年度)
1	いちじく「福岡のいちじく」	33.5%	(124名)
2	いちじく「とよみつひめ」	60.0%	(222名)
3	いちご「博多あまおう」	97.6%	(361名)
4	みかん「福岡みかん」	36.8%	(136名)
5	みかん「北原早生(きたはらわせ)」	5.7%	(21名)
6	みかん「早味かん(はやみかん)」	31.9%	(118名)
7	ぶどう「福岡ぶどう」	17.6%	(65名)
8	なし「福岡なし」	14.1%	(52名)
9	なし「玉水(ぎよくすい)」	35.1%	(130名)
10	柿「福岡のかき」	34.6%	(128名)
11	柿「秋王」	57.0%	(211名)
12	キウイフルーツ「福岡のキウイフルーツ」	19.7%	(73名)
13	キウイフルーツ「甘うい(あまうい)」	15.1%	(56名)
14	もも「福岡のもも」	8.9%	(33名)
15	すもも「福岡のすもも」	4.9%	(18名)
16	なす「博多なす」	36.8%	(136名)
17	ねぎ「博多万能ねぎ」	64.3%	(238名)
18	トマト「博多のトマト」	19.5%	(72名)
19	レタス「福岡レタス」	12.7%	(47名)
20	なばな「博多な花おいしい菜」	7.0%	(26名)
21	きゅうり「博多きゅうり」	12.4%	(46名)
22	アスパラガス「博多アスパラガス」	8.1%	(30名)
23	蕾菜「博多蕾菜」	9.5%	(35名)
24	ブロッコリー「博多ブロッコリー」	8.9%	(33名)
25	知らない	0.5%	(2名)
		無回答	0.0% (0名)

※参考 回答品目数の平均 (年代・男女別)

	全世代			18~19歳			20~29歳			30~39歳			40~49歳			50~59歳			60~69歳			70歳以上	
	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性	女性	男性		
人数	189	178	3	5	5	22	20	1	29	31	39	37	2	35	29	40	36	19	20				
品目数	7.6	5.3	10.3	3.2	3.0	5.1	4.7	13.0	5.2	4.3	6.4	4.8	9.0	9.7	6.7	9.6	5.6	9.5	6.8				

1 (2) 県産農林水産物の銘柄(米・食肉等)で知っているものを選んでください。  
(今年度調査 n=370 複数回答可 回答件数=2,803)

県産農林水産物の銘柄(米・食肉等)		割合(今年度)	人数(今年度)
1	米「夢つくし」	92.4%	(342名)
2	米「元氣つくし」	86.2%	(319名)
3	ラーメン用小麦「ラー麦」(「ラー麦」を使用したラーメン)	49.2%	(182名)
4	大豆「ふくよかまる」	22.7%	(84名)
5	しめじ「博多ふなしめじ」	52.4%	(194名)
6	えのきだけ「博多えのき」	26.8%	(99名)
7	ぬめりすぎたけ「博多すぎたけ」	3.2%	(12名)
8	「県産たけのこ」	18.1%	(67名)
9	「県産しいたけ」	14.3%	(53名)
10	緑茶「福岡の八女茶」	81.9%	(303名)
11	緑茶「八女伝統本玉露」	41.1%	(152名)
12	畳表「博多華織(はかたかおり)」	14.3%	(53名)
13	「福岡花ござ」	11.6%	(43名)
14	鶏肉「はかた地どり」	68.6%	(254名)
15	鶏肉「はかた一番どり」	76.5%	(283名)
16	牛肉「博多和牛」	37.3%	(138名)
17	牛肉「福岡牛」	11.1%	(41名)
18	豚肉「博多すい〜とん」	8.9%	(33名)
19	獣肉「ふくおかジビエ」	8.9%	(33名)
20	「県産牛乳」	31.1%	(115名)
21	知らない	0.8%	(3名)
		無回答	0.0% (0名)

※参考 回答品目数の平均 (年代・男女別)

	全世代			18~19歳			20~29歳			30~39歳			40~49歳			50~59歳			60~69歳			70歳以上	
	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性	女性	男性		
人数	189	178	3	5	5	22	20	1	29	31	39	37	2	35	29	40	36	19	20				
品目数	8.3	6.7	10.3	5.8	3.2	6.7	6.6	8.0	6.4	6.5	8.7	6.7	11.5	9.2	8.4	9.2	6.4	9.6	6.2				

1 (3) 県産農林水産物の銘柄 (水産) で知っているものを選んでください。  
 (今年度調査 n=370 複数回答可 回答件数=1,634)

県産農林水産物の銘柄 (水産)	割合 (今年度)	人数 (今年度)
1 「福岡有明のり」	75.7%	(280名)
2 「豊前海一粒かき」	46.2%	(171名)
3 「糸島カキ」	73.2%	(271名)
4 「唐泊恵比須かき (からとまりえびすかき)」	16.2%	(60名)
5 「津屋崎干軒かき」	7.6%	(28名)
6 「若松妙見かき」	4.9%	(18名)
7 「豊前本ガニ」	16.8%	(62名)
8 「鐘崎天然とらふく」	18.9%	(70名)
9 「カナトフグ」	21.9%	(81名)
10 「一本槍 (いっぽんやり)」 (釣りケンサキイカ)	13.8%	(51名)
11 「博多もずく」	18.1%	(67名)
12 「糸島産ふともずく」	7.8%	(29名)
13 「あかもく」	43.5%	(161名)
14 「弘わかめ (ひろわかめ)」	7.0%	(26名)
15 「金印汐わかめ (きんいんしおわかめ)」	7.3%	(27名)
16 「筑前海加布里産天然ハマグリ (ちくぜんかいかふりさんてんねんはまぐり)」	3.2%	(12名)
17 「釣りあじ玄ちゃん」	8.9%	(33名)
18 「特鮮本鱈」 (とくせんほんざわら)	2.2%	(8名)
19 「関門海峡たこ」	27.0%	(100名)
20 アカウニ「海士の糧 (あまのきわみ)」	3.0%	(11名)
21 「スイゼンジノリ」	11.9%	(44名)
22 知らない	6.5%	(24名)
無回答	0.0%	(0名)

※参考 回答品目数の平均 (年代・男女別)

	全世代			18～19歳			20～29歳			30～39歳			40～49歳			50～59歳		60～69歳		70歳以上	
	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	女性	男性		
人数	189	178	3	5	5		22	20	1	29	31		39	37	2	35	29	40	36	19	20
品目数	4.6	4.2	3.7	1.6	1.4		2.5	3.2	1.0	3.4	3.8		4.8	4.1	5.0	5.3	4.8	5.6	5.0	6.2	4.5

2 生鮮食料品を購入するとき、一番重要視することは何ですか。

(今年度調査 n=370 選択は1つのみ)

生鮮食料品を購入するとき、一番重要視すること	割合(今年度)	人数(今年度)
1 鮮度(色つやなど)	44.1%	(163名)
2 産地(国内産、県内産など)	26.5%	(98名)
3 銘柄(例えば、魚沼産のコシヒカリ、松阪牛など)	2.2%	(8名)
4 栽培方法(有機栽培や減農薬栽培など)	2.2%	(8名)
5 価格	24.9%	(92名)
6 その他(次の設問で具体的に記入してください)	0.3%	(1名)
無回答	0.0%	(0名)

3 販売価格が上昇しても購入したいと思える農林水産物はどのようなものですか。

(今年度調査 n=370 3つまで回答可 回答件数=847)

販売価格が上昇しても購入したいと思える農林水産物	割合(今年度)	人数(今年度)
1 高い品質をもつ農林水産物	21.8%	(185名)
2 有名ブランドの農林水産物	5.5%	(47名)
3 メディア等で話題の農林水産物	2.5%	(21名)
4 販売価格が上昇した中でも、比較的安価な農林水産物	22.6%	(191名)
5 県産の農林水産物	10.2%	(86名)
6 愛着がある産地の農林水産物	8.1%	(69名)
7 環境負荷に配慮された農林水産物	3.2%	(27名)
8 安全・安心な農林水産物	25.6%	(217名)
9 その他(次の設問で具体的に記入してください)	0.5%	(4名)
無回答	0.0%	(0名)

[その他]

- ・鶏の平飼いなどアニマルウェルフェアを取り入れている商品です。 ・いつも食事に並ぶ米肉野菜は購入する。
- ・しかたなく使う物 ・おいしいもの。

4 県産農林水産物の認知度向上のために効果的と思われるものを選んでください。

(今年度調査 n=370 複数回答可 回答件数=1,286)

県産農林水産物の認知度向上のために効果的と思われるもの	割合(今年度)	人数(今年度)
1 イベントでの試食、展示、販売等	23.2%	(298名)
2 卸売市場や量販店での知事によるトップセールス(試食宣伝)	8.7%	(112名)
3パンフレット、リーフレット等のPR資料の配布	7.2%	(92名)
4 ポスターの掲示	6.5%	(84名)
5 宣伝用動画の放映等店頭でのPR	5.1%	(65名)
6 テレビCM、ラジオ番組でのPR	15.0%	(193名)
7 インターネット広告やSNS(フェイスブックなど)を活用したPR	12.9%	(166名)
8 ホテルや人気レストランと新メニューの開発・提供	8.4%	(108名)
9 大手食品企業、コンビニ、酒造会社等と連携した新商品の開発・販売	13.1%	(168名)
無回答	0.0%	(0名)

5 県産農林水産物に関するその他のご意見。

(今年度調査 n=370 選択は1つのみ)

	割合(今年度)	人数(今年度)
1 ある(次の設問で具体的に記入してください)	26.8%	(99名)
2 特になし	73.2%	(271名)
無回答	0.0%	(0名)

[その他(抜粋)]

- ・ブランド名を広めるにはテレビの影響が今でも一番強い。
- ・認知度はネットやコンビニで広告するのが広まりそうに思います。
- ・外国産の物が増えているので、今以上に県産物の良さを知ってもらいたいです。そのために、メディアやSNSを駆使して頂きたいと思います。
- ・今やいろんな物が値上げで買物も慎重になってます。人件費があがってるので物価上昇はある程度仕方ないとは思いますが。
- ・学校給食に地産地消の食材を使う。
- ・農林水産物においては、そこで働く人たちが生活できるように、きっちりと値上げをしていくことが必要だと思います。
- ・認知度を上げる方が必要で、県の後援でスーパーや量販店等で県産農林水産物の販売を実施してもらうとか、地道な活動が必要だと思います。
- また、現状、米だけが知事がコマーシャルに出て認知度の向上をされているが、そのほかの作物、水産物を宣伝したら、どうでしょうか。
- ・物価が上がっているのに、どうしても安いものに目が行くようになった。価格を何とかすることが出来れば、もっと知名度は上がると思う。
- ・県産であることの強み(味、輸送費低減により安価に提供可能)等をアピールしたほうがよいと思います。

## 令和6年度第6回県政モニターアンケート

(回答者構成)

項目		計		北九州	福岡	筑後	筑豊
		人数(人)	構成比				
総数	人数	364		91	188	55	30
	構成比		100.0%	25.0%	51.6%	15.1%	8.2%
性別	女性	186	51.1%	49	94	28	15
	男性	175	48.1%	40	93	27	15
	その他	3	0.8%	2	1	0	0
年代別	20代以下	48	13.2%	11	25	7	5
	30代	61	16.8%	16	31	11	3
	40代	79	21.7%	21	39	12	7
	50代	63	17.3%	15	34	11	3
	60代	75	20.6%	21	39	5	10
	70代以上	38	10.4%	7	20	9	2

モニター数 398人

回答数 364人

回収率 91.46%

実施期間 R6.12.6～R6.12.25

### 【回答結果の注意点】

- ・ 集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は、必ずしも100%にならない場合がある。
- ・ 2以上の回答（複数回答）を要する設問の場合、その回答比率の合計は、100%を超える場合がある。

## ＜自転車安全利用について＞

### 【調査の目的】

自転車は、通学、通勤、買い物などの身近な交通手段として、子供から高齢者まで幅広い年齢層に利用されています。

そのような中、自転車に関係する交通事故は毎年発生しているほか、自転車利用者の交通違反やマナーの悪さも問題となっています。

このため、本県では、「福岡県自転車の安全で適正な利用の促進及び活用の推進に関する条例」(以下「自転車条例」という(※1))において、自転車利用者の責務等を定めているほか、全国的に自転車利用者が加害者となる高額賠償事例が発生していることを踏まえ、自転車利用者等に「自転車損害賠償保険等(以下「自転車保険」という。)」の加入を義務付け(※2)しています。

また、令和5年以降、2年連続で自転車の新たなルールに関する道路交通法が施行され、令和5年4月に、自転車乗車用ヘルメットの着用が努力義務化、令和6年11月に、自転車の「走行中の携帯電話使用」や「酒気帯び運転及び幫助(※3)」に対して罰則が整備されました。

つきましては、今後の施策の参考とするため、自転車保険への加入状況、ヘルメット着用状況等についてお聞かせいただきます。

### 【活用状況】

- ・自転車保険への加入促進を始め、福岡県自転車条例の内容を広く県民に周知するための参考資料として活用。
- ・自転車乗車用ヘルメットの着用を促進するための参考資料として活用。
- ・効果的な広報啓発を行うための参考資料として活用。

(人づくり・県民生活部生活安全課)

※1 福岡県自転車の安全で適正な利用の促進及び活用の推進に関する条例では、県民が安心して暮らし、活力ある地域社会の実現に寄与するため、(1)自転車の安全利用の促進、(2)交通安全教育の充実、(3)自転車保険への加入義務化、(4)事故の際の負傷者の救護・警察への報告義務、(5)自転車の活用推進等を規定しています。

※2 自転車保険の加入義務の対象は、自転車利用者(未成年者を除く。)、未成年者を監護する保護者、自転車を業務で利用する事業者、自転車貸付業者です。

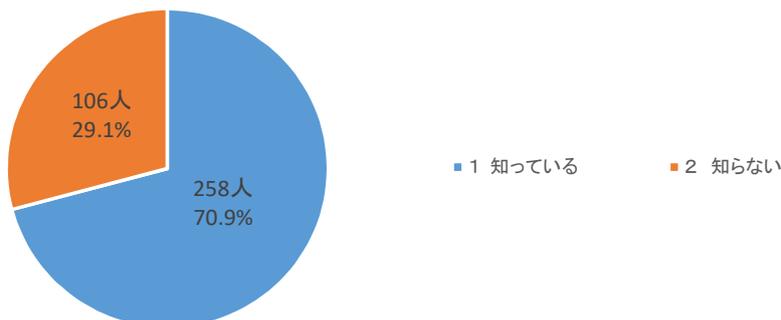
※3 ここでいう幫助とは、「酒類の提供や同乗・自転車の提供」をいいます。

問1 あなたは令和2年10月から、福岡県の自転車条例において、自転車保険への加入が義務化されていることを知っていますか。

次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

(n=364 選択は1つのみ)

1 知っている	70.9%	(258人)
2 知らない	29.1%	(106人)



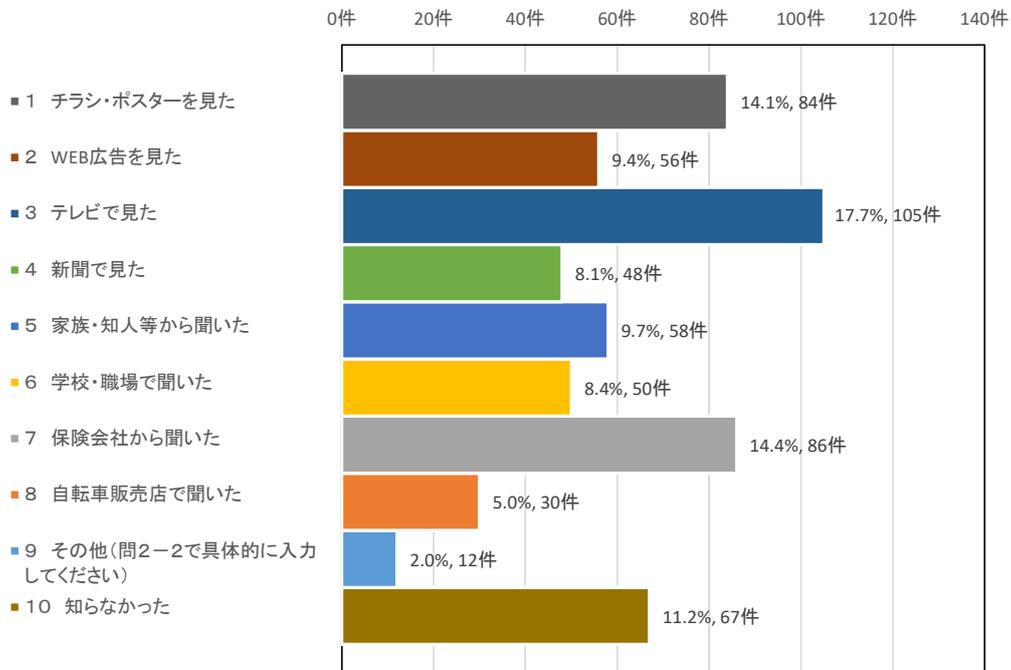
問2 自転車利用中の事故について、他人や他人の物に損害を与えた場合の被害者への賠償責任を補償する自転車保険には、「自転車保険」という名称が付いているものだけでなく、自動車保険や火災保険、傷害保険などに付帯しているものがあります。

あなたは、こういった自転車保険があることをどのように知りましたか。

次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

(回答件数596件、複数選択可)

1 チラシ・ポスターを見た	14.1%	(84件)
2 WEB広告を見た	9.4%	(56件)
3 テレビで見た	17.7%	(105件)
4 新聞で見た	8.1%	(48件)
5 家族・知人等から聞いた	9.7%	(58件)
6 学校・職場で聞いた	8.4%	(50件)
7 保険会社から聞いた	14.4%	(86件)
8 自転車販売店で聞いた	5.0%	(30件)
9 その他(問2-2で具体的に入力してください)	2.0%	(12件)
10 知らなかった	11.2%	(67件)



問2-2 問2で「9」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

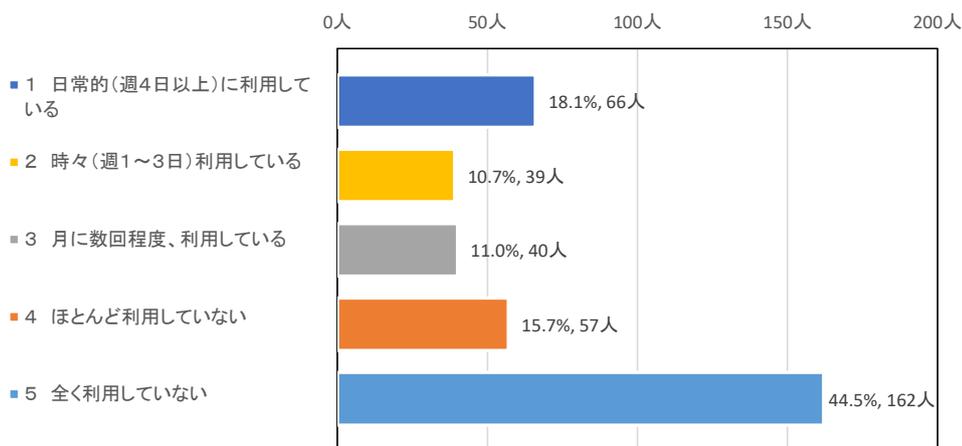
(回答件数12件)

<input type="checkbox"/> 他の保険の内容を見た際に知った	(4件)
<input type="checkbox"/> 自身が保険会社勤務であるため知っていた	(1件)
<input type="checkbox"/> ファイナンシャルプランナーなので、知識として知っていた	(1件)
<input type="checkbox"/> 該当商品のWEBサイトで見た	(1件)
<input type="checkbox"/> 免許更新時に知った	(1件)
<input type="checkbox"/> ネットニュースで知った	(1件)
<input type="checkbox"/> ラジオで知った	(1件)
<input type="checkbox"/> Youtubeで知った	(1件)
<input type="checkbox"/> 自分で調べた	(1件)

問3 あなた(同居家族を含む。)は、自転車を利用しますか。  
 次の中から最も当てはまるものを【1つだけ】選んでください。  
 ※同居家族がいる場合は最も利用している方を基準にお答えください。

(n=364 選択は1つのみ)

1 日常的(週4日以上)に利用している	18.1%	(66人)
2 時々(週1~3日)利用している	10.7%	(39人)
3 月に数回程度、利用している	11.0%	(40人)
4 ほとんど利用していない	15.7%	(57人)
5 全く利用していない	44.5%	(162人)

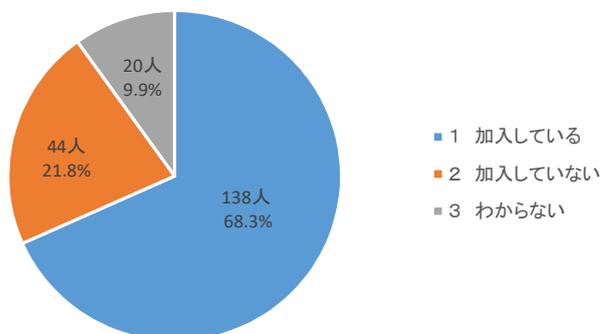


問3-2 (問3で「1~4」を選んだ方にお尋ねします。)

あなた(同居家族を含む。)は、自動車保険や火災保険、傷害保険などに付帯しているものも含め、自転車保険に加入していますか。  
 次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

(n=202 選択は1つのみ)

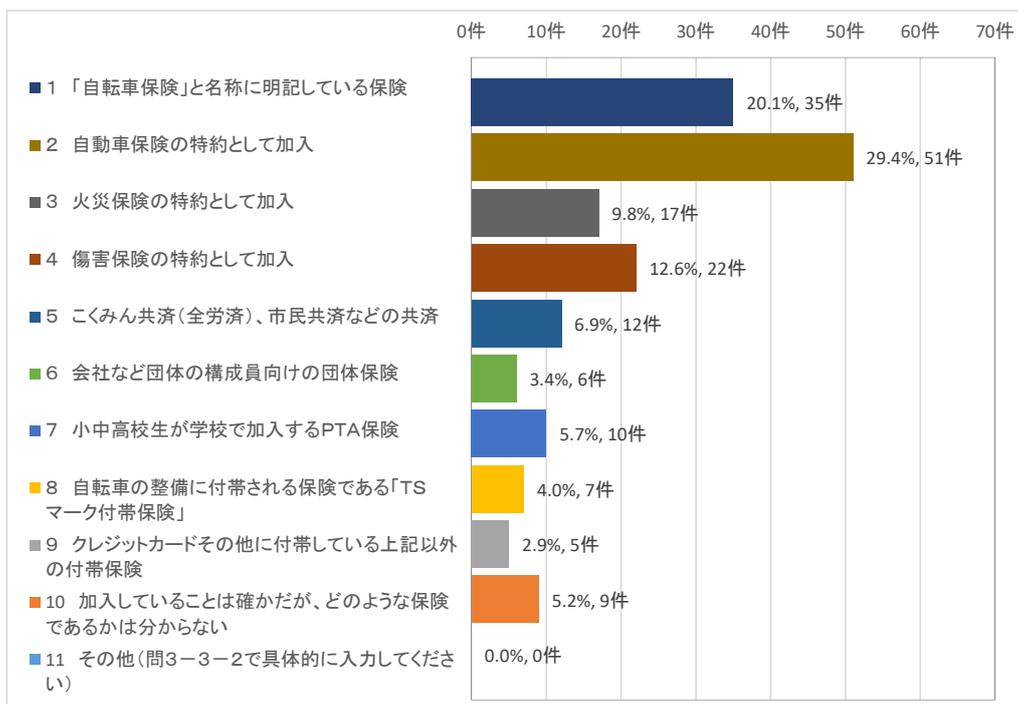
1 加入している	68.3%	(138人)
2 加入していない	21.8%	(44人)
3 わからない	9.9%	(20人)



問3-3（問3-2で「1」を選んだ方にお尋ねします。）  
 加入している保険の種類は何ですか。  
 次のの中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

（回答件数174件、複数選択可）

1 「自転車保険」と名称に明記している保険	20.1%	(35件)
2 自動車保険の特約として加入	29.4%	(51件)
3 火災保険の特約として加入	9.8%	(17件)
4 傷害保険の特約として加入	12.6%	(22件)
5 こくみん共済(全労済)、市民共済などの共済	6.9%	(12件)
6 会社など団体の構成員向けの団体保険	3.4%	(6件)
7 小中高校生が学校で加入するPTA保険	5.7%	(10件)
8 自転車の整備に付帯される保険である「TSマーク付帯保険」	4.0%	(7件)
9 クレジットカードその他に付帯している上記以外の付帯保険	2.9%	(5件)
10 加入していることは確かだが、どのような保険であるかは分からない	5.2%	(9件)
11 その他(問3-3-2で具体的に入力してください)	0.0%	(0件)



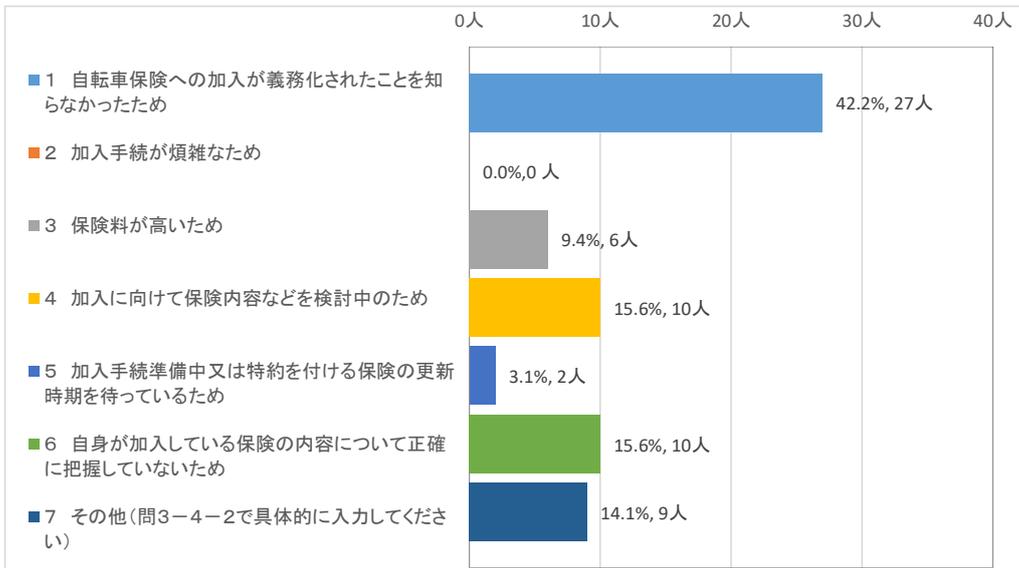
問3-3-2 問3-3で「11」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

（回答件数0件）

問3-4 問3-2で「2」又は「3」を選んだ方にお尋ねします。）  
 自転車保険に加入していない、又は加入しているかどうか分からない理由は何ですか。  
 次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

(n=64 選択は1つのみ)

1 自転車保険への加入が義務化されたことを知らなかったため	42.2%	(27人)
2 加入手続きが煩雑なため	0.0%	(0人)
3 保険料が高いため	9.4%	(6人)
4 加入に向けて保険内容などを検討中のため	15.6%	(10人)
5 加入手続準備中又は特約を付ける保険の更新時期を待っているため	3.1%	(2人)
6 自身が加入している保険の内容について正確に把握していないため	15.6%	(10人)
7 その他(問3-4-2で具体的に入力してください)	14.1%	(9人)



問3-4-2 問3-4で「7」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

(n=9)

○レンタサイクルを利用しているため	(4人)
○一緒に暮らしている息子の分も含めて加入できているかわからない	(1人)
○ほとんど乗らないため	(2人)
○自動車保険に付帯していたか外したか忘れてしまったため	(2人)

問3-5（問3で「1~4」を選んだ方にお尋ねします。）

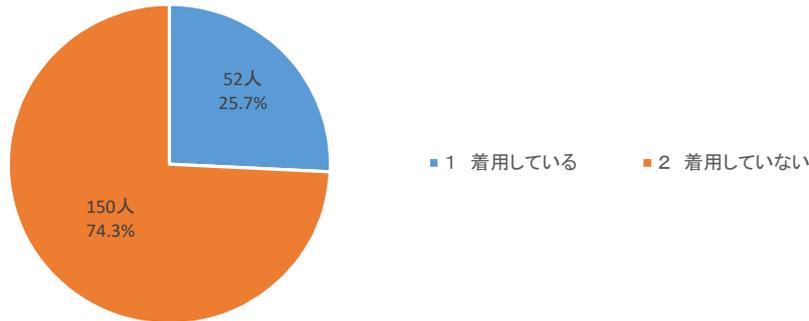
令和5年4月の道路交通法改正により全ての自転車利用者の乗車用ヘルメットの着用が努力義務となっています。

あなた（同居家族を含む。）は、自転車利用の際にヘルメットを着用していますか。

次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

(n=202 選択は1つのみ)

1 着用している	25.7%	(52人)
2 着用していない	74.3%	(150人)



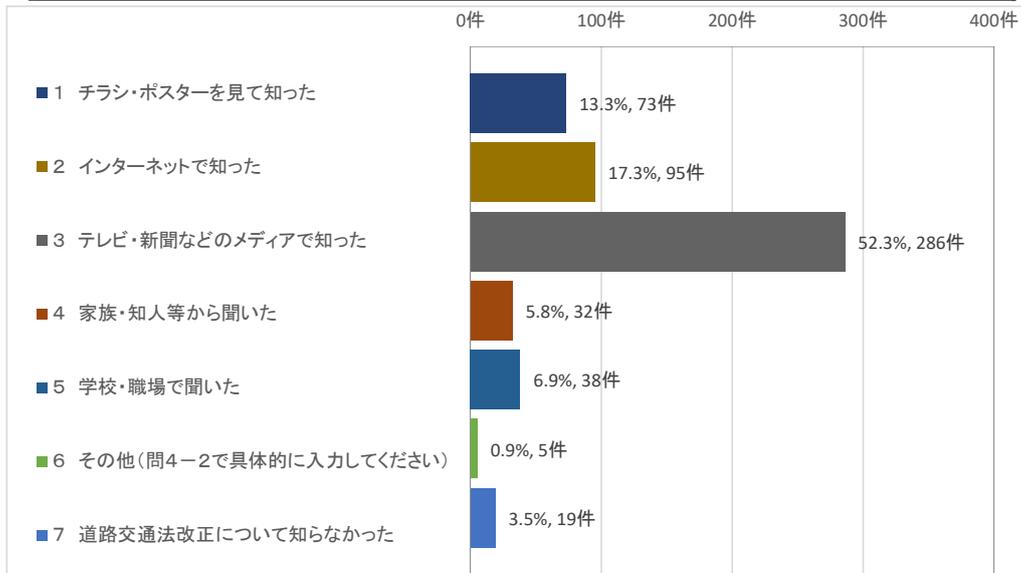
問4 道路交通法の改正（令和6年11月1日施行）により、自転車の「走行中の携帯電話使用」や「酒気帯び運転及び幫助」に対し、罰則が整備されました。

あなたは、このことについてどのように知りましたか。

次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

(回答件数548件、複数選択可)

1 チラシ・ポスターを見て知った	13.3%	(73件)
2 インターネットで知った	17.3%	(95件)
3 テレビ・新聞などのメディアで知った	52.3%	(286件)
4 家族・知人等から聞いた	5.8%	(32件)
5 学校・職場で聞いた	6.9%	(38件)
6 その他(問4-2で具体的に入力してください)	0.9%	(5件)
7 道路交通法改正について知らなかった	3.5%	(19件)



問4-2 問4で「6」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

(回答件数5件)

○免許更新時に知った	(4件)
○XなどのSNSで知った	(1件)

問5 自転車の安全利用について、これまでの設問以外に意見はありますか。  
ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

※主な意見(抜粋)

<p>自動車で左折時、横断歩道をすごいスピードで自転車が通っており、気をつけているが、ヒヤッとする場面があった。自転車は、横断歩道は下りて押して渡ると認識していたが、そういう方はほほいなし。小、中学生も同様である。学校での安全教室の徹底を望む。自転車購入時に、自転車のマナーなどの冊子を配り全て読んでからの購入もありかと思う。</p>
<p>ヘルメットを着用していない子ども、高校生などを未だによく見かける。教育現場で今までもされていると思うが、更に安全利用について指導してほしいと思う。</p>
<p>自転車用道路の整備をお願いしたい。特に田舎では歩行と自転車用道路の混在で事故が多々ある。</p>
<p>ヘルメットの利用について進んでいないのであれば、補助してやるとかの施策を考えられないか。</p>
<p>自転車は車両であるが、利用者はどうしても歩行者としての意識で利用していることが多い様に感じる。公道で自転車を利用する場合は、講習会受講を努力義務化し受講証を発行するなど、警察・自治体が主導していくことも必要だと感じる。</p>
<p>自転車専用道路が増えるといいと思う。 車道を走る自転車は危なそうだといつも思う。</p>
<p>小学校で月に1回は自転車講習をしてほしい。小学生が横断歩道のない道にも飛び出してくるので怖い。</p>
<p>保険やヘルメットの義務化も大事だと思うが、幼児から高校生くらいまでの交通ルールを遵守することの大切さや事故の悲惨さ、多列になって走行することの危険性や迷惑行為となっていることなど、利用する人間の教育の頻度や質をあげることのほうが重要だと思う。 保険やヘルメットは、あくまでも事故が起こる前提もしくは起こった後の対策である。 事故を未然に防ぐために、自動車のドライバーはもちろんであるが、それ以上に歩行者や自転車側が自分の命を守ることを大切を、もっと毎日のように教育機関などで取り組んでほしい。</p>
<p>自転車利用者のマナーの悪さが目立つ。スマホながら運転、歩道でのスピード走行、夜間時の無灯火運転。歩行者へ影響を及ぼすことを考えてほしい。ヘルメット着用を含め、しっかり罰則規程を設けて貰いたい。</p>
<p>自動車免許を持っていない人や外国の人にとっては、標識等分からないことが多いと思う。福岡は自転車に乗る人が多いため、ただ厳しくなるだけでなく、ルール等学べる機会があっても良いと思う。</p>
<p>自転車に乗車する方に対しても、自動車同様交通ルールに関する簡単なルール講座を受講するシステムがあると良いと思う。</p>
<p>自転車に乗る方の意識の低さを感じる。お酒を飲んで平気で自転車を運転したり、イヤホン付けたまま運転したり、信号無視を平気でしたりなど、決して安全とは言えないのが現状だと思う。数年に一度研修制度を設けるなりしないといけないと感じる。</p>
<p>保険未加入及びヘルメット未着用に罰則を設けてほしい。</p>

<p>自身が学生の時は、ヘルメットがゴツく不恰好に見えたので、被っている＝格好が悪いというイメージがあったが、今は随分と見た目もスタイリッシュで被るのに抵抗がなくなってきたように思う。車のシートベルトのように命を守るための大切な道具だともっと園や学校での周知を深めて欲しい。</p>
<p>近年自転車に関する新たなルールが追加されたこともあり、人々の意識の向上、ルールの周知のためにも、引き続き啓発活動が重要と考える。また、心と時間にゆとりをもって運転する事が大切だと思う。</p>
<p>地方都市は公共交通機関が限られているので、自転車の使用は特に学生にとっては必須の手段である。道交法の厳罰化は賛成だが、まだ知らない人も多数いるので利用者への周知徹底に努めてほしい。</p>
<p>そもそも基本的な交通ルールを守らない自転車走行が横行していると、自動車を運転している時だけでなく、道を歩いている時などでも日常的に感じる。子供の頃からの教育、運転免許証の更新時など、色々な機会を使って、安全走行の啓蒙に力を入れるべきと思う。</p>
<p>自転車専用道路があっても歩道を走る自転車がまだまだ多いため、私たちがベビーカーを連れて歩道を歩く際に危険を感じる。もっと自転車専用通路の周知をして欲しいと思っている。</p>
<p>歩行者の間をぬっていきような危険運転をしている自転車を多く見かけるので、自転車が自動車と同じ、車両であることを周知することも必要なかなと思う。</p>
<p>危険運転をしている人を度々みかけるので、条例ができてよかったと思う。 ただ、この条例を知らない人が多数いるように感じる。 もう少し積極的に広報した方がよいのではと思う。</p>
<p>外国人の方に交通ルール、マナー、保険のこと等を周知していただきたい。</p>
<p>保険について義務化するのであれば、自動車と同様に、購入時に保険に加入させる、あるいは保険に加入していることが確認されなければ自転車を購入できない、などとすべき。</p>
<p>車にも保険加入のシールが貼られてるので、自転車にもわかる様なシールを貼って、乗っている人がちゃんと加入してますよって言うのがわかる様にしたら良いと思う。</p>
<p>自転車保険の必要性及び自転車事故の悲惨さをなお一層啓蒙して欲しい。</p>
<p>日常的に自転車に乗っており、ヘルメットをかぶらなければならないことは知っているが、私用がある際に自転車に置きっぱなしにもできないし、持って行くことも難しい。</p>
<p>ドライバーの立場から見ると、一時停止もせずに道路に出てきたり、右側通行や後方確認もしないで進路変更と、ヒヤリハットが多く、自転車も交通ルールを遵守するよう求めたい。</p>
<p>テレビで最近取り出されていて、ぶつかって死亡させてしまう事もあるかもしれないと知り、息子の運転がまだ危ういので怖いなと思っている。</p>
<p>自転車には、環境対策・健康増進・利便性など、多くのメリットがあると思う。自転車の安全確保のための法整備が進むことはよいことだが、市民が自転車の利用を過度に躊躇することにならないようにご配慮をお願いしたい。</p>
<p>自動車を運転している際に感じる事として、自転車は車両である事を失念または自己都合で歩行者と同じと考えている使用者が多いと思う。 又、雨天時での傘さし運転等も散見される。自転車といえども死亡事故になりえる事を自覚してほしい。</p>
<p>自転車事故は加害者のモラルに起因するものが多く、未然に防げるものだと思う。個人的には、もっと罰則規定を強化して、自転車は使い方によっては凶器となり得る事を多くの人に再認識してほしいと思う。</p>
<p>通勤・通学、通院、買い物、観光(レジャー)…など、自転車の使用・利用については地域差がある。ヘルメットの着用も含め、一義的にルールを押し付けるのではなく、住民の意見をふまえながら(コンセンサスを得ながら)自転車の安全な乗り方を考えていくべきだと考えている。</p>

## 《 障がいを理由とする差別の解消について 》

### 【調査の目的】

福岡県では、障がいのある人もない人も、分け隔てられることなく、互いに、その人らしさを認め合いながら共に生きる社会、共生社会の実現を目指し、平成29年に「福岡県障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例」を制定しました。

この条例では、全ての人に対し、障がいを理由とする差別の解消と、障がいのある人への合理的配慮の提供(※1)を行うことを求めており、県では、その実現に向けて取組を行っています。

これらの周知状況等について県民の皆さまの御意見をお聴かせいただき、今後、取組を推進する上での参考とさせていただきます。

### 【活用状況】

・福岡県障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例の内容を広く県民に周知するための参考資料として活用。

・効果的な広報啓発を行うための参考資料として活用。

(福祉労働部障がい福祉課)

### ※1「合理的配慮の提供」とは

障がいのある人から、社会の中にあるバリア(社会的障壁(※2))を取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応すること。

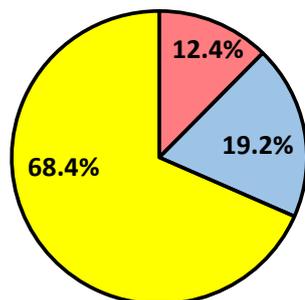
### ※2「社会的障壁」とは

日常生活又は社会生活を営む上で障壁となるような社会における事物、制度、慣行、観念、偏見その他一切のものごと。

問1 あなたは、「福岡県障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例」を知っていますか。  
次の中から【1つだけ】選んでください。

(回答者数364人 選択は1つのみ)

1 名称も内容も知っている	12.4%	(45人)
2 名称のみ知っている	19.2%	(70人)
3 知らない	68.4%	(249人)



■ 名称も内容も知っている

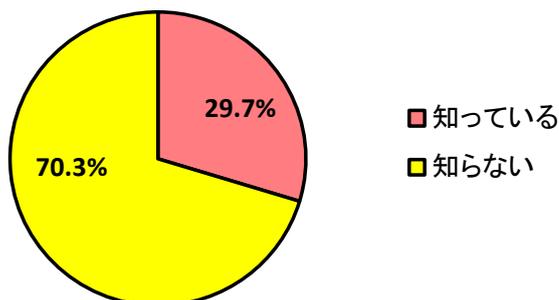
■ 名称のみ知っている

■ 知らない

問2 あなたは、条例でも規定されている「合理的配慮の提供」という考え方を知っていますか。  
次の中から【1つだけ】選んでください。

(回答者数364人 選択は1つのみ)

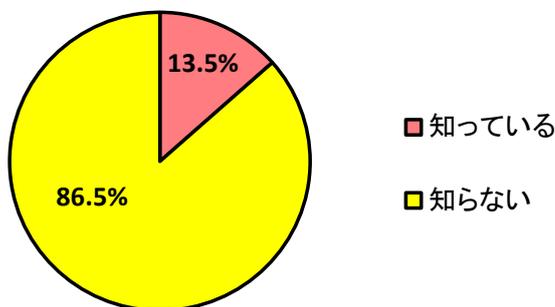
1 知っている	29.7%	(108人)
2 知らない	70.3%	(256人)



問3 あなたは、障がいを理由とする差別や合理的配慮の提供に関する相談を受け付けている「障がい者差別解消専門相談窓口」を県が設置していることを知っていますか。  
次の中から【1つだけ】選んでください。

(回答者数364人 選択は1つのみ)

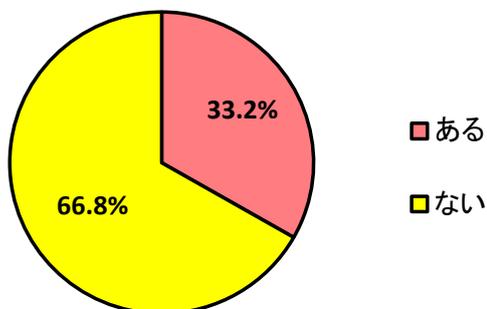
1 知っている	13.5%	(49人)
2 知らない	86.5%	(315人)



問4 あなたは、過去1年間で、障がいのある人に支援や配慮をしたことがありますか。  
次の中から【1つだけ】選んでください。

(回答者数364人 選択は1つのみ)

1 ある	33.2%	(121人)
2 ない	66.8%	(243人)



(問4で「1」を選んだ方にお尋ねします。)

問4-2 どのような支援や配慮をしたか、その内容を具体的に入力してください。

〔抜粋〕

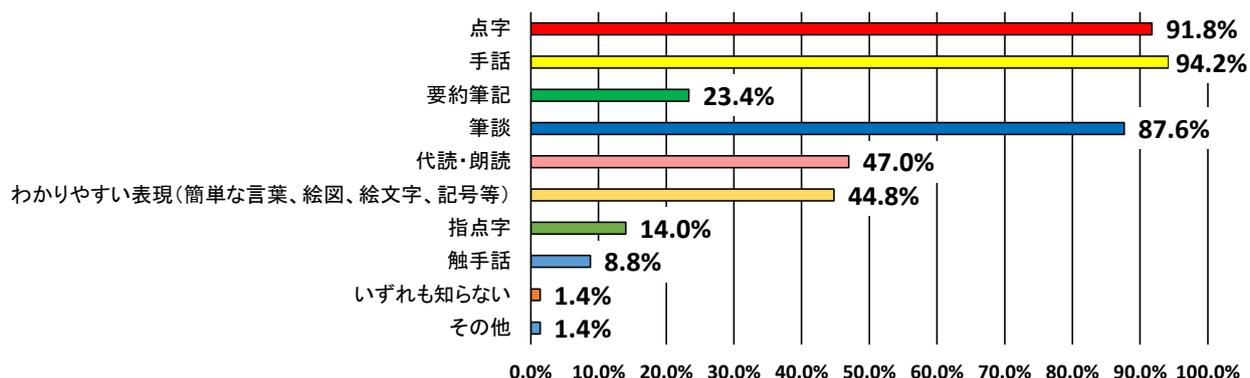
- ・ 目の不自由な方のバス乗車の手助けをした。
- ・ 知的障がいがある方へ仕事の説明をする際に、言葉で説明するだけでなく、紙に順序を書いて説明した。また、作業フローを簡単に、目で見分けるように色使いなど工夫した。
- ・ 様々な障がいを持ったお客様が来店されるため、筆談等の際に使用する電子メモパッドを用意した。

問5 障がいのある人とコミュニケーションをとるときに使われる手段や配慮を知っていますか。  
あなたが知っているものを【全て】選んでください。

(回答者数364人 回答件数1,508件 複数回答可)

1	点字	91.8%	(334人)
2	手話	94.2%	(343人)
3	要約筆記	23.4%	(85人)
4	筆談	87.6%	(319人)
5	代読・朗読	47.0%	(171人)
6	わかりやすい表現(簡単な言葉、絵図、絵文字、記号等)	44.8%	(163人)
7	指点字	14.0%	(51人)
8	触手話	8.8%	(32人)
9	いずれも知らない	1.4%	(5人)
10	その他	1.4%	(5人)

※回答者364人に対する割合

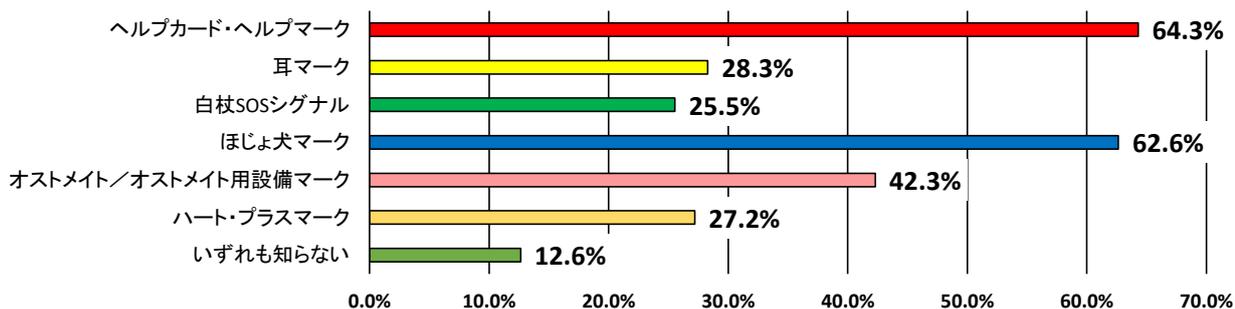


問6 あなたは、次のマーク等を知っていますか。知っているものを【全て】選んでください。

(回答者数364人 回答件数957件 複数回答可)

1	ヘルプカード・ヘルプマーク	64.3%	(234人)
2	耳マーク	28.3%	(103人)
3	白杖SOSシグナル	25.5%	(93人)
4	ほじょ犬マーク	62.6%	(228人)
5	オストメイト／オストメイト用設備マーク	42.3%	(154人)
6	ハート・プラスマーク	27.2%	(99人)
7	いずれも知らない	12.6%	(46人)

※回答者364人に対する割合



## 1 ヘルプカード・ヘルプマーク

義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることができるマークです。



(ヘルプカード)



(ヘルプマーク)

## 2 耳マーク

聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークです。



## 3 白杖SOSシグナル

白杖を頭上50cm程度に掲げてSOSのシグナルを示している視覚障がいのある人を見かけたら、進んで声をかけて支援しようという「白杖SOSシグナル」運動の普及啓発シンボルマークです。



## 4 ほじょ犬マーク

公共の施設、交通機関、民間施設での補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)の受け入れを義務付けている身体障害者補助犬法の啓発のためのマークです。



## 5 オストメイト／オストメイト用設備マーク

オストメイトとは、がんなどで人工肛門・人工膀胱を造設している人のことをいいます。  
このマークはオストメイトである事と、オストメイトの為の設備(オストメイト対応のトイレ)



## 6 ハート・プラスマーク

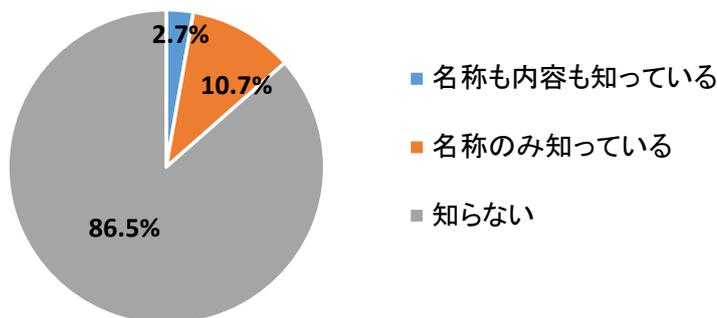
「身体内部に障がいがある人」を表しています。身体内部(心臓、呼吸機能、じん臓、膀胱・直腸、小腸、肝臓、免疫機能等)に障がいがある人は外見からは分かりにくい  
ため、様々な誤解を受けることがあります。  
内部障がいのある人の中には、電車などの優先席に座りたい、障がい者用駐車スペースに車を止めたい、といったことを希望していることがあります。



問7 あなたは、「福岡県手話言語条例」を知っていますか。  
次の中から【1つだけ】選んでください。

(回答者数364人 選択は1つのみ)

1 名称も内容も知っている	2.7%	(10人)
2 名称のみ知っている	10.7%	(39人)
3 知らない	86.5%	(315人)



問8 障がい者を理由とする差別の解消について、これまでの設問以外に意見がありますか。  
ある場合は、その内容を具体的に記入してください。

〔意見(抜粋)〕

【差別解消・合理的配慮】

- ・ 最近では、車椅子や歩行器等を使いながら、外出したり仕事や学校に行く方々が多くなり、当たり前の世の中になってきたと感じる。互いに思いやり、助け合いながら、気持ち良く日々の生活を送れる、ノーマライゼーションを基盤とした、良い社会であって欲しい。
- ・ 障がい者の偏見は昔より薄れてきたと思うが、健常者が手を貸して良いタイミングが難しい時もある。障がい者を理由に当たり前の生活をしたと思われている方が「手伝わなくて良いです」と思われることもあり、判断が難しい。
- ・ 事業者に対し、法令に基づく「合理的配慮」に関して周知があったが、具体的にどういった配慮やサポートをすべきなのかといったことに関しては個人の判断に任されている部分が多い。行政から研修などを受けさせてもらいたい。
- ・ ヘルプカードは多くの障がい者に普及してほしい。ないと配慮に行きつかないときがある。

【教育】

- ・ 小学校のときから、障がいのある人と交流機会を設けて欲しい。
- ・ 小学校、中学校のクラスに発達障がい、肢体不自由による障がいのある人が一緒に学べる環境、またそれを指導する教職員を増やして欲しい。教育環境の改善から障がい者を理由とする差別の解消が生まれると思う。

令和6年度  
県政モニターアンケート調査結果

テーマ: 県の観光振興について

福岡県 商工部 観光局 観光政策課

## 1. 調査の目的

観光は、関連する産業の裾野が広く、商工業、農林水産業をはじめ幅広い分野にわたって地域経済への波及効果をもたらします。人口減少、少子高齢化が進む中、観光振興に取り組むことにより、交流人口を拡大し、地域に消費と雇用を生み出すことは、地方創生の観点から重要です。

福岡県では、「福岡県観光振興指針」を策定し、観光振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、「つながる”福岡観光”」の実現を目指しています。

県民皆さまの御意見をお聞かせいただき、今後の本県の観光振興施策の参考とさせていただくため、調査を行いました。

## 2. 活用状況

今後の観光振興施策の基礎資料として活用します。

## 3. 調査時期

令和6年12月6日～令和6年12月25日

## 4. 回答者の構成

項目		計		福岡	北九州	筑後	筑豊
		人数	構成比				
総数	人数	364		188人	91人	55人	30人
	構成比		100.0%	51.6%	25.0%	15.1%	8.2%
性別	女性	186	51.1%	94人	49人	28人	15人
	男性	175	48.1%	93人	40人	27人	15人
	その他	3	0.8%	1人	2人	0人	0人
年代別	20代以下	48	13.2%	25人	11人	7人	5人
	30代	61	16.8%	31人	16人	11人	3人
	40代	79	21.7%	39人	21人	12人	7人
	50代	63	17.3%	34人	15人	11人	3人
	60代	75	20.6%	39人	21人	5人	10人
	70代以上	38	10.4%	20人	7人	9人	2人

## 5. 回答結果

### 【回答結果の注意点】

- ・集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある
- ・2以上の回答（複数回答）を要する設問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある

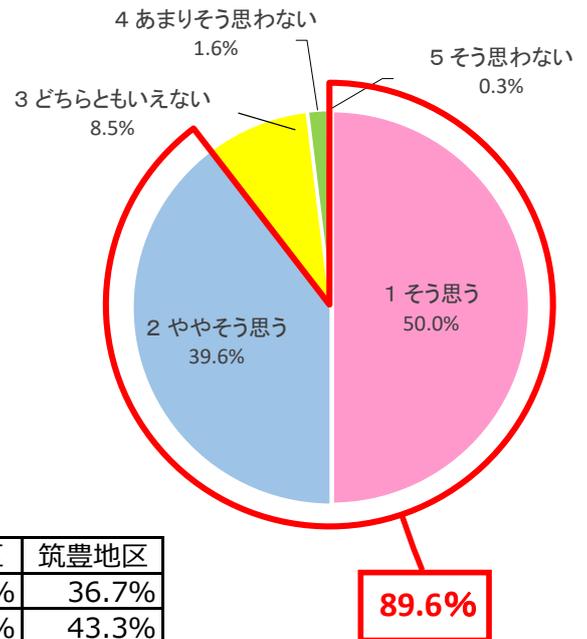
問1 福岡県は住民にとって暮らしやすいまちであると思いますか。  
(n=364、選択は1つのみ)

	人数	割合
1 そう思う	182人	50.0%
2 ややそう思う	144人	39.6%
3 どちらともいえない	31人	8.5%
4 あまりそう思わない	6人	1.6%
5 そう思わない	1人	0.3%

※赤字は割合が最も多いもの。

(参考：地区別内訳)

	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 そう思う	54.8%	50.5%	40.0%	36.7%
2 ややそう思う	37.8%	36.3%	49.1%	43.3%
3 どちらともいえない	5.3%	11.0%	9.1%	20.0%
4 あまりそう思わない	2.1%	1.1%	1.8%	0.0%
5 そう思わない	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



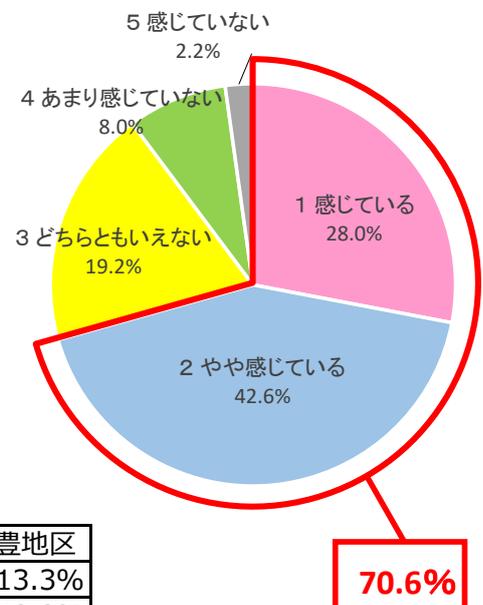
問2 観光振興による福岡県の活気を実感していますか。  
(n=364、選択は1つのみ)

	人数	割合
1 感じている	102人	28.0%
2 やや感じている	155人	42.6%
3 どちらともいえない	70人	19.2%
4 あまり感じていない	29人	8.0%
5 感じていない	8人	2.2%

※赤字は割合が最も多いもの。

(参考：地区別内訳)

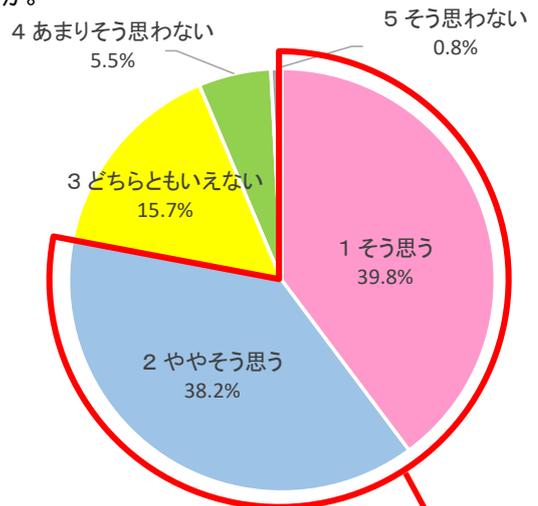
	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 感じている	36.7%	20.9%	18.2%	13.3%
2 やや感じている	38.8%	40.7%	60.0%	40.0%
3 どちらともいえない	18.1%	22.0%	14.5%	26.7%
4 あまり感じていない	5.3%	12.1%	5.5%	16.7%
5 感じていない	1.1%	4.4%	1.8%	3.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



問3 福岡県について、海外を含む他地域の人に紹介したいと思いますか。  
(n=364、選択は1つのみ)

	人数	割合
1 そう思う	145人	39.8%
2 ややそう思う	139人	38.2%
3 どちらともいえない	57人	15.7%
4 あまりそう思わない	20人	5.5%
5 そう思わない	3人	0.8%

※赤字は割合が最も多いもの。



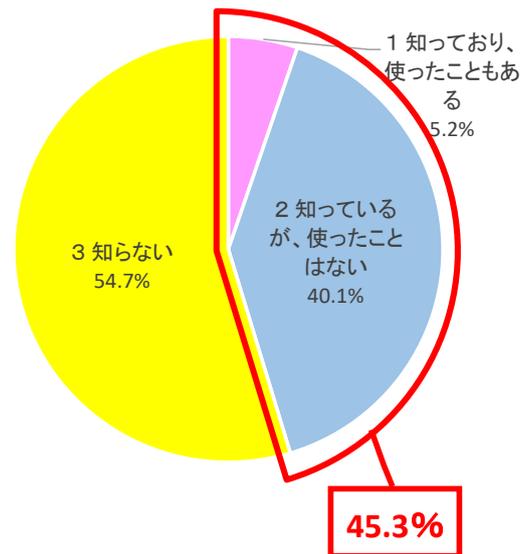
(参考：地区別内訳)

	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 そう思う	42.6%	37.4%	45.5%	20.0%
2 ややそう思う	38.3%	30.8%	36.4%	63.3%
3 どちらともいえない	13.3%	24.2%	10.9%	13.3%
4 あまりそう思わない	5.3%	6.6%	7.3%	0.0%
5 そう思わない	0.5%	1.1%	0.0%	3.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問4 ふくおかを楽しむバスツアー「よかバス」を知っていますか。  
(n=364、選択は1つのみ)

	人数	割合
1 知っており、使ったこともある	19人	5.2%
2 知っているが、使ったことはない	146人	40.1%
3 知らない	199人	54.7%

※赤字は割合が最も多いもの。



(参考：地区別内訳)

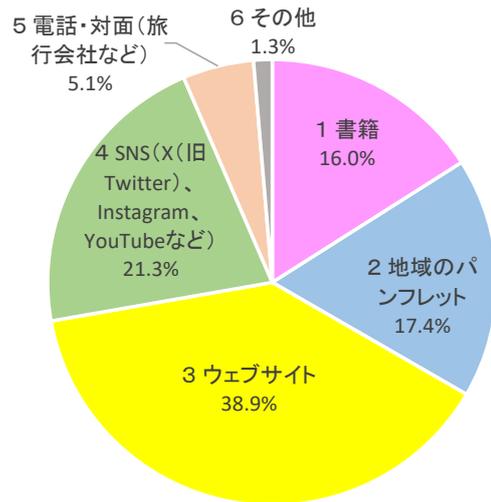
	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 知っており、使ったこともある	6.4%	2.2%	3.6%	10.0%
2 知っているが、使ったことはない	41.5%	34.1%	49.1%	33.3%
3 知らない	52.1%	63.7%	47.3%	56.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問5 旅行に行くとき、どのような方法で情報を集めますか。

(回答数=821、複数選択可)

	人数	割合
1 書籍	131人	16.0%
2 地域のパンフレット	143人	17.4%
3 ウェブサイト	319人	38.9%
4 SNS (X(旧Twitter)、 Instagram、 YouTubeなど)	175人	21.3%
5 電話・対面 (旅行会社など)	42人	5.1%
6 その他	11人	1.3%

※赤字は割合が最も多いもの。



(参考：地区別内訳)

	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 書籍	16.5%	15.7%	16.7%	11.7%
2 地域のパンフレット	17.2%	17.2%	19.0%	16.7%
3 ウェブサイト	37.8%	40.9%	38.1%	41.7%
4 SNS (X(旧Twitter)、 Instagram、 YouTubeなど)	21.1%	20.7%	21.4%	25.0%
5 電話・対面 (旅行会社など)	5.9%	3.5%	4.8%	5.0%
6 その他	1.6%	2.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問5-2 問5で「6(その他)」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。(n=11)

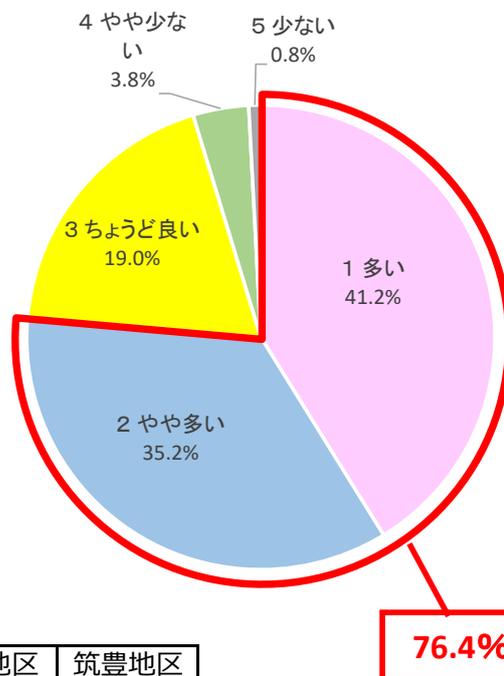
【主な意見(抜粋)】

- ・友人や親戚からの情報
- ・テレビの旅番組
- ・新聞の特集、広告、チラシ
- ・旅行会社のパンフレット

問6 福岡県の観光客数についてどのように感じていますか。  
(n=364、選択は1つのみ)

	人数	割合
1 多い	150人	41.2%
2 やや多い	128人	35.2%
3 ちょうど良い	69人	19.0%
4 やや少ない	14人	3.8%
5 少ない	3人	0.8%

※赤字は割合が最も多いもの。



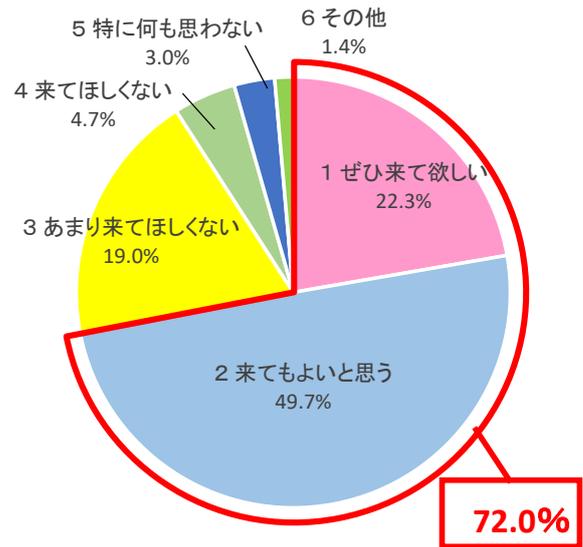
(参考：地区別内訳)

	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 多い	46.8%	28.6%	43.6%	40.0%
2 やや多い	35.1%	35.2%	38.2%	30.0%
3 ちょうど良い	16.0%	26.4%	14.5%	23.3%
4 やや少ない	1.6%	8.8%	1.8%	6.7%
5 少ない	0.5%	1.1%	1.8%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問7 海外からの観光客の受入れについて、どのように思いますか。  
(n=364、選択は1つのみ)

	人数	割合
1 ぜひ来て欲しい	81人	22.3%
2 来てもよいと思う	181人	49.7%
3 あまり来てほしくない	69人	19.0%
4 来てほしくない	17人	4.7%
5 特に何も思わない	11人	3.0%
6 その他	5人	1.4%

※赤字は割合が最も多いもの。



(参考：地区別内訳)

	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 ぜひ来て欲しい	23.9%	17.6%	23.6%	23.3%
2 来てもよいと思う	46.3%	58.2%	43.6%	56.7%
3 あまり来てほしくない	21.3%	14.3%	23.6%	10.0%
4 来てほしくない	3.7%	6.6%	3.6%	6.7%
5 特に何も思わない	3.7%	1.1%	3.6%	3.3%
6 その他	1.1%	2.2%	1.8%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問7-2 問7で「6(その他)」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。(n=5)

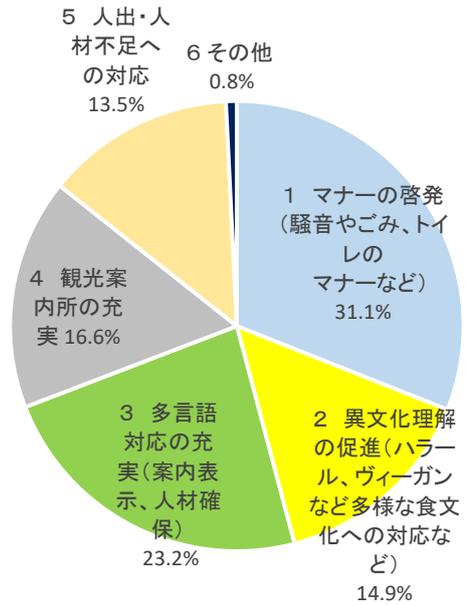
【主な意見(抜粋)】

- ・海外からの観光客が増えるのは経済的にはいいが、オーバーツーリズム等観光地への負担が増える。観光地にも一般住民が住んでおり、お互いに配慮しないと大変な問題になるので、県からの指導が必要。
- ・最近、国の遺産に傷をつける方など問題もあり、多く来る事が良いとは思えない状況にある。治安の維持など大変であると思う。
- ・海外の人が福岡の魅力を知ってくれるのは嬉しいが、百貨店や駅利用のマナーが悪い。もう少し日本のマナーを理解してから、是非福岡の街を楽しんで欲しい。
- ・大騒ぎしてうるさいばかりの外国人は苦手。
- ・福岡を良く思い、法を守り、マナーを守ってくれる観光客ならある程度歓迎するが、そうでない観光客に対しては絶対に受け入れたくない。

問8 海外からの観光客を円滑に受け入れるために必要な施策は何だと思いますか。  
(回答数=1037、複数選択可)

	人数	割合
1 マナーの啓発 (騒音やごみ、トイレのマナーなど)	322人	31.1%
2 異文化理解の促進 (ハラール、ヴィーガンなど多様な食文化への対応など)	154人	14.9%
3 多言語対応の充実 (案内表示、人材確保)	241人	23.2%
4 観光案内所の充実	172人	16.6%
5 人出・人材不足への対応	140人	13.5%
6 その他	8人	0.8%

※赤字は割合が最も多いもの。



(参考：地区別内訳)

	福岡地区	北九州地区	筑後地区	筑豊地区
1 マナーの啓発 (騒音やごみ、トイレのマナーなど)	31.0%	31.3%	31.4%	30.3%
2 異文化理解の促進 (ハラール、ヴィーガンなど多様な食文化への対応など)	15.7%	14.7%	13.7%	12.4%
3 多言語対応の充実 (案内表示、人材確保)	23.7%	20.2%	26.1%	24.7%
4 観光案内所の充実	15.5%	20.2%	13.7%	16.9%
5 人出・人材不足への対応	13.0%	12.9%	15.0%	15.7%
6 その他	1.1%	0.7%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問8-2 問8で「6(その他)」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。(n=8)

【主な意見(抜粋)】

- ・オーバーツーリズムにならない施策。住民の生活に踏み込ませない施策。最近多くなった自動車、自転車に乗る外国の方に正しい通行方法を教える施策。もちろんその前に日本人が道路交通法に則った自動車、自転車の通行方法をしなければならないので、生活安全課、県警と連携した施策。
- ・ネットの多言語での福岡県の情報の充実
- ・宿泊施設の充実
- ・観光客の制限
- ・観光資源の充実。歴史的価値のあるものを中心に観光資源として活用すべき。観光客に何を覚えてもらいたいのか、何を体験してもらいたいのかをまず考える必要がある。
- ・福岡県民自体が、県内の観光について他県の方々から尋ねられた際に、答えられない、知らない、見るところがあまりないと思っているのではないのか。まずは、そこから対策すべき。

問9 県の観光振興について、これまでの設問以外にご意見がある場合は、その内容を具体的に入力してください。  
(回答数=149)

<p>・ある程度日本という国がどのようなものか把握した上で来日されていると思いますが、一部のマナー違反がクローズアップされる状況があると警戒してしまうもあります。</p>
<p>・インバウンドありきはいいい加減やめて欲しい。 商売している人以外はすごく迷惑でしかない、相変わらずマナーの悪さ、地元に住んでる人が地元のお店を使えなくなる。 日本人が福岡来たくてもインバウンドでホテルとれないし、高くなっている。数度しか来ないインバウンドの外国人を相手にするよりその後も期待出来る日本人が訪れるようにすべき。太宰府なんかはもうオーバーツーリズムだと思ふ。</p>
<p>・インバウンドに力を入れすぎて、国内に住んでいる方の来福が疎かになっているように感じることがあります。</p>
<p>・インバウンドに力を入れることは大事だと思うが、最低限のマナーについてはなんとかしないとダメと思う。ごみのポイ捨てや、公道の占有、お店などで母国語が通じないことに立腹すること、母国語が通じないことを原因として違反への注意を聞かない、など、受け入れる日本人側が疲弊するような状況は放置してはならないと思う。</p>
<p>・インバウンドを重視しすぎると今までの生活にも支障があるので、人数制限など考えてほしい</p>
<p>・インバウンドの地域効果は、非常に大きく、地域の発展のためには必須事項だと思います ただ、異文化・多様性を受入れる理解や許容性が無いと逆効果になると感じています この啓蒙活動が行政活動として必要で、広く取り組むことが必要だと思います 是非、頑張ってください</p>
<p>・オーバーツーリズムになることが見えてきた段階で、観光振興を一定程度におさめることも検討してもよいと思います。</p>
<p>・オーバーツーリズムの対策を真剣に検討しないと日常生活に大きな支障が出てくると考えられます。バランスが重要だと思います。</p>
<p>・そこに住んでいる方が迷惑にならない事がとても大切だと思います。</p>
<p>・ホテルが少ない。宿泊税等で税金があるのはいいが、会議やライブが開催される際の臨時的宿泊施設を開設すべき</p>
<p>・ほぼ福岡市内のことでしょ？わが町には海外の観光客は見かけません。博多の町へ出かけたときは海外からの観光客が目につきすぎます。マナーの悪さを見ると来てほしくなくなります。選ばれる町より選ぶ町へと欲しいです。</p>
<p>・マナーアップ</p>
<p>・マナーが悪い外国人が多い。バスの案内表示がわかりにくいので、外国人が違うところに並ぶことがある</p>
<p>・外国人観光客はマナーができていない人がいるため、その方には今後きってもらわないようにするなどの対策も必要だと考える(言葉や異文化理解にも限度があると感じる)</p>
<p>・よく大濠公園などに観光客がいます。公園内は無料なので数時間の自由行動の時間かな？とおもいますが花壇の中に入ったの写真を撮影、女子トイレの塵紙を流さず汚物入れに入れあふれてる。 ガイドさんがもっと日本のルールをバスの中で説明して欲しい。</p>
<p>・異文化理解の促進なんてなくていいと思う。違う文化を知ってもらおうのが外国からの観光の醍醐味だから。余計な負担になる配慮はいらない</p>

<p>・福岡県に来た当初は、食べ物、どこに行っても美味しい事が驚きだった。せっかく福岡に来たからと、あちこち観光したが、あまり外国人を見かけない印象だ。</p> <p>仙台は、かなり外国人が多く、特に冬場のスキー場は日本人のほうが少ない。日本でしか楽しめないレジャーを推進させれば、外国人観光客も増えるかと思う。</p> <p>また、ゴミが多く、街が汚れているゴミのポイ捨て撲滅運動をすべきだ街路樹もボウボウで剪定もされていない。暖かいから、すぐに生えてしまうのだろうが、街路樹の種類を検討するといいかと思う。</p> <p>人がいても、ゴミを捨てる人もいる。なぜゴミをあちこちに捨てるか、理解に苦しむ。</p>
<p>・円安の影響で、海外観光客からすれば日本の物価は安いこともあり、観光地の飲食店など、一般的な価格の倍以上に商品やサービス料金が上がっている。</p> <p>価格が上がることは妥当だと思うが、観光振興に関わる費用を捻出するために、福岡県独自に海外観光客に対して、訪問税、環境整備税、海外客宿泊税など細やかなシーンにおいて必要な経費を徴収することが望ましい。</p>
<p>・海の中道海浜公園の近くに住んでいるのでよく観光客を見かける。しかし公園内の自転車で西戸崎の住宅街を走る姿があるため、ちゃんとルールを英語や韓国、中国語で記載する必要があると思います。</p>
<p>・海外からの観光は経済効果があり、促進するべきだと思うが、マナーを守ってほしい。 (大声で喋ったり、イスに寝転んだり、大音量で動画を見たり。)</p>
<p>・海外からの観光客へのマナーの徹底をしてほしい。</p> <p>奈良での鹿の虐待、靖国神社に対する行為など、報道はされていないが残念である。</p> <p>福岡でも観光資源や建造物に何をされるか恐ろしいので、要所要所に監視員を置いてほしい。</p>
<p>・海外からの観光客を受け入れて、経済効果はあると思うので歓迎したいとは思いますが、目に余るマナーの悪さも目立ちます。特に神社、仏閣などで嫌な思いをしたことが度々あります。大きな声で騒ぐ、禁止区画に入るなど神聖な場所という認識がないのでしょうか。もっと啓発を進めるとともに、これ以上ひどくなれば規制も考えてもいいと思います。</p>
<p>・海外からの観光客を誘致するには外国語案内等が不足していると思います。案内の不足は時としてマナーの問題などにもつながっているのではないかと考えます。</p> <p>観光地で実際に対応可能な容量を把握したうえで、誘致等の施策を考慮する必要があると思います。</p>
<p>・海外からの旅行者の受け入れは大いに歓迎だが、日本人の習慣や慣わしをもっとアピールすべき。</p>
<p>・海外から多くの観光客に来てもらって福岡の魅力を感じてほしいが、マナー違反が気になるころではある。各国それぞれの文化があり難しい問題だと思うが、SNSを通じて禁止行為を発信しても良いのではないかとと思う。</p>
<p>・海外から来てもらうことはとても嬉しいが、マナーが悪く、また迷惑行為が目立ちます。</p> <p>大声で話したり、道や通路を塞いだり、そこさえ徹底して来日してもらえたら、とても歓迎です。</p> <p>品のなさを見受けたとき、こちらが恥ずかしくなります。</p>
<p>・海外の観光客には来てもらって悪いとは言わないが、自治体には、きちんといろんなルールを守れるような施策をとって、それが円滑に行われるよう、きちんと実施して欲しい！これだけ観光客が多いので、住民と同じように、公共トイレや施設などを使用されて少なからず恩恵はあるので、観光税を取られてはいかがでしょうか？特に今は、円安ですし…</p> <p>また、住民生活よりインバウンドを優先されると本末転倒だと思う。</p> <p>博多駅近くに住んでいたが、安心して駅構内や付近を通れなかったので転居した。</p>
<p>・海外の観光客に対して日本のマナーが理解できる方法や手段を工夫する</p>
<p>・海外の人が行きたい観光地と国内の観光地の認識にズレがあると思います。海外の人の日本に対する意識をSNSなどで調べ参考にすべきだと思います。</p>

<p>・海外の人が増えていくということで、日本人が異文化理解や異文化コミュニケーションを学ぶ機会がもっと増えて欲しい。私は大学でこのようなことを学び、海外の人との関わり方が変わったので、もし交流会やイベント、勉強会などあれば積極的に参加していきたい。</p>
<p>・海外の方対応の観光ガイドの充実が必要だと思います。</p>
<p>・外国からの観光客に沢山来てもらいたい気持がある一方でマナーの悪さが目立つ。地元住民が良い環境で過ごせる方を優先したい</p>
<p>・外国の方が増えすぎている傾向にあると思います。街へ出向きにくい。 各飲食店やホテル等も別途料金を徴収する等して来人数は減るが利益が出る仕組みを作って欲しい。</p>
<p>・外国の方に来ていただき、お金を落としていただくことは地域の発展、国の発展に必要なことだと思う。ただし、郷に入っては郷に従えで、日本の文化をしっかり理解してもらい、マナー啓発などの充実が必要。 必要以上に外国の方に合わせるのではなく、受け入れ側は日本らしく振舞い、日本を楽しんでもらい、こちらの異文化を理解してもらうように働きかけていくことが重要だと思う。これこそが観光客が求めており、正しい異文化交流の姿だと思う。 日本人は民族間の差別意識がなく、受け入れることが得意だと感じるので、これ以上何でもかんでも外国の方に合わせて迎える必要はない。最低限でよい。</p>
<p>・外国客と日本人客の利用料の差別化</p>
<p>・外国人のマナー違反が多い。特典をなくしてほしい。</p>
<p>・外国人観光客のマナーが悪いと感じる。バスの中で大声で話したり迷惑だと感じる。</p>
<p>・外国人観光客はそこそこで充分です。マナーが悪いので沢山居るとガッカリします。</p>
<p>・外国人観光客はマナーが悪い。</p>
<p>・観光ガイドを必要な観光箇所に整備して欲しい。また、利用出来るようにして欲しい。</p>
<p>・観光ボランティアの養成講座など、一般市民も他地域から福岡を訪問してくれる方をもてなす心がけを養える講座をWEBでも受講できるなどしていただければ、市民のおもてなしの意識も高まるのではないかと。</p>
<p>・観光客が増えるのは良いことですが、マナーの違いに戸惑うことが多いです。 前問の『多言語対応の充実』に関してですが、案内掲示板は案内掲示板でも（観光案内の案内板というよりは）とりわけ『マナーの啓発』を多言語で各所に設置してほしいです。 公共交通機関等における道案内であれば英語があれば十分ですし、それ以外の施設やお店などにおいても仮に日本語だけでも困る観光客の方の方が少ないはずで。 なぜなら、彼等の多くは皆スマートフォンを使いこなしており、ほぼ常時アプリ等の翻訳機を片手に町中を闊歩しているからです。 インバウンドで潤うことも大事ですが、それ以上に実際に住む人たちが騒音やゴミで悩んでいたのでは元も子もないと思うのです。 これから、まだまだ人口が増えつつある（増やしていこうとしている）福岡市であるからこそ、地元住民の声を優先してほしいです。 わたし自身も2年弱ほど前に福岡に引っ越してきました。今後、移住してくる人たちまでガッカリしてほしくありません。</p>
<p>・観光客が多くなりすぎて、今まで楽しめていた場所（特に太宰府）もなかなか楽しめない部分も出てきているが、日本に興味を持ち訪れてくれることは歓迎したい。</p>
<p>・観光客が来るのはいいなと福岡の魅力を知ってもらいたいと思うけれど、最近はアジア系の方が多く移住して来られ働かれていますので、ココは海外なのか？と思う程です。少し怖さを感じます。</p>
<p>・観光客のマナーが悪く、普段利用する私たちが利用しなくなるような気がします。 海外から来る旅行者向けに色々発信して欲しいですね。</p>
<p>・観光事業が栄えるのは良いことだが、その一方でマナーや防犯上懸念される問題の方が多い。外国人だからマナー違反をしても仕方がないという認識を我々も捨てていかなければならないと思う。</p>

<p>・観光振興で街を活性化して経済を回したいのはわかるが、人が多すぎてインフラが追いついていないと思う。人を呼び込んだらその辺の責任も背負ってほしい。観光地の地元民は人が多すぎて迷惑になってる。</p>
<p>・観光振興には賛成であるが、住民に負担をかけない様に、日本のマナー等を日本に来る航空機や船舶の中で啓蒙してほしい。</p>
<p>・観光振興はあての他県の日本人にしぼってはどうか。また、観光立国だなんて、目指すのは望ましくない。国として。 外国人労働者等が多々犯罪を起しているにもかかわらず不起訴案件が増えてきている状況はもはや恐怖でしかない。こんな状態で海外の人をウェルカムするのはどうかとおもう。</p>
<p>・観光地には海外からの旅行者が増えていると実感しています。マナーを守って福岡を楽しんでもらいたいとおもいます。 都市や観光地以外は開発も進んでおらず、寂びれたところが多いと思います。</p>
<p>・経済を回すためにどんどん観光客を受け入れると同時に、観光産業にもっと力を入れていけるサービス作りが発展することを願っています。</p>
<p>・県というより、国として、日本という国を理解してきていただきたい。特にマナー</p>
<p>・県の観光振興については賛成である。海外からの観光客を受け入れる際のマナー啓発は特に進めてほしい。</p>
<p>・県の観光振興に関して感じることは、福岡市でいえば、博多周辺や天神周辺には外国人観光客が多く見かけます。また、福岡市近郊の大規模商業施設や神社仏閣の観光施設もです。よって、観光客が来る施設の飲食値段も高く設定されているように感じます。例えば、京都市は観光客があまりにも多く、京都市民が生活しづらい傾向があるとされています。同じように福岡市などの住民が生活しづらい環境になるまで観光客が来ることは、両手をふって歓迎するまでにはいかないと感じます。福岡県内で見ると、全く外国人観光客が見れない地域もあります。これ以上観光振興を推し進めていけば、観光客が分散できるような観光スポットを多く創出していくことが重要だと思います。観光客が来て主に潤うのは、公共交通機関や大型商業施設が多いと感じます。もっと、農業工業漁業など地場の産業が潤えるような施策が必要です。</p>
<p>・国際線ターミナルの利便性（地下鉄延伸）を前向きに検討していただきたい（連絡バスの専用道路化は知っております）</p>
<p>・今のまま継続して行って行けば良いと思います。 受け入れ側の福岡県民側もですが観光にきた側もマナーや常識また日本独自の物の考え方等を勉強して来て欲しいと思っています。</p>
<p>・太宰府天満宮は日頃から日本人で多いのに、外国人で歩けないようになっている。あとはすみにゴミを捨てられる。外国人にはマナーや態度、もしくは観光のスケジュールなど、ある程度決まりを守らないと罰金もしくはそちらからの退去をできるようにした方がいいと思う。外国人のマナーが悪い。感じも悪い。態度も悪い。ここは改善してほしい</p>
<p>・最近海外からの観光客が多すぎて出かけるのが少し億劫、特に天神博多</p>
<p>・災害発生時の支援体制も考慮する必要があるかも・・・ 福岡県外への観光客という逆の立場なら、特に海外だと非常に不安になると思う</p>
<p>・仕事柄多くの観光客を相手にしますが外国人の増加は顕著に感じます。 確かにそれによって潤う産業もあるのですが文化や言語の違いによる事故や被害も多発しており単純に多くの人を呼び込めばいいという施策は考え直す時期に来ていると思います。</p>
<p>・住んでいる奥八女は、自然豊かで交通の便もいいし満足しています。インバンドに関しては経済効果は期待出来て良いと思います。オーバーツーリズムになると色々問題が出てくると思います。</p>

<p>・治安維持には十分留意いただきたい</p>
<p>・失礼な方々は拒否したい。文化財への影響があれば行政には断固として戦う姿勢が欲しい。日本を甘く見られるのが切ない。</p>
<p>・全国的にオーバーツーリズムが問題になっているので、何が何でもインバウンドOKではなく県民に快く受け入れられるような施策対策を講じるべきと思う。</p>
<p>・地域振興のために観光客が増えるのは歓迎だが、マナーを守ってほしい。電車での通話やごみなど。</p>
<p>・外国人が順番を守らず並んでる列に割り込み、大声で自国の言葉で会話する場面によく遭遇します。特に公共機関内でのマナー違反の携帯使用時に気分が悪くなります。道路にゴミをポイ捨てしたり、信号無視で堂々と道を横切ったり、とにかく目に余る。</p>
<p>・外国人のマナーが悪すぎると思います。大声で話したり、バスの中で電話したり、お店の席に集団で座ってお店以外のものを食べたり飲んだりして何時間も居座ったりしてお店が迷惑している姿をよく見かけます。</p>
<p>・通訳を天神地区に多数配置する</p>
<p>・通訳案内士の地位向上と積極活用を期待します。</p>
<p>・都心に出れば外国人の観光客を多くみかけます。円安という事もあり普通に見かける事が多くなりました。しかしSNSでも外国人のマナーの悪さが取り上げられてます。文化が異なりますので全てを理解してもらう事は難儀かと思いますが「旅行」している短期間中ぐらいは日本の文化をリスペクトして欲しいです。</p>
<p>・外国人はマナーが悪い。バス停にレンタカーを止めたり、左折できない斜線から左折しようとしたりエスカレーターを上りきったところで固まって立っていたり。他国で過ごすならその国のルールを守るべき。もっと強く教える・表示・指導したほうがいい。</p>
<p>・二見ヶ浦が外国人でごった返していました。バスも満員だったので他の観光地へ分散できればいいのにと思いました。 酒蔵やフルーツ狩りなどへも行っほしいなあと思いました。</p>
<p>・日本人より外国人の方が多いい観光地も多くなっているので外国人の方がより過ごしやすい環境づくりに配慮し、お金たくさん落としてほしい。</p>
<p>・日本独自の文化を他の国の人にも分かったうえで楽しんでもらいたい。 英語・ハングル・中国語表記など表記の多元化はいいが日本語のみの表記をした方が良くと思う。わざわざ多言語の表記がおもてなしとは思わない。外国に行けば多言語表記などない。特に途上国はそうである。日本語にプライドをもって掲げてほしいものである。</p>
<p>・福岡はここ数十年での観光客はかなり増加したという感覚を受けます。特に国内旅行先では常に上位に位置し、人気がある観光地だと思います。 しかし、海外からの観光客を周知するための魅力が今一つだと感じます。東京や大阪のような認知度もありませんし、リピーターの観光が少ないと思います。 交通網の整備や現地ツアーに力を入れること、多言語人材の充実、また人々の意識（海外からの旅行者に対して友好的な対応をするなど）も変えていくことが大切なのではと感じています。</p>
<p>・福岡県、、、特に太宰府の混乱は目に余る。海外客が大半を占め、不法地帯と化している。東の富士山、西の太宰府ではなからうか。 食べ歩き、ゴミ、道路横断、大声会話、割り込み、店の商品の雑な取り扱いなどなど参道の店は寄りたくないと思ひ、日本人がはじき出されている。</p>
<p>・福岡県の観光振興策は少しばかりインバウンドに寄っているイメージを持っています。県内外の人も安心して福岡を旅し、食べ物だけではなく、その地域の人々と再び触れ合いたいと思ってもらえるような「人づくり」「ものづくり」を進めてほしい。</p>

<p>・福岡市の状況しか知りませんが、外人さんだらけです。屋台は県外？からの観光者だらけで、以前のように「ちょっと寄って帰る」ことができません。ホテルは増えるし、福岡市は住むところではなくなったと感じます。すみません、意見ではないし、政令市の施策ですね。</p>
<p>・問 8 の解答の2番については賛同いたしかねます。我が県には、我が国には我々の文化があります。それを知った上で来日・来県している以上譲歩するべきとは考えていません。我々が理解するのではなく、あちら側が理解した上で来日するのが前提の話を行うべきです。我々があちら側に合わせる道理はないのではないのでしょうか。</p> <p>また3番の多言語対応の充実については日本語と英語だけで良いと考えます。</p> <p>最後の5番目については問の意味がいまいち分かりかねます。</p> <p>外国人観光客については厳しく向き合ってほしいと思います。それによって生じるオーバーツーリズムなどの問題にです。</p>
<p>・夜、近くのコンビニ駐車場で、外国の方が4, 5人でお酒を飲みながら、宴会みたいな感じで騒いでいました。日本の方だとマナー意識が高いイメージですが、外国の方だと禁止されていないことは自由にしてよいと考える方が多い印象です。マナー啓発は必須だと思います。</p>
<p>・余談かもしれないが観光だけでなくコンビニなどでも他国の方を見かけるができないことも多くこちらが配慮することも多い。</p>
<p>・旅先では気が大きくなりやすいので、旅行先の情報をしっかり調べてルールやマナーを守りながら旅行ができれば、住人も観光客も気持ちよく過ごせると思います。</p>
<p>・福岡について思うことは、観光する場所が少ないということです。住む分には非常によい土地だとは思いますが、他県の人を連れて行って満足してもらえるような場所が非常に少ないです。</p> <p>しかし私は無理に観光に力を入れる必要はないと思います。ここ数年インバウンド需要が急速に高まり、日本各地に外国人旅行客を多数見かけるようになりました。しかしながら観光業は水物だと思っています。かつて観光に力を入れていた夕張市はいまや財政再建団体となってしまいました。無理に見どころを作るより、福岡の土地そのものの良さを無くさないように</p>
<p>・40年ほど前にヨーロッパ旅行したが、行く所、行く所街並みが非常に整備されておりびっくりした経験がある。当時の日本の街並みが非常に雑然としており、もう少しどうにかできないかと思ったものである。</p> <p>だいぶ改善されてきたとは思いますが、そういった部分での改善も願いたい。</p>
<p>・こどもの遊ぶ場所を増やしてほしい。</p> <p>観光に来た子ども達が、買い物だけに終わることなく、体をしっかり動かせる遊具など街の中に作って欲しい。</p>
<p>・とにかく人が来ないと活気がないし、経済効果も生まれないので、イベントや施設をもっと充実させてほしい。</p>
<p>・飲食面では魅力があるが、観光として主なものは大宰府ぐらいで、特に福岡市には観光地として魅力的な場所が少ない。そのため、観光客が福岡市中心や太宰府に偏っている。福岡市はすでに混雑しているため、別の地域への観光を積極的に進めるべき。</p>
<p>・各市町村と協力して、福岡県全体の観光アプリを開発する。観光マップは、各市町村でカスタマイズできるようにして、宿泊施設と連携させる。カスタマイズは県の許可を得るようにすれば、各市町村が推したい観光地等を即時に知ることが出来るため、各ブロックの観光時期に合わせた旅行プランも随時アプリで提供が可能。また、環境アプリと連動させて、観光地での美化活動等に応じたポイントを付託する。</p>
<p>・観光振興が福岡市周辺に集中していると思う。もう少し地方にも外国人が足を運ぶよう、魅力や振興を強化してほしい。</p> <p>また福岡市内は外国人で溢れ、特にホテルの予約が取れないもしくは異常に高額な宿泊料となっている。県としてもなにかしらの対策を検討してほしい。</p>
<p>・県全体では多いけど、福岡市内の観光地は少ないと思う。福岡城跡があるので、天守閣だけでもいいので、作って欲しい。</p>
<p>・県庁所在地である福岡市におけるメインとなる目玉観光施設がない。</p>

<p>・県内の観光振興について自治体や地域商工会のイベントに参加したこともあります。もっとそのような機会が増えればよいと思いました。私が参加したのは地域の商工会主催のウォーキングイベントでしたが、地域の歴史史跡を徒歩で巡る3時間ほどのイベントでした。観光振興という観点からは史跡巡りのバスツアーやツアーでなくともテーマ別に日帰りや二日程度の推奨コースをプロモーションするなどすれば、国内の需要もより掘り起せそうな気がします。</p>
<p>・県内の特定地域に限らず、県内全域の環境振興施策を立案展開してほしい</p>
<p>・県民向け観光モデルコースを多数紹介してほしいです。例えば、糸島1泊で山と滝と海を楽しむコース、朝倉の豪雨被災地復興と名所めぐり1日コース、北九州空港と京築地区めぐり1日コース</p>
<p>・博多や天神をはじめとする買い物目的の集客だけでなく、体験ツアーなどを通じて田舎のほうにも誘致して活気をもたらして欲しいです。福岡のいいところ、美味しい名産品等を知って頂き発信して欲しいです。</p>
<p>・福岡に住んでいるが福岡の魅力となるとわからない。自分の地域のことは言えるが他地域のことを知らないためもっといろんな地域の観光地などを出して欲しい</p>
<p>・福岡県は食べ物美味しいと言われるが、観光地は少ないと感じている。特に福岡市は歴史的建造物が思い浮かばないため、そのような施設をバックアップした方がよいと思う</p>
<p>・魅力ある街づくりをすれば、自然と人は集まると思う。</p>
<p>・問8 - 2に書いたが、まず、観光資源が何なのか考える。そして、それをより魅力的に見せるため、それをより満足してもらうための工夫を考える。</p>
<p>・外国の方がきてくれて県内にお金を落としてもらい、地域経済活性化が起こることはとても重要だと思います。snsでの各個人の発信も増えてきている印象もあり盛り上がってる印象を受けています。ただ地域差は広がりつつあるのでその差があまりにも大きくなりすぎないように県には努力していただきたいです。</p>
<p>・観光のプロが紹介するばかりではなく、田舎の高齢者など福岡にしかない伝統や技を伝えるような仕組みがあればよいと思う。本当の福岡の良さを知ってほしい。</p>
<p>・観光ルートのモデルパターンを何通りか作り冊子やWebで周知</p>
<p>・観光客の支払うマネーで、財政が潤うようになればいいと思う。そうであるならば、多少、住民が我慢してもいいと思う。</p>
<p>・観光客の方が、地元民より街について詳しく驚かされる</p>
<p>・観光場所が、偏り過ぎと思う為、県内の場所（筑豊、福津、朝倉、浮羽、久留米、大牟田の各地）PRを強化してほしい。</p>
<p>・観光振興は知らなかったのも、もっとPRしていただければ良いと思います。</p>
<p>・広報活動が不足しているのかも。</p>
<p>・山口市が観光地として海外に注目されてるが、よく分析し参考にするとうい。また、時代的に、SNS等のネットの戦略的な活用を考えるべき。</p>
<p>・福岡県の観光といえば、大宰府が最初に思い浮かぶ。まだまだほかにも観光地があると思うのでSNSなどでどしどし啓発してほしい。</p>
<p>・福岡県の観光地をあまり知りませんので、もっと宣伝してほしい。 福岡空港には、九州の空港で一番多く来ていますが、他県に海外の観光客は行っているように思います。再度申し上げますが、もっと福岡県の観光地をアピールしていただきたい。</p>
<p>・福岡県の観光地を数多く掲載したパンフレットを作成し、旅行会社等に渡し、福岡県旅行キャンペーン等を行ってもらう。また、九州各県と連携して、九州全域旅行も考えてもいい。また、公共施設のトイレ等の整備を行う。また、道路標識の案内板や高速への道しるべ等を増やして車での移動をしやすくする。</p>

<p>・福岡県は、魅力溢れる観光スポットが沢山あります。都市を始め、地方都市も海外の方に是非紹介したい所が沢山あります。博多地区のグルメや、宗像大社や太宰府天満宮、柳川の川下りや鰻料理、八女のお茶畑や久留米のラーメンに焼鳥、また、無形文化遺産に認定された、日本酒を作る酒蔵等、数えきれません。ですが、今はなんとと言っても無形文化遺産に認定された日本の酒作りです。城島や浮羽地区、魅力溢れる酒蔵が沢山あるので、是非海外からのインバウンドの方々に知って頂きたく、旅行会社などでツアーを組んだり、自治体メインで呼びかけを行ってほしい、魅力を伝えて行って欲しいです。</p>
<p>・まず、福岡県のことをもっと知りたいと思いました。まずよかバスに乗ってみたいと思いました。</p>
<p>・移民のマナーが悪い</p>
<p>・解答者が居住する北九州市と福岡市ではかなり事情が違うようである。だが観光客そのものは増えているといえれば増えているようだ。</p>
<p>・観光振興も大事だが、まずは県民が安心して生活できるように、優先的に取り組む必要がある多くのこと（道路・水道管など老朽化対策）に予算を使ってほしいです。</p>
<p>・県、外内堺を作らずに笑顔で「こんにちは」を言ったらいいと思います。</p>
<p>・私は県外からの移住者なので福岡の良さを多くに感じ取っています。多くに広めたいです。</p>
<p>・住んでいる福岡県の観光について、考えたこともない。 観光を振興するって、どうしても、観光業に関わる人たちの応援のように感じます。 自分のこと、住んでる町のことなんだろうが・・・、自分の町を第三者の目で見るとは難しいですね。</p>
<p>・バスの運転手さんは親切に対応されていると感心します。旅行クーポンでタダと勘違いされている観光客に対応されているのをよく見かけますし、櫛田神社やキャナルなどの案内もされてて、すごーい!!と思いました。</p>
<p>・他県では、観光地での旅行者のマナーの悪さが取り立たされていますが、福岡県ではそのような問題が起きているのかを知りたい。あまり話題になっていないようなので。</p>
<p>・他県の友人からは福岡は良いところ、ご飯が美味しいと言ってもらえることが多く嬉しく思います。 海外からの観光客は福岡市内には多くいるようには思いますが、北九州方面ではあまり見掛けません。（住んでいる人は多そうですが）</p>
<p>・他県の様に観光税も早く導入するべき。又、違反行為した代理店や旅行会社、添乗員にペナルティを与えるべきです。</p>
<p>・日本人が海外の人の文化を理解する努力が必要だが、観光客も日本の文化を理解する努力をして歩み寄る姿勢を保ち続けること。</p>
<p>・日本語学校で日本語を教えています、ぜひ労働力不足を解消し、中小零細企業の存続を少しでもして、技術伝承をして欲しいです。</p>
<p>・不法移民にならないようにしてほしい</p>
<p>・福岡市内に行くといバウンド効果を感じるが、地元では何も感じない。福岡市一極だと強く思う。 福岡県は観光名所は少ないと思うが、グルメで盛り上げてもらいたい。</p>
<p>・来年の県政モニターの方々には観光は勿論、県の現状がよく理解出来る県民手帳を配布してあげてください。</p>

## 福岡県ワンヘルス認証制度について

### 【調査の目的】

県では、令和3年1月に「ワンヘルス推進基本条例」を制定、令和4年3月にはワンヘルス(※)の推進に関する取組を体系的に整理した「ワンヘルス推進行動計画」を策定しました。この計画に基づき、令和4年9月に、食の安全・安心や環境に配慮した取組などワンヘルスの理念に沿って生産・販売される農林水産物等を認証する「福岡県ワンヘルス認証制度」を全国で初めて創設したところです。

制度創設当初よりワンヘルス認証の認知度向上を目標とし、大手量販店でのフェア開催やテレビCM放映など様々な取組を行っております。

このたび、皆さんの御意見をお聴かせいただき、今後のワンヘルス認証推進の参考とさせていただきます。

(農林水産部 食の安全・地産地消課)

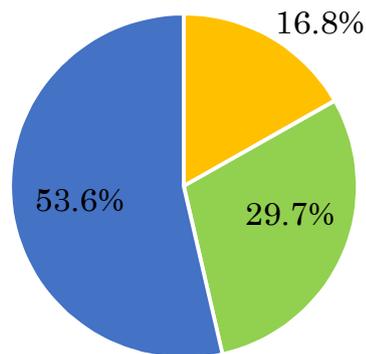
### ※ ワンヘルスとは

「人と動物の健康と環境の健全性は一つ」と考えて、守っていくためにみんなで考え行動すること。

問1 福岡県ワンヘルス認証制度について知っていますか。

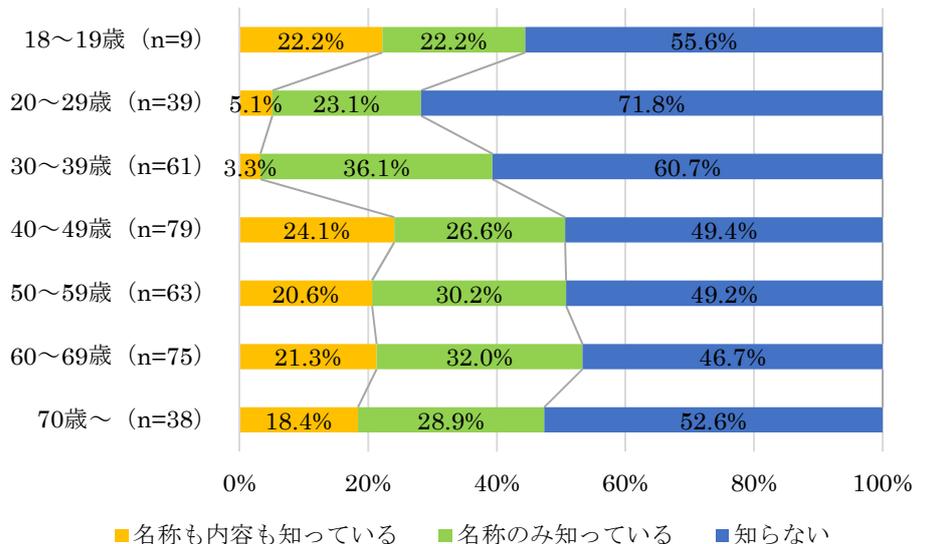
次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

全体 (n=364)



- 名称も内容も知っている
- 名称のみ知っている
- 知らない

年代別

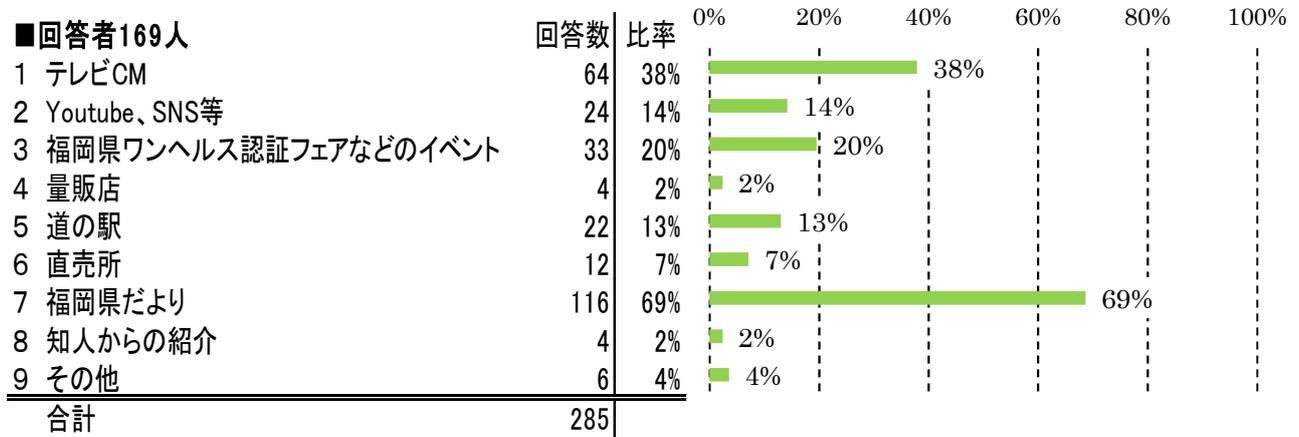


- ・福岡県ワンヘルス認証制度の認知度は、全体で46.5%である。
- ・40～60代の認知度が高く、どの年代も50%を超えている。
- ・一方で20代の認知度が最も低く、28.2%である。

問2 (問1で「1名称も内容も知っている」または「2名称のみ知っている」を選択された方にお尋ねします。)

ワンヘルス認証制度を知ったきっかけは何ですか。

次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。



・「福岡県だより」の割合が高いことから、ワンヘルス認証農林水産物の認知度を向上するためには広報誌等での情報発信を継続していく必要がある。

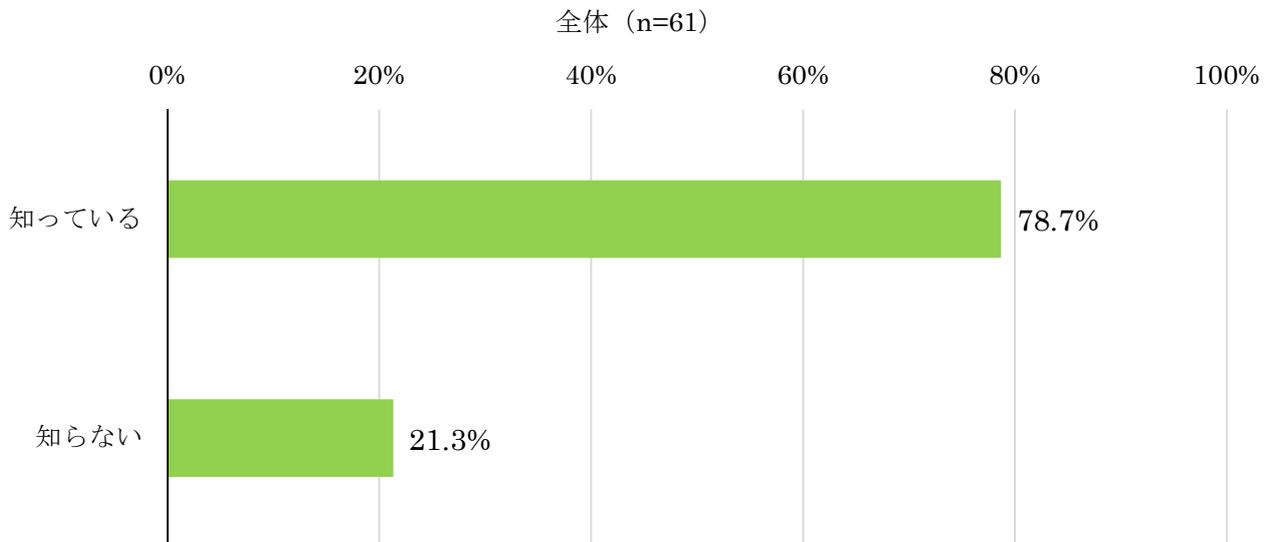
問2-2 問2で「9その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

- ・前回のそのアンケートで知りました。(30～39歳、北九州地区、男性)
- ・県議会の会議録(60～69歳、福岡地区、男性)

問3 (問1で「1」を選択された方にお尋ねします。)

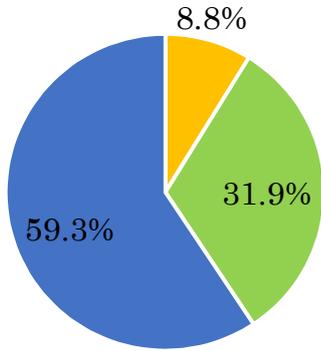
ワンヘルス認証制度により認証された農林水産物(福岡県ワンヘルス認証農林水産物)が、食の安全・安心や環境に配慮して生産された農林水産物であることを知っていますか。

次の中からあてはまるものを【1つだけ】選んでください。



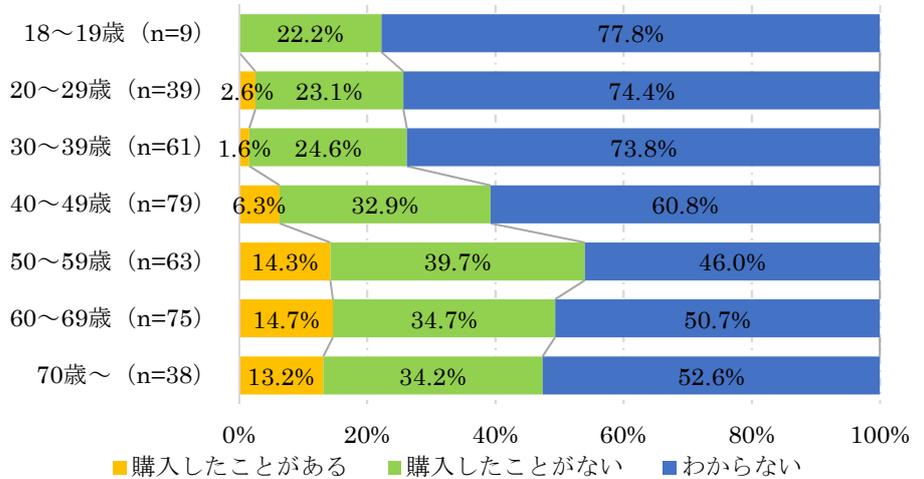
問4 これまでワンヘルス認証農林水産物を購入したことはありますか。  
次の中から【1つだけ】選んでください。

全体 (n=364)



■ 購入したことがある ■ 購入したことがない  
■ わからない

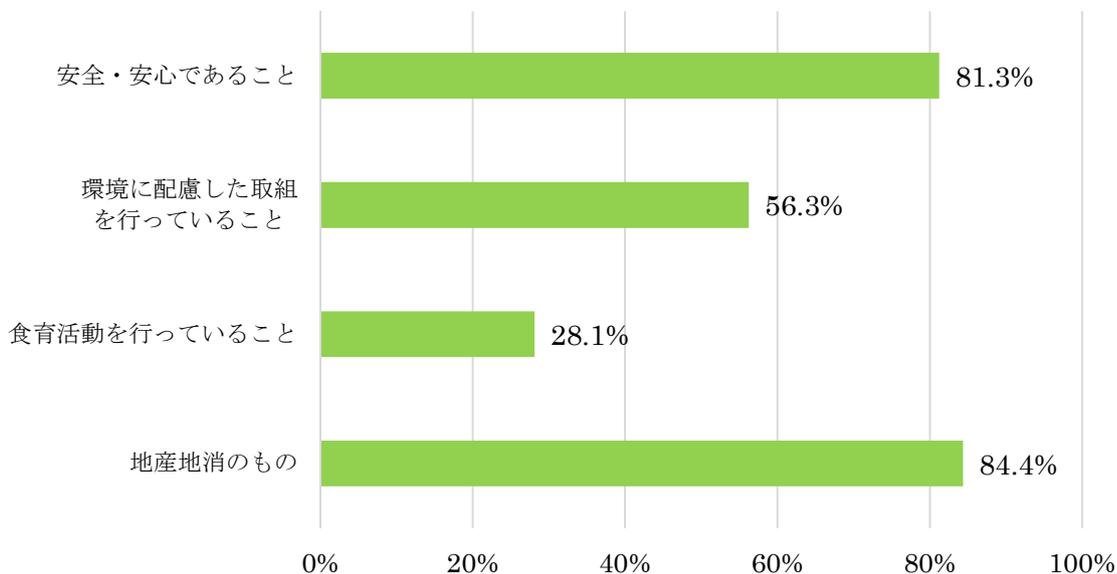
年代別



・「購入したことがある」と回答した割合は、全体で8.8%である。

問5 (問4で「1購入したことがある」を選択された方にお尋ねします。)  
ワンヘルス認証農林水産物を購入する際、重視するポイントは何ですか。  
次の中から当てはまるものを【すべて】選んでください。

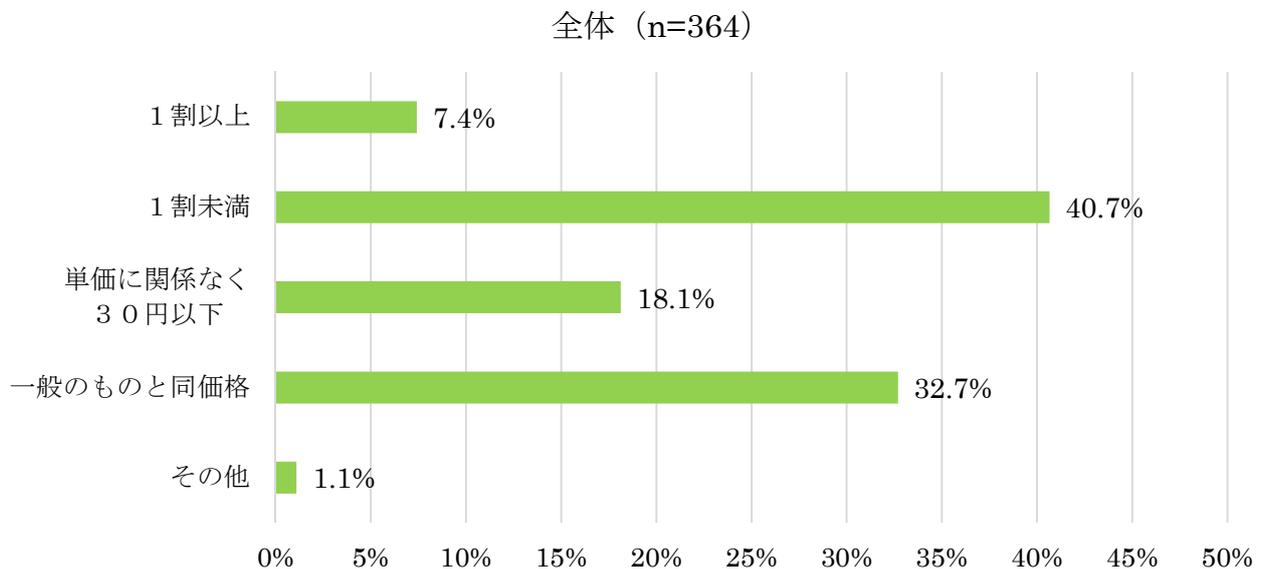
回答者(n=32)



・ワンヘルス認証農林水産物を購入する際に重視する項目は、「安全・安心であること」と「地産地消のもの」が80%以上の回答であった。新鮮で安全性の高い農林水産物は、購入する際に重要視される傾向にある。また、「環境に配慮した取組を行っていること」は、50%以上で関心が高いことが分かる。

問6 ワンヘルス認証農林水産物の購入を次世代への投資と考えた場合、いくらまで価格の上乗せを許容できますか。

次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。



・価格上乗せができると回答した割合が66.2%と多く、次世代を見据えた際、ワンヘルス認証が付加価値を生み出す可能性を示唆している。

問6-2 問6で「5その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

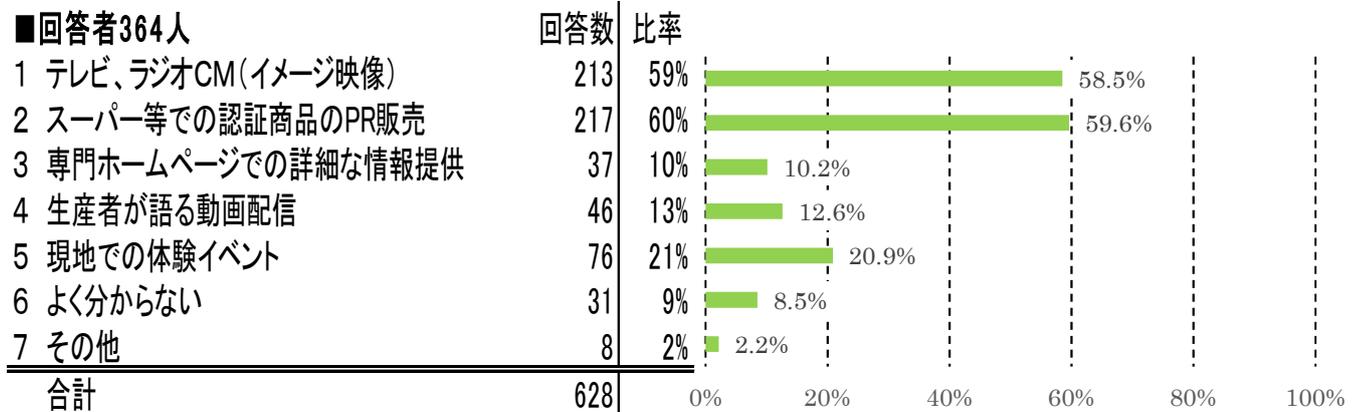
(主な意見)

- ・何を買うかによりますが、自分が心から望むものであれば1割以上は出します。高すぎない程度に、とは思いますが。(18~19歳、北九州地区、男性)
- ・個々によって、価格の振り幅はあると思う。思い入れの大きさによって、上乗せの幅は変わってきて、良いと思う。(40~49歳、北九州地区、その他)
- ・どれくらい特長があり、魅力を感じるかで値段はきまるのでは。(60~69歳、筑豊地区、男性)
- ・最低限の利益を確保できる価格までの値上げは仕方がない。(40~49歳、筑後地区、男性)

問7 今後、ワンヘルス認証農林水産物のPRを通じて、福岡県の農林水産業における食の安全・安心や環境保全型農業などの取組について情報発信したいと考えております。

あなたは、どのような方法での情報発信が良いと思いますか。

次の中から当てはまるものを【2つまで】選んでください。



・ワンヘルス認証農林水産物の認知度向上のためには、「テレビ、ラジオCM」、「スーパー等での認証商品のPR販売」の回答は6割程度であり、今後もテレビCMの放映や福岡県ワンヘルス認証フェア開催による認知度向上対策を実施することが重要と判断できる。

問7-2 問7で「7その他」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

(主な意見)

- ・一般のスーパーマーケットに設置されている地産地消コーナー(生産者の名前が記載されている)の商品に、ワンヘルスの分かりやすいシールを貼る。シールは統一のものとする。(50～59歳、北九州地区、女性)
- ・SNS等を通じた情報発信。(30～39歳、福岡地区、男性)
- ・名産品出身のインフルエンサーの方などに発信してもらおう。(40～49歳、福岡地区、女性)
- ・30代以下への認知を図るならSNSは必須だと思います。ほとんどをSNSで情報を得ています。(20～29歳、筑後地区、女性)

問8 福岡県ワンヘルス認証制度について、これまでの設問以外に意見がありますか。

ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

(主な意見)

- ・もっと大型ショッピングモール等でPRを拡大実施してほしい。まだ私自身PRに出会った事がない。(60～69歳、北九州地区、女性)
- ・ワンヘルスのCMをテレビで見たことがある。子供を使って楽しそうに分かりやすく自己啓発啓発活動をやっているっていう事は素晴らしいと思う。(40～49歳、北九州地区、男性)
- ・人の健康は広い意味での生活環境と深く関わりがある事を広く知らせる事は良いことだと思います。(60～69歳、福岡地区、男性)
- ・たまにスーパー、また道の駅で買い物する程度なので、機会が少ないのかもしれないが、ワンヘルス認証された農林水産物と認識する場が少ない。このアンケートの機会にどのようなものが登録され

ているのか、ホームページで知れた。ぜひスーパーなどでPR販売を広く行っていただきたい。(50～59歳、福岡地区、男性)

・言葉を聞いてパッとイメージが湧かないので絵や写真を使って認知する取り組みが必要かと。

(30～39歳、福岡地区、男性)

・制度自体がまだ認知されていないと思う。今まで以上に広報活動をする必要があると思う。福岡県産の食品を買いたい気持ちはだれでもあると思うから、県産の食料にはどんなものがあるか、知らせ続けることが肝要かと思う。(70歳以上、福岡地区、男性)

・豊かな自然があり、きれいな空気と水が保たれ、私達人間や動物が生きて行けるのだと思います。それを忘れずに、自然を大切に、食べ物を大切に、動物や人間の命そのものを大切に、日々の生活をより良く過ごしてゆきたいです。(40～49歳、筑後地区、女性)

・食の安全・安心や環境に配慮した農林水産物等なら、SDG'sのほうが良いと思う。SDG'sのほうが幅広く、幅広いにもかかわらず分かりやすい。農林水産物関係以外でも県の情報番組や新聞の地方面でワンヘルスをよく目にしますが、周囲(親80代や子供30代)に聞いてもSDG's>ワンヘルスという反応です。(60～69歳、福岡地区、男性)

・「人と動物、そして環境の健康は1つと考えると、守っていくためにみんなで行動すること。」具体性が無くてさっぱりわからん。何をどうしたいの?!(70歳以上、福岡地区、女性)

・地方ではいまいち広がり欠けている気がする。もう少し積極的に認証制度を活用してもらえるような啓もう活動を行ってほしい。(40～49歳、北九州地区、男性)

・地産地消で出来るメリットをもっとアピール出来る環境を整えて欲しい。(30～39歳、筑後地区、女性)

令和6年度  
県政モニターアンケート調査結果

テーマ:公金の支払い方法について

福岡県 会計管理局 会計課

## 1. 調査の目的

県民の方が県へお支払いいただく県税以外の公金（県有施設使用料、申請手数料など）の支払方法は、現金（現金で購入した領収証紙を貼付した申請書を県の担当課へ提出、あるいは県が発行した納付書を金融機関窓口を持参し現金で納付など）が中心となっています。

一方、商品やサービスの対価の支払いにキャッシュレス決済を利用する割合が年々高まってきていること、公共料金などの納付書をコンビニエンスストア窓口で支払うことが普及してきていることを踏まえ、県民の皆さんの利便性の向上の観点から、県公金についてもこうした決済手段を利用できる仕組みを検討しているところです。

今回のアンケートにより、商品やサービスの対価支払時における支払方法の実情や公金支払方法に関するご意見をお聴かせいただき、公金支払方法を検討する上での参考とさせていただくため調査を行いました。

### ※ 領収証紙とは

県が発行した領収証紙を、県指定の「売りさばき所」を通じて現金で購入し、県に提出する申請書等に貼付することによって手数料や使用料を納付するものです。

### ※ キャッシュレス決済とは

物理的な現金（紙幣・硬貨）を使用せずに商品・サービスの料金の支払等を行うことを指します。（クレジットカード決済、コード決済（PayPay、楽天ペイ、d払い等）、電子マネー（SUGOCA・nimoca・はやかけん等の交通系、楽天Edy・WAON・nanaco等の非交通系）などが該当します。

## 2. 活用状況

令和7年4月から開始する、コンビニ・スマホアプリ収納の導入に関する広報手段の検討の参考とさせていただくとともに、県民の皆さまのキャッシュレス決済に対するニーズを把握し、今後キャッシュレス決済の対象を拡大する際の参考とさせていただきます。

## 3. 調査時期

令和6年12月6日～令和6年12月25日

## 4. 回答者の構成

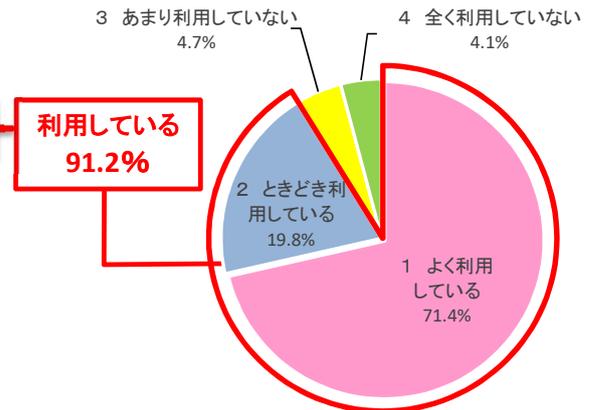
項目	計		北九州	福岡	筑後	筑豊
	人数（人）	構成比				
総数	人数	364	91	188	55	30
	構成比		25.0%	51.6%	15.1%	8.2%
性別	女性	186	49	94	28	15
	男性	175	40	93	27	15
	その他	3	2	1	0	0
年代別	20代以下	48	11	25	7	5
	30代	61	16	31	11	3
	40代	79	21	39	12	7
	50代	63	15	34	11	3
	60代	75	21	39	5	10
	70代以上	38	7	20	9	2

## 5. 回答結果

問1 商品購入やサービス利用の際、キャッシュレス決済を利用していますか。  
(n=364、選択は1つのみ)

	人数	割合
1 よく利用している	260人	71.4%
2 ときどき利用している	72人	19.8%
3 あまり利用していない	17人	4.7%
4 全く利用していない	15人	4.1%

※赤字は割合が最も多いもの。



(参考：年代別内訳)

	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～
1 よく利用している	44%	72%	82%	84%	73%	65%	45%
2 ときどき利用している	11%	26%	13%	13%	19%	24%	34%
3 あまり利用していない	33%	3%	3%	1%	5%	5%	8%
4 全く利用していない	11%	0%	2%	3%	3%	5%	13%

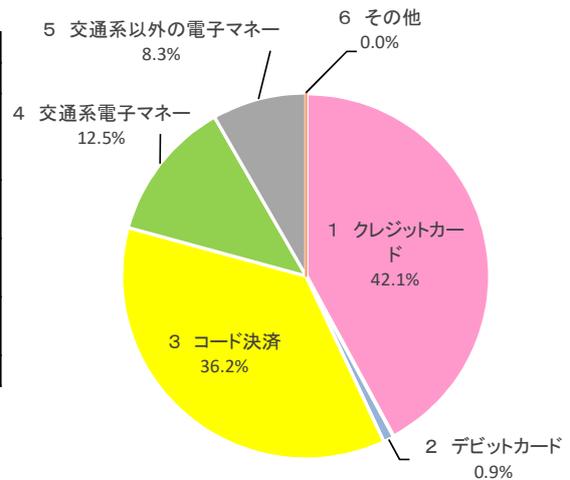
※赤字は割合が最も多いもの。

問2 (問1で「1、2、3」を選択された方にお尋ねします。)

現在利用しているキャッシュレス決済の中で、比較的利用する頻度の高い手段は何ですか。  
(回答数=641、選択は2つ)

	人数	割合
1 クレジットカード	270人	42.1%
2 デビットカード (支払代金が口座から即時に引き落とされるカード)	6人	0.9%
3 コード決済 (PayPay、楽天Pay、d払い等)	232人	36.2%
4 交通系電子マネー (SUGOCA、nimoca、はやかけん等)	80人	12.5%
5 交通系以外の電子マネー (楽天Edy、WAON、nanaco等)	53人	8.3%
6 その他	0人	0.0%

※赤字は割合が最も多いもの。



(参考：年代別内訳)

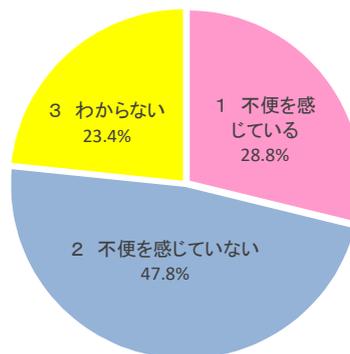
	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～
1 クレジットカード	14%	41%	45%	46%	41%	39%	43%
2 デビットカード	7%	3%	1%	0%	1%	1%	0%
3 コード決済	50%	45%	42%	35%	37%	32%	23%
4 交通系電子マネー	21%	7%	5%	10%	12%	19%	23%
5 交通系以外の電子マネー	7%	4%	6%	9%	9%	10%	11%
6 その他	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

※赤字は割合が最も多いもの。

問3 問2で「6」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。(n=0)

問4 県公金（税金以外）を納める際に、不便を感じることがありますか。  
（n=364、選択は1つのみ）

	人数	割合
1 不便を感じている	105人	28.8%
2 不便を感じていない	174人	47.8%
3 わからない	85人	23.4%



（参考：年代別内訳）

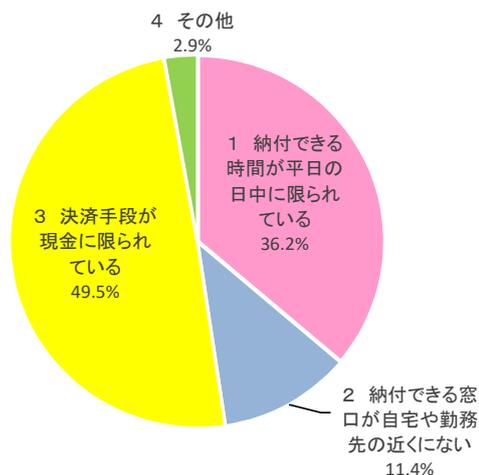
	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～
1 不便を感じている	11%	26%	39%	34%	38%	20%	11%
2 不便を感じていない	22%	31%	39%	42%	49%	65%	61%
3 わからない	67%	44%	21%	24%	13%	15%	29%

※赤字は不便を感じてるものの中で割合が多い世代。

問5 （問4で「1」を選んだ方にお尋ねします。）  
不便を感じている具体的な内容は何か。  
（回答数=105、選択は1つのみ）

	人数	割合
1 納付できる時間が平日の日中に限られている	38人	36.2%
2 納付できる窓口が自宅や勤務先の近くにない	12人	11.4%
3 決済手段が現金に限られている	52人	49.5%
4 その他	3人	2.9%

※赤字は割合が最も多いもの。



（参考：年代別内訳）

	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～
1 納付できる時間が平日の日中に限られている	100%	30%	29%	56%	29%	27%	25%
2 納付できる窓口が自宅や勤務先の近くにない	0%	20%	17%	7%	8%	13%	0%
3 決済手段が現金に限られている	0%	50%	54%	37%	54%	53%	75%
4 その他	0%	0%	0%	0%	8%	7%	0%

※赤字は割合が最も多いもの。

問6 問5で「4」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。（n=3）

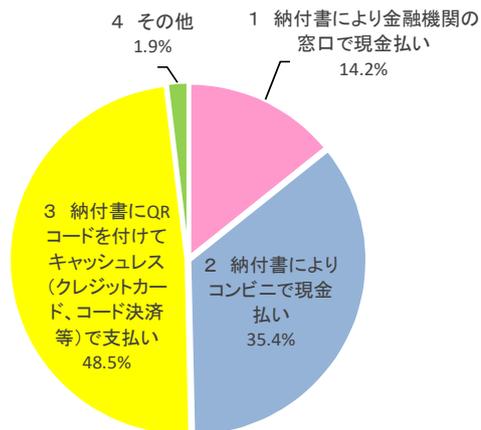
【主な意見（概要）】

- ・ 領収証紙の売り場が別々になっていること。
- ・ 領収証紙を張り付けなければならないこと。

問7 県が納付書を発行し、期限内に料金を支払う場合（県営住宅家賃や県有施設の使用料など）、次の支払方法の中で、良いと思う方法を選んでください。  
（回答数=584、複数選択可）

	人数	割合
1 納付書により金融機関の窓口で現金払い	83人	14.2%
2 納付書によりコンビニで現金払い	207人	35.4%
3 納付書にQRコードを付けてキャッシュレス（クレジットカード、コード決済等）で支払い	283人	48.5%
4 その他	11人	1.9%

※赤字は割合が最も多いもの。



（参考：年代別内訳）

	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～
1 納付書により金融機関の窓口で現金払い	7%	13%	10%	11%	13%	15%	28%
2 納付書によりコンビニで現金払い	43%	27%	26%	35%	38%	36%	48%
3 納付書にQRコードを付けてキャッシュレス（クレジットカード、コード決済等）で支払い	50%	61%	62%	49%	47%	48%	23%
4 その他	0%	0%	1%	5%	1%	2%	1%

※赤字は割合が最も多いもの。

問8 問7で「4」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。（n=11）

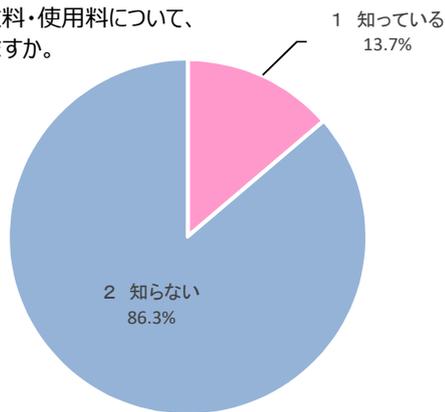
【主な意見（概要）】

<決済方法>

- ・ 銀行引き落とし。
- ・ Webサイトから直接キャッシュレス決済やネットバンキングからの振り込み。

問9 県の本庁各課や主な出先機関の窓口で申請を行う639手続に係る手数料・使用料について、令和6年4月よりキャッシュレス決済が利用できるようになったことを知っていますか。  
（n=364、選択は1つのみ）

	人数	割合
1 知っている	50人	13.7%
2 知らない	314人	86.3%



（参考：年代別内訳）

	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～
1 知っている	22%	13%	15%	11%	13%	17%	11%
2 知らない	78%	87%	85%	89%	87%	83%	89%

問10 県の公金支払方法について、これまでの設問以外に意見がありますか。ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

(回答数=112)

【主な意見(概要)】

<決済方法・チャネル>

- ・ コンビニやインターネットで支払えると便利。
- ・ キャッシュレス決済の支払方法を増やしてほしい。自治体毎で利用できるものを統一してほしい。

<法人関係>

- ・ 法人カードはオンライン決済用のみでキャッシュレス決済に使いつらい。申請の効率化をしてほしい。

<手数料・ポイント等>

- ・ 納付者が手数料を負担しない仕組みが望ましい。
- ・ クレジットカード等のポイントが付与されると良い。

<推進意見>

- ・ 曜日や時間、場所にとらわれず納付できると便利。

<慎重意見>

- ・ 高齢者から若者までの多様な世代、ニーズに対応するため、現金を含め多様な決済手段が必要。

<その他>

【領収証紙】

- ・ 領収証紙は非効率であり無くすべき。

【マイナンバー等】

- ・ マイナンバーを使い、登録した公金受取口座から引き落としができるようにしてほしい。

【電子納付書】

- ・ 納税証明書を電子発行できると、出かけられないあるいは家に戻れない時に便利。

【納税証明書等】

- ・ 異なる支払方法でも納付済みであることが一括で分かるようになってほしい。